夕刊 滿洲日報 十二月廿六日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

印刷 滿日社印刷所

天皇陛下親臨の下に けふ議會開院式擧行
玉音朗々、勅語を御朗讀され 森嚴莊重の氣漲る

【東京二十六日發電】御大典を擧げさせられて直後の第五十六議會開院式は二十六日を以て擧行せられ天皇陛下には森嚴なる

御儀制 を以て帝國議會に行幸あらせられた、當日醍醐、山縣兩式部官は午前九時半より成瀬、中村兩院書記官長以下各書記官と共に便殿式場其の他の準備を整へ次で徳川、元田、蜂須賀、清瀬兩院正副議長以下各議員は大禮服正裝又は燕尾服に勳章本綬を佩用して意氣揚々として續々登院す同十時半金色燦然たる御正裝を召されたる各皇族殿下を始め奉り顯官等は貴族院に參入した、此の日天皇陛下には陸軍樣式御正裝御颯爽と拜され

大勳位 菊花章首飾り外各種の勳章を御佩用あらせられ深赤色まばゆく輝く儀裝馬車に乘御あらせられ珍田侍從長御陪乘午前十時三十五分宮城御出門、第二公式鹵簿にて天皇旗を先頭にして閑院宮載仁親王、伏見宮博恭王殿下を始め一木宮相、伊藤式部長官、奈良武官長、關屋宮內次官、西園寺主馬頭、渡邊式部次長其の他扈從し奉り近衛儀仗騎兵御警衛の下に市民堵列中を貴族院に

御着輦 御先着の秩父宮殿下、梨本宮殿下、久邇宮殿下各皇族殿下を始め奉り田中首相以下各大臣倉富、平沼樞府正副議長以下各顧問官、徳川、元田兩院議長の奉迎を受けさせられ式部長官一木宮相の御先行にて便殿に入御各皇族方に御對面、前記顯官並に兩院正副議長に拜謁を仰付られた

斯くて高らかに鳴り響く振鈴を相圖に兩院議員は式場の左右に整列し各國の大使、樞府正副議長以下各顧問官その他は玉座の左右に整列、斯くて十一時 天皇陛下には伊藤式部長官の

御誘導 にて各皇族方扈從し奉り一木宮相以下各供奉員を從へさせられ諸員最敬禮中に式場に親臨玉座に着御あらせらるゝや、田中首相は長谷川內閣書記官の捧持する勅語書を受け恭しく御前に進み之を捧呈すれば陛下は一同起立最敬禮裡に玉音朗かに之を御朗讀あそばされた、式場は水を打つた如く森嚴莊重の氣漲り玉音式場の四壁に徹して諸員自から襟を正し頭を垂れ感激の間に之を

拜受し た事は眞に尊き限りであつた、勅語終るや徳川議長は鞠躬如として御前に進み勅語を拜受して退下、陛下は直に入御便殿に御少憩の後同十五分各皇族殿下及び諸員奉送中に宮城に還幸あらせられ玆に開院式は終了遊ばされた

勅語 【東京二十六日發電】

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ倍々深厚ヲ加フ
朕深ク之ヲ懌フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和四年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク
朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

大連旅順安東でも 關稅自主を實行
王氏、張學良氏に電命

【上海廿五日發電】本日外交部長王正廷氏は張學良氏に打電して左の如く命令した

關稅自主は既に明年二月一日より實施することに決定を見たので安東、大連、旅順、營口、牛莊等の各地に於ても國民政府の新稅則に照らして關稅自主を實行せられ度く併せて此の旨を外國商人に布告せられんことを望む

「支那が保證する迄 既定方針は變へぬ
床次氏の我が山東撤兵進言と 政府側の持つ意嚮

【東京廿六日發電】床次氏の歸朝と共に日支交渉打開策として濟南撤兵を政府に進言し之が實行を迫ると說傳はり對支問題を中心とする政府新黨クラブとの

關係に 重大なる結果を來する形勢もありまた最近新黨內部には地租委讓問題に對する反對氣勢昂まり果して政府が期待するほど政府援助の態度に出づるか必ずしも樂觀を許さゞる形勢が現れたので、田中首相は二十五日正午山本、久原兩相を青山の私邸に招き次で午後二時勝田文相、同三時小川鐵相に對してもそれ〴〵來邸を求め各方面の情報を聽取して之が對策につき意見を

交換し 合せて對議會策について種々協議するところあつた、要するに床次氏が果して撤兵要求をなすか否かは床次氏と會見した上でなければ確なことは判明しないが政府としても屢言明して居る通り支那側に於て何等の保證を與へず現在のまゝにして單に撤兵のみを要求しても絶對に之に應ぜられぬことは判り切つたことであるから床次氏としても各般の事情を無視して撤兵のみを要求するやうなことはあるまい、また氏が對支硬意見をもつて

民政黨 を脫黨した立場から見ても恐らく左樣なことはあるまいと思はれる、併しながら若し要求したとしても政府としては既定の方針を變更する譯に行かないと

けふ歸任した木下長官 (右は長官夫人、ばいかる丸甲板で寫す)

之から本腰を入れ 思ふ仕事に着手
關東廳の行政整理は今やらぬ 木下長官の歸任談

木下關東長官は廿六日入港ばいかる丸で安藤秘書課長、島田秘書官を帶同歸任したが、船中例のくだけた調子で語る

官界にゐると政界の事は素人臭くなつて困るよ、だが今議會はこのまゝ通り拔け得るのではあるまいか、民政黨は聲を大きくして倒閣運動を起してゐるが、その內部は

結束が 亂れて既に戰意を失つた者もおり、幾多の悲觀材料を備へてゐるからこの際政府側がその統制よろしきを得たなれば必らず今議會は通過するであらう、御大典當時傳へられた田中首相の健康問題も今では全快して何等支障なく政友會としては恰度今議會が開會時で巧く切り拔けさへしたら基礎を固めてどし〳〵政策の實施に移る事が出來樣と云ふものだ、床次氏の支那訪問に對しては

內地で は好い目で見てゐる、床次氏一黨と政友會の提携で々は恐らく時日の問題であらうが結局引かゝる所は地租委讓問題であらうと云はれてゐる……關東廳豫算は極めて緊縮方針をとつたからそのつもりで打合せ前年度より約三百萬圓も殖えた位の程度だね、自分もボツ〳〵來てから一年になるからボツ〳〵したいと思ふ仕事をやつて見ようと思つてゐる、そんなわけで

來年度 から本腰を入れてかゝらうかと思つてゐる、關東廳の行政整理は必要があればするが今すぐどうするか考へて居ない、山本、床次兩氏の入閣說?まあ早急にそんな事はあるまい、床次氏の方は御承知の狀態だし山本氏も今すぐと云ふわけではないと思ふ、だが豫算に拓殖省の豫算が計上されてゐる關係で拓殖省が新設せられるとなると

官制の 制定等で新しく新大臣が必要となるであらうそれまでは何とも云へないなほ長官一行は午前十一時上陸直に自動車をもつて旅順へ向つた

市長問題の紛糾は 準備委員會の失態
各方面から非難の聲 三宅市議の資格も問題となる

市長候補貝瀨謹吾氏の資格調査委員は關東廳に於ける審議會の意向が大審院の判決例によつて無効と決定したので、二十六日午前十一時より市役所會議室に參集右に就て鳩首協議したが官廳の態度が無効と決定しても直に市會が之に追從せねばならぬといふ理由なしと主張する者もあり調査委員會の態度は未だ決定せず、各委員は更に十二時民政署に田中署長を訪ひ協議するところがあつたが、同委員には貝瀨側二名、市中側三名あり容易に意見は一致せぬ模樣で引續き協議を續けてゐるが、なほ貝瀨氏の資格論に關聯して同一樣な立場にある市會議員三宅完三郎氏の資格も問題となり目下關係者に於て研究中であるがこれ等に就いては、大連市も照會を受けて既に有効の內意を示してゐた關東廳にも調査不充分の點あり、殊にかゝる候補を市會にまで持ち出して紛糾を起さしめたのは準備委員の重大なる失態であると各方面より非難の聲が高い

大觀小觀

東京では床次氏が何か大變な獲物を持つて歸つたやうにいはれてゐる。朝鮮海峽邊で拾つたのかも知れない。

◇

列車爆破事件を公表せよと民政黨が政府に迫つてゐる、其の口吻は恰も支那側の手先のやうだ。

◇

イツかは實現する山東撤兵を、床次氏政府援助の口實になるなどは、見え透いた策ではある。

◇

公民權なしと公民權のある人々が決定した。銓衡委員の人々は勿論公民權が無かつたのであらうナ。

◇

警察が動き出して慌てゝも追ひつかぬテ。

◇

馬賊の相棒に邦人があるとは何事だ。

天氣豫報

廿七日 (晴) 北西の風
日出七時一一分日沒四時三八分
滿潮前十時五分後十時四〇分
干潮前四時二五分三時四五分

本日廳報を添ふ

明日決戰投票か
結局五泉氏當選せん

市長選擧は是非とも年內に於て之を決行すべしとの意見有力となつた結果、廿七日午後市會を開いて市長候補者選定を行ふことになつた卽ち前回の投票中の貝瀨氏に對する分を無効と認め次位の得點者石本鏆太郎、五泉賢三の兩氏に就いて決戰投票を行ふわけであるが五泉氏の運動奏効し結局同氏の當選を見るであらうといふ

杉野市長の任期 けふ滿了す
午後吏員に最後の挨拶

大連市長杉野耕三郎氏の任期は二十六日限りか二十七日限りかゞ問題となつてゐたが、內務省令によつて二十六日夜十二時限りと確定したので同日午後一時半吏員一同を集め最後の挨拶をなした、從つて明日よりの市の事務は前例により當然小數賀助役が市長代理をなすことゝなつてゐる

床次氏の收獲
在京 夏積

一、大名旅行

七人の行者と、十四人の同行者との恰度大名旅行をした床次氏は、其の出發の時からして、色々の噂を殘したが、南京、上海、青島でも又種々の批評を殘した。

噂と下馬評の中心にある間が政治家の生命とすれば、床次氏は確にまだ生命のある政治家である。

御一行の或御策士殿にお伺ひを立て、一行と同行との區別をつけたのは苦いと問ふと「何あに、一行は幹部で同行は非幹部丁度直參と外樣の樣なものさ」とのお答へ。

立派な御土產があつたらうと問へば「まあ見て居たまへ、政友會が附いて來るから」と大した鼻いき。そこで床次氏渡支の使命を檢討して見たくなつた。

二、蔣介石との諒解

之れは支那側で云ふ事だからあてにはならぬであらうが、南京政府總司令部から出た話であるから萬更うそとも云へない。蔣主席は

「何うしても撤兵の期日を聲明して貰はないと困る。その代り日本の顏を立てる爲めに蔡交渉員の死んだとや共同調査などの結果についても喧ましくやらない、撤兵後の保障條件は日本の要求を容れ又聲明もする、田中內閣は我國民政府の基礎を危ないと見て居るが決してそんなものではない。何んとかして交渉を進める樣盡力されたい」

とて順々として說き、國民政府の內情まで說いた所が床次氏は

「自分は今度は撤兵してもいいと思ふ、期日は少々長くして置いて其の間に撤兵後の保障條件の協調をなし、支那も保障聲明をすると云ふことにしては何うか」

とて交渉の內容をまで立ち入つて話した後、自己の使命は全然田中とは別だが、歸國後若し內閣が自分の對支政策に一致してくれば、新黨倶樂部も同步調に出るかも知れない。

その時は日支交渉の圓滿に進行した時である。とて新黨倶樂部の立場を特に辯明的に說いた。蔣介石はその會見が濟んだ後「床次氏の力は目下大である。交渉はきつと打開してくれるだらう」と語つたそうである。

そして尙戴天仇氏に詳細の旨を含めて更に床次氏と會見せしめ具體的の話をさせた。

その時には青島藤田總領事に關する話も出て、又日本の滿蒙交渉と本交渉とを結びつくる野心、等についても話しが出て、それで床次氏は歸途青島、滿洲に立ち寄る事にきめたのである。

三、芋蔓をたよりて

床次氏が薩摩芋であることは既に周知の事である。薩摩芋又芋蔓の一端にあるのがやはり薩摩芋の青島藤田總領事である。交渉の大きな邪魔をして來るのは藤田青島である。それは王正廷から云へば癌であり、邪魔であるが、藤田御本人から云へば癌でもなく、邪魔でもなくそれが御國の忠義であり、日本の對支策として上々のものであると信じての力の外交、強硬策、一點張りなのである。王正廷君も言つた。

「何うも藤田君には困る。あんな外交官も珍らしい、まるで軍閥の手代だね。若し藤田が來て交渉に當るといふのなら今までの一切の交渉は水に流し、始めからやり直しだ。然し藤田君の來ることは大いに歡迎する。何となれば國民政府を誤解して居る人に眞劍味ある建設の政府を實地に見せてやる事が必要だから」

と然しあの頑固な藤田氏が南京を見たらそれこそ更に頑固にならぬとも限らぬ。又山東事件交渉特派員の崔士傑君は云ふ。

「日本の外務省は支那に對してまるで封建時代の群雄割據の樣なやり方をやつて居ますね。それ上海にはもの丶判つた苦勞人の矢田さんが居るかと思へばそのすぐ隣りの青島には藤田氏の樣な軍閥代辯者が居るし、二三年前の支那の軍閥割據も笑へぬでせう」

と成程そう云へばその通りで、各地方々々の領事館に意見の一致が少しもない。又外務者にはそれを統一するだけの力もないかも知れぬ。又統一する必要を認めないのかも知れぬ。崔君は二三年前の支那といふけれども、現在の支那と雖も、やはり革命の名の下にある新軍閥の割據であるから、要するに支那も日本も、支那では同じだと云ふ事になる。

この樣に青島藤田氏は不評判だ。若し藤田氏が上海へ來れば必ず一大示威運動が起つて、排日は一段と猛烈になるであらう

四、大芋から小芋への意見

その交渉の癌であり、邪魔である藤田氏に切開手術をし、之れを何んとかして軟化せしめ樣と云ふのが床次氏の青島行の使命の主眼であつたのである。手術が果してどんな結果を見せたか、大芋から小芋への御意見がどんな風に効能を表すかは向後の藤田君を見れば判る事であるが、あの頑固な藤田君には床次といふ醫者では一寸手術も骨であつたらう。

その次が滿蒙問題と日支交渉關係調査の爲めの大連奉天行きである。

始めの日程では北へ行くと發表はしたものゝ、上海から直日本に歸つて議會前の忙しい、議會政策、代議士會に臨むのが、ほんとの豫定であつたのを急に青島、滿洲行きに變更したのであるから、そこに大きな御土產がなくてはならぬ。

一行中には張作霖顧問としての奉天總領事であつたこれも薩摩芋の赤塚さんが居る事だから、今度は奉天で赤塚さんの活動となり、多少の收獲はあつたらうが、如何に國民政府同情者の床次さんであつても「日本は滿蒙交渉と山東交渉を結び付けるのだ」といふ支那政府の意見にまで賛成はしまい。何れにしても玆旬日後に總てが形となつて現はれて來る。吾人は興味をもつてそれを見よう(完)

滿蒙を中心としたる 昭和三年史 (三)
武田南陽

四月

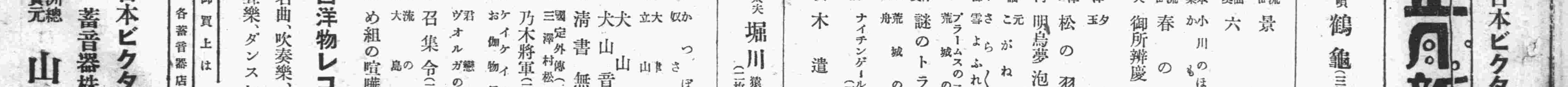
洮昂線の貨車流用問題について我國の抗議に對し支那側は何等の誠意を示さず芳澤公使は二日大元帥府に警告反省を求め奉天總領事は三日奉天當局に向つて第二回の抗議を發したが支那側に誠意なく七日劉省長は我第二回抗議に對し奉天總領事に北平に事件を移すとつきはなし十二日我第三回の抗議となる、殆どこれは我最後的抗議であつたため支那側狼狽し流用貨車を返還し始め十九日に完了二十三日滿鐵奉海鐵道連絡協定に關する交通部の批准書日本側に送付されこゝに一先づ圓滿解決を告げた又廿四日日支通商條約は二十日付を以て外交部との間に公文交換を終り更に三箇月延長することゝなり、それと同時に滿鐵は廿五日より奉天城根線に於ける滿鐵貨車の復活を決定した、廿六日第七回日滿國際連絡鐵道會議が東支倶樂部にて擧行廿七日東三省官銀號總辦は奉天に大洋維持會を召集した、三十日張宗昌、孫傳芳は濟南を抛棄して北上し濟南城は青天白日旗を以て埋められ山東に出兵した第六師團司令部に強行軍を以て青島を二十九日に發し三十日夜濟南城に到着した

五月

二日張大元帥は京漢津浦線の奉軍に總退却を命じ四日朝九時濟南城に於ける南軍は我滿洲日報販賣店を襲つて掠奪を開始し虐殺、強姦等凡有る暴虐を我在留邦人に加へ端なくも日本軍との間に大衝突起る、我軍の攻撃猛烈にして五日南軍は商埠地を放棄したが、更に誠意を示さず交渉數日八日遂に最後通牒を發し城內攻撃に移り滿洲軍が西北角を占領したるを手始めに十一日朝完全に濟南城を占領したが張作霖は十日北平退却の口實を濟南事變に藉り擧國一致日本にあたるため南北戰の停止通電を發し更に十八日東三省聯合省議會は全國に向つて內爭をやめ擧國一致外侮を防ぐことを通電し二十一日張作霖は張作相を京津地方警備總司令に任じ北京引揚げの準備を急ぐ、したがつて奉天方面の形勢漸く急を告ぐるに至り我關東軍司令部は二十二日奉天に移駐して萬一に備ふるに至り三十一日張作霖は北京引揚げ下野を決定した其他二十八日には關東州に於ける中國共產黨員四十六名起訴され三十一日には吉會線警備のため中國軍を中心に混成一旅團を當分の間駐屯せしめることに決定した

六月

一日北平に於て張作霖は大會議を召集し引揚げを決定し二日全國に向つて和平通電し許蘭洲は大元帥旗を奉じて歸奉し張作霖は全奉軍の總退却を命ずると共に大元帥の印綬をもつて離京し列車が四日朝五時半瀋陽城に近づき滿鐵平奉線兩線クロス點を通過せんとする刹那便衣隊のために列車爆破され吳黑龍江督軍は卽死し張大元帥は重傷危篤のまゝ大帥府に入つた九日平津南軍の手に入り青天白日旗翻り北伐完成の歡呼あがり十六日張學良大元帥府にて奉天督辦に就任二十一日張作霖氏の死を發表二十五日三省聯合大會議の結果張學良保安總司令となり萬福麟は吳黑龍江督辦に代つて正式に督辦に任命され三十日灤州に於ける軍事會議の結果直魯軍は灤州山海關間に駐屯第三四方面軍及吉林軍は關內に引揚ることに決定移動を開始した、これにより南方は直隸を河北北京を北平と改稱中央政府を南京國民政府とすることを發表した



日本ビクターレコード 正月新譜

長唄 鶴龜(三枚續) 唄 吉村伊十郎 三味 杵屋榮藏 上調 杵屋榮二 笛 住田多藏 小鼓 望月朴清 大鼓 望月太七 大鼓 福原鶴三郎
寶生流謠曲 景清 松本長
三曲合奏 六段 三味 宮城道雄 尺八 吉田晴風 琴 牧瀬喜代子
新日本音樂 小川のほとり かもめ 尺八 吉田晴風 琴 吉田恭子
生田流琴曲 春の曲 琴 荻原正吟 尺八 大橋鳴山
義太夫 御所辨慶上使(二枚續) 豐竹つばめ太夫
哥澤 夕暮 玉川 哥澤芝代
常磐津ピアノ 松の羽衣 常磐津文字三郎 ビクター音樂部
新內 明烏夢泡雪 富士松加賀壽々
童謠 元日 こがねむし 平井英子 中山晉平
スキー節 さらく雪よふれふれ 朝居丸子
ギター 荒城の月 ブラームスの子守唄 二村定一
和洋合奏 謎のトランク 日活和洋管絃樂團
ハーモニカ 荒城の月 舟人 春柳振作
映畫劇 ナイチンゲール(二枚續) 中村 藤田
江戸唄 木遣り 吉原仲之町さだ、つしげ、蔦代とく子
義太夫 堀川 猿廻し(二枚續) 竹本大隅太夫 鶴澤道八 竹澤團六
小唄 かつぽれ 奴さん 二三吉
小唄 大津絵 立山節 山村豐子
同 大山音頭 大山踊 相生連中 尾張、大山花袋番
落語 清書無筆 三升家小勝
浪花節 國定外傳(二枚續) 三澤村松五郎 木村友信
同 乃木將軍(三枚續) 壽々木米若
阿保陀羅經 ケイケイ盡し お伽物眞似 春風亭柳丸
フォックストロット 君戀し ヴォルガの船出 二村定一
浪花節 召集令(二枚續) 天光軒滿月
民謠 小唄 流の大島節 小唄 拔 南地力松
映畫劇 め組の喧嘩(二枚續き) 中村雪紅、小藤田 其他一同

西洋物レコード
名曲、吹奏樂、管絃樂、樂器聲樂、ダンスレコード數種

御買上は各蓄音器店にて

日本ビクター蓄音器株式會社
滿洲總發賣元 山葉洋行

北滿の馬賊と通じ 銃器の大量密輸

見本を携へ神戸で逮捕さる 常習犯 西田重太郎（四七）

【神戸特電廿六日發】密輸常習者に對し常に警戒しつゝある神戸三宮警察署では此の程、北滿の馬賊團の

頭領 と連絡のある大仕掛な密輸團のあるのを探知し捜査中の處、去る十五日定期船バイカル丸で大連から神戸に上陸せる住所不定西田重太郎（四七）の擧動不審と認め嚴重取調べ中であつたが、廿四日に至り同人を中心とする銃器密造及び密輸出團體が存在することを

發見 するに至つた、即ち同人は常に大連、神戸間を往復して密輸を常習とし此のほど奉天に住所を有する馬賊の首領の依頼を受け大阪の某鐵工所に依頼して機關銃器二千個の製造を求め別に一萬發の彈丸を送付する計畫を立て銃器の見本を携へて神戸に上陸した處を捕へられたもので銃身及び銃床等は

奉天 にて製造し乙銃（機關銃の部分品）のみを大阪で作つて輸出を企てたものである、同人はこれまで數回にわたつて約五千の乙銃と數萬發の實彈を奉天に向け輸出したこと發覺し尚大連に陸揚の際には前記注文主の馬賊團が巧妙に活動してゐたことも判明した

水上署で取調べ 初耳だこ 寺田署長談

西田重太郎一派の機關銃密輸事件の詳細は未だ判明しないが、大連經由陸揚したものとすれば密かに發動機船舶板等を利用し貔子窩邊に陸揚したものではないかと見られてゐる、右につき寺田水上署長は語る

いや初耳ですよ、驚きましたね事實そんなことがあつたとしたら恐らく正規の手續を經ずに行はれたものではないでせうか、早速事實の有無につき取調べにかゝります、馬賊の後援を得てですつて、隨分大掛りらしい樣ですから普通なら解らぬはずはないと思ひますが

滿鐵で採用する 明春の新卒業生

三年度の七十八名より減じ 俸給手當を廢する

滿鐵の昭和四年新卒業生採用に對しての人員豫定及び待遇に關しては兼て協議中の處、大體左の如き決定を見るに至つた

昭和四年度内地專門學校以上卒業生の新規採用は四年度よりその人員を減ずる方針であると即ち三年には内地の專門學校卒業生採用は七十八名の所明四年は事務、技術兩方面及び滿鐵留學生を含めて三年の七十八名よりも減ずる豫定である

尚此等專門學校以上を卒業した新規採用者に對しては明四年より約二ケ年を見習期間として准職員となしその上俸給手當（從來支給してゐた月俸の五割）を廢することと決定を見るに至つた

大連奉天撫順間 耐寒自動車突破

一、一月元旦午前三時大連神社頭出發

一、本社加藤特派員參加

主催 日支自動車研究所

後援 滿洲日報社

元朝大連を出發し 耐寒自動車旅行の壯擧

日支自動車研究所の主催で 本社特派員が同乘

若き聖帝を迎へて光輝燦爛たる昭和四年の新春を迎ふるにあたり酷寒零下幾十度雪の曠野滿洲野を自動車によつて

突破 しやうといふ壯擧が市内北大山通一四、日支自動車研究所々長阿部種藏氏によつて計畫され、本社は別項社告の如く記者を特派同乘せしめてこの壯擧の成功を後援することとなつた、突破の行程は大連撫順間二百八十餘哩の往復で一行は三臺の自動車を連ね瑞氣滿街をこめ

東天 未だ紅に染めぬ元朝の午前三時、崇嚴の氣漲る大連神社に參拜直に出發爆竹の新聲を聽きつゝヘッドライトを輝かして鐵道線路に添ひ周水子街道を金州に出で普蘭店、復州、熊岳城を經る頃始めて明け放れた元朝の朝日を浴びながら蓋平あたりで屠蘇を酌み雜煮を祝つて再び車を北へ北へと道なき道を

疾驅 し大石橋、湯崗子、鞍山を經て遼陽に一泊、翌朝再び未明に出發蘇家屯より渾河を渡り奉天に着き更に轉じて奉天撫順間を往復奉天に一泊、三日奉天を發して同樣のコースをとり歸途につく豫定であるがこの壯擧の目的は

一、自動車智識の普及

一、自動車各機關の知識的長時間運轉試驗

一、操縱者の長時間運轉能力試驗

一、耐寒運轉能力の試驗

一、道路及適應自動車種の研究

に在り兼ねて沿線各地の

正月 情形を報道しやうといふので本社特派員加藤保敏氏の筆によつて詳報され新春の紙上を飾る筈である

明年十月に 神宮遷宮祭

特に勅使を御差遣 天皇陛下は御遙拜

【東京二十六日發電】伊勢神宮を毎二十年目に御造營申上げることは天武天皇の御創定にかゝり持統天皇の朝に始めて二十年造營の式年遷宮の儀が執り行はせられて從來繼續せられてゐるが、昭和四年は恰も遷宮の儀を擧げさせらるべき年に相當するので神宮では明年十月に遷宮祭を行ふことゝなつてゐる、即ち内宮は二日頃外宮は五日頃午後七時より約一時間半に亘る御儀が行はせられるので、當日天皇陛下には特に勅使として掌典を參候せしめられ且つ同刻宮中神嘉殿前庭に下御あらせられ御遙拜遊ばして敬神の範を垂れ給ふことゝなつてゐる

鹵簿奉拜者から 青年飛出す

けさ貴族院正門前で

【東京二十六日發電】本日午前十時三十五分天皇陛下帝國議會に行幸の爲め宮城御出門、御順路を貴族院に向はせられ正に貴族院正門に入らせられんとする際十時四十三分奉拜者の中から二十歳位の和服に二重マントを着し口髭をはやしたる一青年が飛び出し何事か叫びながら鹵簿に向つて近寄らんとしたるを警官に取押へられた

冬休みで内地から學生歸る

冬休みの聲を聞くと待ち兼ねた樣に便船を求めて慈愛に滿ちた父母の膝下に歸つて來る、滿洲から遠く内地に遊學中の大學生、中學生、女學生、云ひ合せた樣に廿六日入港のばいかる丸で歸滿したが一同喜色を滿面にたゝへながら渡橋が渡されるのをまつさへもどかしいそく／＼して上陸して家路についた

警戒線を突破して 長春に强盜現る

料亭開花を襲ひ仲居から强奪 犯人は邦人らしい

【長春特電廿六日發】長春署では年末警戒に署員總出で大車輪の活動を續け十二月に入つて事件一件もなく雀躍りして悅んでゐた甲斐もなく今朝四時半頃嚴重な警戒線を突破して東二條通料亭開花に首卷を以て覆面した强盜押入り刺身庖丁を以て家人を脅迫し仲居の所持金百二十圓を强奪し悠々表玄關から姿を晦ました、警察では直に犯人逮捕の手配をしたが犯人の擧動言語等よりして日本人ではないかと見られてゐる

賊、短刀を振ひ 海中に飛込む

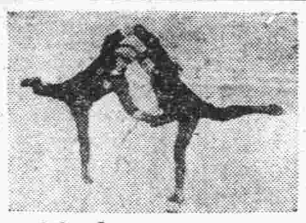
錨を握り人事不省に陷る 短刀は母の形見の品

二十六日午前一時ごろ市內東鄕町支那雜貨屋へ忍び入り葡萄酒三本赤靴一足を窃取逃走する日本人を奧町夜警が發見誰何すると賊は矢庭に刄渡り八寸の白鞘短刀を拔き拂つて斬りかゝり夜警は鐵棒でこれに對抗し寒月冷たき深夜の路上に激しい鬪が開始されたが、急を聞いて駈けつけた奧町派出所吉村、大石、岩內の三巡査の姿を見るや賊は身をひるがへして東鄕橋方面に逃走し、埠頭北門監視見張所附近で逃げ場を失ひ拔き身の短刀を携へたまゝ海中めがけて身を躍らせ姿を沒して終つた追跡して來た三巡査は水上署高橋巡査の應援を求め直に舢舨に乘じ附近の海中をくまなく捜査すると岸壁より約一丁を隔つて繫留せる日島丸の錨の鎖をシツカリ握つたまゝ人事不省に落入つてゐるのを發見、直に引あげ見張所に擔ぎ込み暖をとらせて人工呼吸の結果漸く蘇生したので大連署に連行取調べると犯人は橫濱市中區上野町一丁目二十七番地川上正藏（二二）といひ最近ハルビンから流れ來て諸方を徘徊してゐたもので兇行の短刀は正藏が十三歲の時死別した母の形見であると

自殺すると女 二人が家出

市內三葉町三六村田右衞門方木村ハツエ（二一）は廿五日午前八時ごろ自殺する旨の遺書を殘して外出したまゝ行方不明となり尙近江町八〇丸屋新六郎方同人妻妹淸水千枝（三）も去る廿四日午後一時ごろ外出したまゝ行方不明となり自殺する處があるのでそれ／＼大連署に捜査願を出したので各署で極力所在捜査中

スケート夜話



子供時代から 體驗した私の練習

スタートを切る迄の氣持 撫順の日高アサノ孃談

女流スケート界のナンバーワン撫順の日高アサノさんは語る

皆樣に御話なんておこがましい話ですが、私が子供時代から體驗したこと等御話して見ませう◇

練習時間や練習方法は人に依つてそれ／＼異つて居りますが、私は毎冬毎日二時間夢中に練習します、最初の三十分間は足馴しに輕く身體中が暖くなる迄滑走し次の三十分間は自分より早いものゝ後に付いて廻り次の三十分間はタイムを計つて走ります次の三十分間は激烈な運動後直ちに止めると身體を惡くしますから運動を止める準備として輕く輕く從つて氣分も落付かせて悠つたりと滑走しますこの時はよく幼ない子供を相手に鬼ごつこなどもよく致しました、二時間以上の練習はだれますから何時もこれ以上は致さないことにして居りました◇

尙時に研究した事で實績をあげました事は各コーナーを曲る時女子は男子に比較して甚だしく大曲りに且スピードが隨分落ちますそれを兒より八釜敷く練習させられ競技の際大變タイムをよく致しました一般に各地の選手より撫順の選手はコーナーを廻る處が上手だそうです、競技に際しての心理は、レースに望んだ人でなければ到底味はふ事の出來ない事で御座います胸は高鳴り身は緊張しきり、寒風の隙か或は武者振かスタートの瞬間までは誠に息づまる思ひです◇

午併此の間もほんの瞬間で一歩フライングすれば胸の動搖も心配も一切の混亂から拔出る事が出來ゴールに入る頃は觀衆の聲援も夢のやうな感じで滑付いた時などホツとして重荷を下したやうなサツパリした氣分になります、この心理も回數を重ねるに從つて馴れて通常の練習の時と餘り變らぬ樣になりレースの上に非常に効果が御座いますこれが所謂場馴と申すのでございませう◇

競技の心掛けとしてはマネージヤ並に先輩選手の注意を守り競技係員指圖を奉じ競技中落付いて最後まで如何なる障害があつても邁進する事が肝要で御座いませう又競技係員や觀衆に對してもスポーツマンの禮儀と思ひますから實行せねばならないと思つて居ります◇

毎年の樣に大會に臨みましたが其の都度御蔭樣で餘り慘敗も致しませんでした今後尚一層此の上練習致し度いと思つて居りましたが炭礦採炭所に勤める樣になりましたので設備の關係上思ふ樣に練習も出來ないと思つて居ります（寫眞日高アサノ孃）

慈惠病院理事長 柴田氏近く辭任

病院は恩賜資金で擴張

財團法人慈惠病院の關東廳移管問題について探聞するところによれば目下關東廳には恩賜資金が約四十萬圓ありこれが使途について研究中のところ現在の慈惠病院を引受けて擴張せんとの意向があり曾て其意向を柴田理事長に傳へ柴田氏も亦大に贊同し本院を恩賜財團慈惠病院とし伏見臺の分院は本院から切り離して柴田氏の個人經營とすることに內定して居つたところ同病院の創立當時よりの熱心な後援者で現在の顧問日疋行亮少將等が反對したゝめ柴田氏は兩者の間にたつて可成り苦い立場となつたので今回御大典に表彰の天恩を拜したのを機會に引退することに決定し既に評議員まで辭表を提出した趣きで遠からず同氏の引退も決定し同時に右恩賜財團病院として大擴張されるに至るであらう、右に關し柴田氏は語る

世の中から色々誤解されて迷惑してゐます、しかし私としては創立以來二十三年間苦心今日に至つた病院と離れることには少からず愛着の念に堪へないものがありますが、しかし翻つて考へれば恩賜資金によつてよりよく擴張されるのですから可愛い娘をお嫁にやる時と同樣の悲喜交々で關東廳の提案を快諾したのでしたが、先輩や後援者がキリスト教の病院だからと反對され非常な苦しい立場となつたので責を負つて身にあまる光榮に浴したのを機會に引退することにしました

銘酒 澤之鶴 灘 石崎株式會社

頭山滿翁傳

無位無官の大國士たる頭山翁、七十年の物語は波瀾曲折を極め小說よりも面白い、富士新年號！

小山內薰氏 昨夜突如逝く

【東京二十六日發電】劇作家小山內薰氏は二十五日夜築地小劇場の會に出席中發病四ツ谷南寺町七の自宅に着く間もなく心臟痲痺で死去した、四十九歲、急報に接し築地小劇場關係者はじめ氏の親近者は枕頭に駈けつけ最後の看護を行つた

氏は明治十四年七月廣島市に生れ東大英文科卒業大正元年歐洲諸國漫遊作品には小說「大川端」「盲目」等あり、市川左團次と共に自由劇壇を起して以來劇壇に貢獻するところ多く近年では築地小劇場を創始しその發展に獻身的努力を續けたものである

宮崎縣下大火

【宮崎二十六日發電】廿六日午前五時西諸縣郡小林町西朝日通郵便局前の木原製絲工場より發火し瞬間に四方に延燒七時三十分迄に四十戶を全燒し尙盛んに燃えつゝあり幸ひに風强からざるも水利惡き爲め破壞々防に努めつゝあるが今の處鎭火の見込み立たず小林驛も危險に瀕してゐる同町は大正十四年五月三十餘戶を燒き一昨年一月七百餘戶を全燒全町の大部分を焦土と化せしめ昨年一月には又百八十戶を全燒し斯く相次いで火災に見舞はれ火に呪はれた町である

避寒所開設

大連小崗子兩公議會及び山東同鄕會によつて企てられた沙河口管內三春町難民避寒所はいよ／＼廿六日より開始したが昨今の暖かさで入所者は僅少であつた

第二十三期決算公告

貸借對照表（其一）（昭和三年十一月卅日現在）金貨勘定

資產之部

拂込未濟資本金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇
營業保證金	一五〇、〇〇〇・〇〇
有價證劵	七、七六〇・〇〇
營業用什器	四、一七八・五〇
不動產	二、九一九・〇〇
諸預ケ金	一、三七八、五三七・二一
貸付金	四八五、六九四・六〇
賣買勘定尻未入金	二、二八五・七五
預託證據金代用證劵	七〇〇、〇〇〇・〇〇
賣買未決算勘定立替金	二、二五〇・〇〇
現金	一〇六・三三
合計	六、五〇二、四二一・二九

負債之部

資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	三、三五〇・〇〇
命令積立金	六、六五〇・〇〇
營業保證金代用證劵	一五〇、〇〇〇・〇〇
社員積立金	三、二九六・〇八
借入金	三三〇、〇〇〇・〇〇
假預リ金	一五五・一四
對銀貨勘定	四、〇七三・六八
未拂株主配當金	七、六〇七・三三
賣買勘定尻未拂金	七、三四六・二五
預託證據金	三三四、一〇〇・〇〇
本證據金	二五六、〇〇〇・〇〇
賣買未決算勘定預リ金	二、二七〇・〇〇
未納諸稅	三、五〇〇・二〇
前期繰越金	一、六八九・一九
當期益金	一一二、三八三・五三
合計	六、五〇二、四二一・二九

利益金處分（昭和三年度下半期）

一金拾壹萬貳千參百八拾參圓五拾參錢也 當期純益金

一金壹千六百八拾九圓拾九錢也 前期繰越金

合計金拾壹萬四千七拾貳圓七拾貳錢也

右處分左ノ通リ

一金五千六百貳拾圓也 法定積立金

一金壹萬壹千貳百五拾圓也 命令積立金

一金七千五百圓也 役員賞與金

一金八萬七千五百圓也 株主配當金

但一株ニ付金八拾七錢五厘（年一割四分ノ割）

一金貳千貳百貳圓七拾貳錢也 後期繰越金

右之通ニ候也

昭和三年十二月

大連取引所錢鈔信託株式會社

支部長募集

御大禮記念唯一無類の掛軸頒布案內、宸殿御盛儀の謹寫ヲフセツト二十度原色刷り巧麗優美高尙尊嚴御式場を拜觀する如く毎戶率先奉藏すべき寶典なり附錄即位勅語額面添付す書入場明細證附位禮大嘗祭次第好評沸くが如し頒布以來多大の感謝を受く全國普及のため支部長募集す希望者申出べし內容說明書送付す

東京麴町區飯田町六丁目十二 大日本忠愛義會本部

有給社員採用

希望者は本人來談あれ 面會時間自午前九時至午後四時

橫濱生命保險 大連支店 大連市西通六八 電話三八七五番

會葬御禮 所琴子

競賣廣告

一、品名 鑄鋼屑、砲金削屑其他

一、現品所在 遼陽工場構內

一、現品下見 昭和四年一月十七、十八の兩日

一、入札場所 遼陽滿鐵社員倶樂部

一、入札保證金受付 遼陽地方事務所 昭和四年一月十九日午前十一時二十分限

一、開札日時 昭和四年一月十九日午前十一時四十分

右之通競賣す入札希望の向は現品竝不用物件賣却規程熟覽の上入札せられ度し

昭和三年十二月二十六日

南滿洲鐵道株式會社 用度事務所

例年の通り 御正月の御重詰を 御注文に應じます 何卒倍舊の御引立を願ます

吉野町 眞砂 電話五三二四番

お座敷おでん お正月お重詰

浪速町四丁目 みやた 電話八三一四番

花環部 葬儀部 電話七六四四番 八弘社 大連西通九

父小林德次郎儀永らく病氣療養中の處藥石効なく十二月二十六日午前一時遂に死去仕候間生前辱知諸彥に謹告仕候 追而明二十七日午後正二時途中行列を廢し愛宕町金光教々會所に於て告別式執行仕候

十二月二十六日

男 小林虎男 親戚總代 鹽田源太郎 友人總代 濱本舜一 山田忠吉 金光教 小林德之助 信徒總代 小林庄五郎 外役員一同

當組合長小林德次郎氏病氣療養中の處十二月二十六日午前一時遂に逝去せられ候に付此段謹告候也

十二月二十六日

大連疊商同業組合

歲暮 十二月三十一日迄 景品附大賣出 商品購買劵の御買上を歡迎 加入商店一同

三越マーケット ……三十一日まで三階にて…… ……瀨戶物、金物、外御臺所用品…… 三越 大連

今年の財界を回顧して……（七）
出兵で俄然活躍 排日貨では氣崩れ
遠洋好調で冬枯れ知らず越年 波瀾重疊だつた本年の海運界

昭和三年中の大連港入港船舶數は四千三百六十九隻（但し十二月は概數を以てす）一千百四十萬八千四百二十六噸にして、これを前年の四千七十隻、一千七十八萬九千五百九十噸に比すれば二百九十九隻、六十一萬八千八百三十六噸の增加を示し、貿易額の增加と相應じて當地の海運界は　昨年に比し好調を呈してゐる、即ち各月別に示せば左の如くである

月		二年	三年
一月	隻	三三九	三三三
	噸	九三〇、〇〇二	七九七、九六二
二月	隻	二六八	三九七
	噸	七六二、〇六二	九一七、九五八
三月	隻	四〇九	四九〇
	噸	九四三、二四六	一、一六〇、一一四
四月	隻	三七八	三七四
	噸	一、〇一七、三一七	一、〇三〇、六六三
五月	隻	三九一	三八八
	噸	一、〇〇八、五〇八	一、〇九〇、〇八九
六月	隻	三三九	三四二
	噸	八六四、六九四	九四九、六三一
七月	隻	三三三	三三三
	噸	八九七、三六二	八八九、二三二
八月	隻	三〇九	三一八
	噸	八五九、三九六	七九六、八九七
九月	隻	二九六	三一九
	噸	八一〇、八六一	八〇六、一六七
十月	隻	三一四	三六七
	噸	八二九、〇三二	九九五、六九九
十一月	隻	三一六	三三四
	噸	八四九、〇八六	九二一、九四六
十二月	隻	三五八	三六四
	噸	九四八、〇〇四	一、〇四一、九四六

而して一方大連港を中心とする本年の海運市況を顧みるに市況の

大勢を制 するものと見做さるべき豆粕は前年末より内地米價の低廉なると生絲の不作により農村の窮迫、加ふるに硫安の化學肥料に壓倒せられて需要の激減を來し大連—阪神間の運賃は最低四錢といふ極度の不況に陥りたる儘越年し、一月より二月に亘りて稍好調を呈し來つたが氣配は尚も軟弱を辿りつゝ推移した、然るに四月下旬に入り山東の風雲急を告げ我が派兵相踵ぎ、近海就航船は續々軍隊增派の爲徵發せられ

其の數約 三十六隻此の噸數約二十萬噸に及びたる結果は、先づ内地海運界に衝動を與へチャーター料の昇騰を來すと共に運賃亦之に伴ひ、内地海運界に支配せらゝ當地海運界も一齊に强調を帶來り定期船に於ては大連神戶間、大豆十四錢より十六錢の二錢方豆粕十四錢より十五錢の一錢方昂上したが六月中旬には最高十八錢同下旬より六月上旬にかけて最高十九錢最低十一錢となり大體に於て五割乃至八割高を演出し、石炭に於ても噸一圓三十錢より漸次奔騰して三圓三十錢にまで上向いたが然し此は單に御用船の徵發よりする

船腹不足 の結果のみでなく、かの濟南事件以來支那紙が牽强附會の言論を弄して逆宣傳をなし巧に排日氣勢を煽りたるため、天津、青島、漢口、上海等各地に於て日貨不買運動起りたるのみならず、埠頭苦力の同盟罷業頻發せるため荷役困難となり從つて邦船は復航上大打撃を蒙る等の障害多端なる爲め勢ひ出荷の運賃を上向かしむるに至つたものと信ぜられる（つゞく）

混合保管豆油 添加量の改正率
滿鐵の提案通り決定

混合保管豆油の添加量は其の貨物の性質上保管中に於ける自然減量を見越して一定率を定めたものであるが、現行添加量は過去の實績に徵し過重に失する憾みあるに鑑み左記の如く改正する事について滿鐵より照會あり組合でも異議なき旨回答した

一、現行率
（イ）大連埠頭寄託の場合　一口十一噸に付　八十斤
（ロ）東支聯絡船驛發着後寄託の場合　一口三十噸に付　二百二十七斤
二、改正率
（イ）の場合　十七斤
（ロ）の場合　四十五斤

數字が語る本邦肥料の趨勢
豆粕漸減、硫安漸增

肥料は農村經濟に於て農家の支出中の最高位を占むるものであるから農家は有効にして最も經濟的な肥料の使用に就き常に細心の注意を怠らずにゐるがいま本邦の

三大肥料 と云はれて居る大豆粕、過燐酸及び硫安の最近に於ける消費の變遷を見るに次の如くなつてゐる

年次	大豆粕（單位百萬貫）	過燐酸（上同）	硫安（單位千噸）
大正十二年	四〇六	一三一	二三七
十三年	三四四	一五〇	二五一
十四年	三二六	一六九	二九九
昭和元年	四〇〇	二〇〇	三九四
二年	三三七	二三八	三八〇
三年（推定）	二六八	二四〇	四七〇

即ち右に依れば過燐酸と硫安の消費が年々增加の趨勢にあり、之れに反し大豆粕の需要が著しく減少しつゝあることが明かとなる、これは大豆粕が硫安に比較して、肥料價値に對して價格が割高であるため最近特に硫安等の化學肥料に押され氣味になつて來た理由に基くこと云ふまでもない、昭和三年中に於て特に目立つて著しき現象は右の内硫安の

需要增加 であつて同二年の三十八萬噸に對し三年は約四十七萬噸の需要があり又二年は十八萬噸の輸入に對し三年は約二十四五萬噸の輸入をなし、殘り二十三四萬噸は内地に於て生產したるものである、昭和四年内地でどれだけ生產するか未だ明確に豫想できないが、先づ三年中より五六萬噸增產と見て大した間違はあるまい、而して昭和十年には内地のみで約五十萬噸の硫安製造可能となる見込みであるから、そのときは硫安の自給自足の域に達するものと見られてゐる、更に化學の進歩に依る

新肥料の 出現は最近著しくロイナホス、ニトロホスカ、アンモホス等の如きものが獨逸又は米國から多額の輸入を見るやうになつたので明年の肥料界は此の點からも相當注目すべきである、只肥料製造會社や肥料商は飽くまでも消費者たる農家との共同利益を擧げることに努力すべく心掛けねばならぬことは勿論である

紛糾も見ずに圓滿に終了した
混保見本查定會から歸つた 滿鐵の小林氏語る

昭和三年度混合保管大豆見本查定會は廿三日公主嶺滿鐵農事試驗場にて開催されたが廿六日同會議より歸連した營業課貨物係主任小林五郎氏は語る

本年は作柄が非常に良好であつたため次表の如く完全粒、不完全粒、夾雜物等の數字が上つたため出席少員中に幾分の議論も出たが、作柄の狀況より止むを得ぬことゝして紛糾も見ずに同日圓滿に見本查定の終了を見るに至つた

因に完全粒、不完全粒、夾雜物の數字を前年度と比較對照して見ると次の如くである

▲完全粒

		本年度	前年度
黄豆	特等	九一、五八	九一、八二
	一等	八三、六一	八〇、五四
	二等	七一、五三	七〇、三九
色豆	特等	一、四六	〇、〇八
	一等	三、一一	二、四〇
	二等	五、一七	四、九五

▲不完全粒

		本年度	前年度
損傷	特等	四、四一	六、四三
	一等	九、四三	一一、五三
	二等	一五、六九	一五、七九
不實	特等	一、三〇	一、四一
	一等	二、七七	四、四二
	二等	四、六一	六、八八

▲夾雜物

	本年度	前年度
特等	〇、二五	〇、二六
一等	一、〇八	一、一一
二等	二、〇〇	一、九九

撫順不動產組合成立

撫順不動產組合總會は二十四日午後七時より實業會館に於て開催した、組合加入者八十餘名の内出席者五十餘名にして先づ飛鳥井氏から本組合の經過報告あり次で規定草案の審議及び役員選擧、組合經費の徵收方法等につき協議する處あつたが差當り實行すべき件に就いては發起人に一任する事に決定し午後九時閉會した、因に本組合の趣旨左の通りである

趣意書

撫順經濟界の現狀は既に周知の事實にして其の原因たるや多種多樣に亘り一言にして盡し能はざるも歸する處不動產に對する流動資金の固定に基因する事大なるは言を俟たず而も地方金融機關は各本來の使命により相當資金の貸出を爲しつゝありと雖も巨額の建築資金の需要を充足せしむる能はざる事情あり其の結果不動產所有者の多くは今や一時的高利の借款に依れる元利償還に異常の困難を嘗めつゝあり若し現狀を以て推移せんか破產倒產者の續出を餘議なくせられ遂には收拾す可からざる慘狀に陥り地方經濟界に重大なる影響を及ぼすべき事は想像に難からず然も近時此傾向益々深刻化しつゝあるは看過すべからざる事實にして此難局に對する善後策としては先づ第一に建築物を擔保とする低利資金融通の途を講ずる事を以て刻下の急務とすべく茲に期せずして本組合の創立を見たる所以なり希くは叙上の趣旨に御贊同の上本組合に加入せられむ事を

特產物輸送に奉海線も大多忙
西安線は割引で馬車に對抗 同地は一帶に產地高

特產輸送最盛期に入つた昨今の奉海線もその出廻りが非常に增加し滿鐵貸與の輸送貨物車も現在既に百三車に及んでゐる、而して二十四日の各驛受託數量の如きは山城鎭五六車、海龍六六車、朝陽鎭八二車、西安一一車、東豐一九車等で全線の滯貨二百六十二車の殷盛を極めてゐる、而して西安支線の如きは馬車輸送と對抗するため十六日から二割引、奉海本線各驛受託は一割引を

斷行し て收入增加に大童となつてゐる、尚海龍駐在の支那軍隊が朝陽鎭に移動したことから附近一帶の馬車を徵發され驛持込みの馬車輸送に大打撃を被つてゐる模樣であり、また奉海線一帶には特產買付けのため三井、日清等が入り込んでゐるも產地高で手も出せない狀態であるといふ

東米增配

【東京二十六日發】東京米穀商品取引所は二十四日總會で配當一割二分六厘案を決定した、今期配當は前期に比し四分六厘增である

引續低落の小賣白米
◇廿五日現在

大連米穀同業會調査に係る廿五日現在の市內白米小賣値標準は左の如くこれを去る十五日現在に比すれば鮮米滿洲米共に四十三斤は十錢安、三十斤は五錢安を示した

▲朝鮮米（特等）
四十三斤入一叺　十一圓八十錢
三十斤入一袋　八圓三十錢
▲滿洲米（特等）
四十三斤入一叺　八圓四十錢
三十斤入一袋　五圓九十五錢
▲同（一等）
四十三斤入一叺　七圓九十錢
三十斤入一袋　五圓六十錢

奉票暴落して遂に立會を中止
官銀號の特產物買占めて 三千百三十元に落つ

【奉天特電二十六日發】奉天票は本朝三千百三十元に暴落し立會停止となつた、原因は東三省官銀號の特產買占めの爲めであると

經濟眼
出發を誤つた滿洲の財界
今後の打開策は如何（上）

德泰公司　山內貢君

現在滿洲財界が極度の疲弊困憊を告げ、内地の金融緩漫や海外の市況回復に對し、何等好轉の反應を認め難い原因は、實に滿洲財界其者の素質が惡いからである。錆付いたモーターには電流の通ふ筈のない如く彈力性を缺いた財界は景氣の波調を感受する事は出來ない、然らば滿洲財界を錆付かせ、之から彈力性を奪つた者は何ぞ、それは先づ當地財界發展のスタートに於て誤つて居たからである。

◇

元來滿洲は農產物就中大豆輸出を以て支へられる所謂農業經濟に立脚する土地である、故に滿洲に於て特產關係の事業經營は存在理由があるが、其他の商工業は人口稀薄な植民地である上、金銀比價の變動、交通の不便、人材蒐集の困難等の事情からして、其經營は極めて困難に屬し、又實際歐洲大戰迄は滿鐵並に三井、大倉の財閥を除いては、企業らしい企業は存在しなかつたのである、然るに歐洲大戰と云ふ滿洲開發の絕好なチャンスを與へて與れた、此チャンスは之を善用して着實な事業經營の基礎を樹立すべき筈の處當時の實業家は目前の好況に理性を失つて何等の準備成算なく、群小會社を濫設し、其プレミヤム稼ぎに熱中した。

◇

かくて滿洲財界は秩序と平靜を失つた一大賭博場と化したのであるが、勿論之には政府の金券普及政策と言ふミリタリズムと、銀行の本分を忘却した投機關與が助長して居る事は言ふ迄もなく、かくの如くスタートに於て既に誤つた人々に依り、誤つた方向に操縱された滿洲財界は、大正九年春の反動に會つて、一溜りもなく沒落し其餘弊は荏苒今日に及んで居るのである。

◇

當時滿洲財界に跳梁した產業家は、何等生產的計畫や採算基礎があつて事業を創設するプロモーターではなく、唯株價の暴騰や財產の値上りに依つて、一氣に儲けやうとする投機業者であるから、株式拂込金や銀行からの借入金は專ら値上りの著しい土地、建物、權利と言ふ不生產財に注込み、資金を固定させたものである、故にイザ反動襲來となるや、忽ち支拂能力を失墜するか、また銀行は擔保價額の値下りに依つて、多大の損失を蒙つたのである、これ今日銀價格の三分の一にも足らない固定資產を擁して、竊々たる銀行會社を多く發見する所以である。

黃塵

◇…泣いても笑つても昭和三年もアト五日を殘すのみとなつたが、期待外れの辰年の財界に次ぐ巳年の財界がヌラリクラリと過ごすのでは困る。

◇…殊に懸案として持越された金解禁は、國民の經濟的總動員である、來る可き年に於ける其の試煉を前に、大に緊張すべし。

◇…暮の銀行は定めし多忙だらうと思ひの外、歲末資金は徵々たるものだ、金融緩漫による金利の低下趨勢を、今後銀行はドウするつもりか。

◇…金利引下は出來ないだらうといふ向もあるが、下げても下げなくても、借手のないと來ては銀行が苦惱するのは當然の話。

市況

特產　高粱は軟調 手仕舞ものに

休日明けの今朝の定期は差したる新材料はないが大豆は買氣ありて氣出で强調を持し豆粕は買人出來不申の不振を示し商內亦引立たず豆油は動かず保合高粱は手仕舞ものに伸び兼ねて軟調を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	五八〇	五九〇	五八〇	五九〇
一月末	五九〇	五九四	五九〇	五九四
二月末	五九〇	五九〇	五八〇	五九〇
三月末	六〇〇	六〇三	六〇〇	六〇二
四月末	六〇七	六〇八	六〇七	六〇八

出來高　六十八車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一九二〇	一九二〇	一九二〇	一九二〇
一月末	一九二〇	一九三〇	一九二〇	一九三〇
二月限	一九三〇	一九四五	一九三〇	一九四五
三月限	一九四五	一九五五	一九四五	一九五五
四月限	一九六〇	一九六五	一九五五	一九六五

出來高　十萬三千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一七三五	一七三五	一七三〇	一七三〇
二月限	一七三〇	一七三〇	一七三〇	一七三〇
三月限	一七三〇	一七三〇	一七三〇	一七三〇
四月限	一七四〇	一七四〇	一七四〇	一七四〇

出來高　七千五百箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三九五〇	三九五〇	三九二〇	三九四〇
一月末	三八九〇	三九〇〇	三八八〇	三八八〇
二月末	三八九〇	三九〇〇	三八八〇	三八九〇
三月末	三九二〇	三九二〇	三九〇〇	三九〇〇
四月末	三九五〇	三九六〇	三九二〇	三九三〇

出來高　九十七車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	五九一〇	五九一〇
出來高	百六十車	
三等大豆（出來不申）		
豆粕	一九〇〇	一九〇〇
出來高	二萬枚	
豆油	一七二〇	一七二〇
出來高	九百函	
高粱	四〇四〇	四〇五〇
出來高	五車	
包米	三八五〇	三八五〇
出來高	十五車	

定期喰合高（廿四日帳入）

		前日對比
大豆	四八一七車	五一車
高粱	二五五九車×	三五車
豆粕	一七九六千枚	一〇九千枚
豆油	一〇二五百函	四〇百函

雜穀出來値（廿四日）

▲包米（海城）四、二〇（虎石臺）四、一八（新臺子）四、一五（開原）三、八六▲青大豆（海城）五、八〇▲白眉豆六、〇〇▲紅小豆（下九臺）七、七五▲芝蔴（海城）一二、〇〇▲元米（昌圖）七、四五

錢鈔

前場（弱保合）

今朝の海外材料としての倫敦、紐育、孟買、英米クロス、米支、米日、上海標金はクリスマスにて何れも休日、滙兌は七十一兩三三五滙中は七十一兩七七五大洋は百一圓八十錢日米は四十五弗八分の七と（同事）示す當市の銀價は弱保合を呈しゐた

上海標金情報

【二十四日發電】今日支那新聞の報ずる處に依れば日支交涉樂觀見越し休日明け金高からんと又孟買在銀高漸減傾向なるも倫敦より孟買上げ約五十萬磅（オンス？）の銀を輸送しつゝあればこの鼻銀反つて弱からんと觀測されてゐる

阪神爲替　一〇時二二分發
日米　四五弗八分七
日英　一志十片四分三

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
近期	一〇〇一	一〇〇一五	一〇〇〇五	一〇〇一五
遠期	九九八	一〇〇〇	九九七〇	九九八〇

出來高　近期　二百二十萬圓　遠期　二百十七萬圓

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三三、二	—	三三、六
商信	寄	—	—	二〇、三
	引	—	—	—
新豆	寄	一七、七	一七、八	一八、〇
	引	—	—	一八、〇
錢鈔	寄	二九、五	—	二九、九
	引	—	—	二九、五
大新	寄	—	—	八六、一
	引	—	—	—
新東	寄	—	—	一六五、〇
	引	—	—	—
五品	中	—	三三、二	三三、六
	引	—	—	三三、五

◇直キ（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三三、九	三三、一	三三、九	三三、九
商信	—	—	—	—
新豆	一七、六	一七、七	一七、六	一七、七
錢鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇直キ（乙部）

銘柄			銘柄		
大新	寄	八四、六	新東	寄	一六三、五
	引	八四、八		引	一六三、五
鐘新	寄	二三八、〇	正隆	寄	五八、八
	引	二三八、三	二新	引	—
星土	寄	七、四	郊外	寄	七、七
地	引	—	土地	引	七、八
開原	寄	九九、二	開原	寄	三三、二
取信	引	—	新	引	—

▲爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代渡代引	日步
五品	三三、〇	三〇〇	三四〇	四
商信	一九、五	—	六〇	三
新豆	一七、五	一一〇	一〇	三
錢鈔	二九、五	三四〇	—	—
新	二七、〇	—	—	—

◇後場（保合）

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三三、二	—	三三、六
商信	寄	—	—	二〇、三
	引	—	—	—
新豆	寄	一七、八	—	一八、〇
	引	—	—	—
錢鈔	寄	二九、四	—	二九、七
	引	—	—	二九、五
大新	寄	—	—	八六、九
	引	—	—	—
新東	寄	—	—	一六六、〇
	引	—	—	—
五品	中	三三、二	—	三三、六
	引	—	—	三三、六

◇直キ（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三三、〇	三三、〇	三三、九	三三、九
商信	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	二九、二	二九、二	二九、二	二九、二
氷新	—	—	—	—

株式

前場（鈍狀）

北濱諸株の新甫の平凡と東京短期の五品三十錢安を入れて當市の五品新甫も鈍狀を呈し他株も弱含み商狀であつたが出來高定期三百二十枚直キ五百二十枚

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三三、二	—	三三、六
商信	寄	—	—	二〇、三
新豆	寄	一七、七	一七、八	一八、〇

◇直キ（乙部）

銘柄			銘柄		
大新	寄	八四、六	新東	寄	一六三、五
	引	八四、八		引	一六三、五
鐘新	寄	二三八、〇	正隆	寄	五八、八
	引	二三八、三	二新	引	—
星土	寄	七、四	郊外	寄	七、七
地	引	—	土地	引	七、八
開原	寄	九九、二	開原	寄	三三、二
取信	引	—	新	引	—

商品

前場（出來不申）

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一〇〇一〇	一二六〇	一二七〇
十時	一〇〇一五	一二七五	一二六五
十一時	一〇〇〇五	一二七五	一二六五
十二時	一〇〇一〇	一二六五	一二七五

出來高　銀對金　四萬六千圓　銀對洋　二萬六千圓

株

今朝北濱諸株の新甫は三十錢安の二十二圓七十錢と新安値に辷つたので當市も依然不人氣で諸株共新甫は軟弱に生まれた▲年末もいよ〳〵迫つたが場面は相變らず不冴へである一般の期待を裏切り年末棹尾の一振もなく無相場に越年すると共に春相場も暮同樣の沈靜とみる外はない樣だ▲買方は歲末に迫つても金融の緩漫なるをみて非常に樂觀してゐるやうであるが果して來年になつて金利引げが出來るかどうか金解禁の大問題を控へてゐる以上金融上の樂觀は出來ないと思ふ▲當市としても地場の特種材料でも進捗しなければ一寸明るい相場も出さうにない。

豆

休日明けの今朝の市場は差したる特異の事情はなかつたが大豆は買氣ありて强調を辿つてゐた▲然しながら昨今相當に出廻りがあり他に特別の强材はない際であるから結局商內は僅かに六十八車に過ぎず頗る引立たなかつた▲三等大豆は相變らず出來不申の不振を辿つてゐる▲何だか既に愛想を盡かされそうな形だ▲豆粕は輸出時期にある際とて場面は活氣を呈してゐる今朝の手合は十萬三千枚を示してゐた▲豆油は依然として動かぬ▲現物大豆は油房四十車邦商華商の輸出筋百二十車で百六十車の手合があつたが▲三等大豆は定期と共に出來不申▲今日の豆粕生產高は五萬三千枚操業工場二十一軒である

銀

今朝の海外材料としてはクリスマスで多く休會であつた▲殊に上海標金も休會であつて全く當市の銀價も標的を失つてゐる形である▲只だ休日前から銀價は四川省方面における動亂を材料として昂騰を呈したが今朝は尙進んでの買手なく伸惱んでゐた▲上海情報によるも孟買銀塊休みの所某所入電氣配四アンナ高を傳へられしも休み前にて仕手薄閑散保合ふ▲又休みを控へ新甫商內薄の所寄鼻三井圓稍賣氣ありしため銀强含の所滙豐銀强に變更されしため一部買方の投物あり急落せしも神戶日米下澁りと日銀圓先物に買氣あり稍落付くと▲大體銀價の大勢としては金解禁を控へてゐる丈けに弱氣に傾き易いが只だ支那動亂の如何では未だ〳〵先行强いかも知れぬ。

定期　出來高（廿六日）　一二三〇枚
直キ　一七〇枚

爲替相場（廿六日正午）

◇正金（銀勘定）
日本向參着賣（銀百圓）　九九圓三五
同十五日買（同）　一〇〇圓七五
上海向參着賣（銀百兩）　七一兩三〇
倫敦向電信賣（銀一圓）　一志〇片三分一
同二ケ月買（同）　一志一片十六分五

◇正金（金勘定）
倫敦向電信賣（圓）　二志〇片八分五
信用付二月買（同）　二志十一片四分一
米國向電信賣（百圓）　四五弗四分三
同九十日拂買（同）　四七弗九〇分〇
孟買向參着賣（百留）　一三四留比四分三

◇鮮銀（金勘定）
倫敦向電信賣（一円）　一志一〇片十六分十一
同二ケ月買　一志十一片十六分五
紐育向電信賣（金百円）　四五弗八分七
上海向電信賣（金百円）七一兩八分七
同　賣（銀百円）　一〇三圓五〇
日本向電信賣（銀百円）　九九圓五〇
同十五日買拂（同）　一〇一圓〇〇

錢鈔

▲小麥
哈爾賓　一月限　一•九〇〇　一•九〇〇

（營口過爐銀、安東鎭平銀、東期近遠期（大洋）、開原、奉天（奉票）現物先限の各相場）[illegible]

卸賣物價の動き

綿布類

既に實需の手當も終り一服狀態にて在荷も豐富で多少下落氣配である、細相場（單位一反）は細布（軍人）九圓五十錢、純木綿（鶩鳥）八圓四十錢で共に二十錢の値下り、細綾（頷標）六圓四十錢で十五錢安、大尺布では白洋美人が二圓九十錢で十錢安、三輪二圓八十二錢で十三錢安、童子二圓七十三錢で四錢安である

奧地市況（廿六日前場）

合計　四〇〇枚

特產

▲大豆

	限月	寄付	大引
開原	一月限	五一、〇〇	五〇、五〇
	二月限	五八、七〇	五八、三〇
	三月限	—	—
長春	一月限	—	—
	二月限	—	—
	三月限	—	—
哈爾賓	一月限	一、六四〇	一、六四〇
	二月限	一、六七〇	一、六五五
	三月限	一、六八〇	一、六八〇
公主嶺	一月限	五九、三〇	五九、〇〇
	二月限	六九、二〇	六八、八〇
	三月限	—	—

▲高粱

	限月	寄付	大引
開原	一月限	三三、八〇	三三、四〇
	二月限	三七、八〇	三七、五〇
	三月限	—	—
長春	一月限	一〇、九〇	一〇、九一
	二月限	一〇、九四	一〇、〇〇
	三月限	一一、一〇	一一、一三
公主嶺	一月限	四〇、九〇	四〇、七〇
	二月限	四一、二〇	四一、〇〇
	三月限	—	—

▲小麥

	限月	寄付	大引
哈爾賓	一月限	一•九〇〇	一•九〇〇

市場電報（廿六日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二六片十六分七
同先物	二六片二分一
紐育銀塊	五七仙八分五
孟買銀塊	—
英米爲替	四弗八五仙十六分九
米日爲替	四五弗十六分十五
米支爲替	六三弗四分三

倫敦爲替相場

伯林	—
巴里	—
フラツセル	—
ミラン	—

棉花

◎米棉（換算四五錢高）

現物	二〇仙五五
一月	二〇仙一七
三月	二〇仙二六
五月	二〇仙三五
七月	一九仙六六
九月	一九仙四四

◎印棉

ベンゴール	—
ブローチ	—

上海爲替（オムラ）

	賣	買
日本向	—	—
倫敦向	—	—
紐育向	—	—

◎上海の標金

	前日後場	本日前場
寄付	—	—
高値	—	—
安値	—	—
大引	—	—

紐育株式

スチール	—
アナゴンダ	—
出來高	—
コール	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	九七、二〇	九七、一〇
大紡	八五、三〇	八五、四〇
鐘新	一六三、三〇	一六三、三〇
日糖新	三九、六〇	三九、三〇
郵船	六六、三〇	六五、三〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一七九、五〇	一七九、五〇
東新	一六三、三〇	一六四、三〇
五品（當）	三三、五〇	三三、三〇
（中）	三三、五〇	三三、三〇
（先）	三三、二〇	三三、三〇
同（短期）	—	—
豆新（當）	—	—
（中）	—	—
（先）	—	一七、〇
東新	一六四、八〇	一六四、八〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二九、三三	二九、三三
中限	二九、三三	二九、三一
先限	二九、二一	二九、二三

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二八、七四	二八、六六
中限	二八、七二	二八、六四
先限	二八、九一	二八、八四

大阪綿糸

	前場寄	前場引
十二月	二四五、〇〇	二四六、〇〇
一月	—	—
二月	二四三、七〇	二四三、二〇

神戶豆粕

前場一節		場外	
十二月	四四五	十二月	四四五
一月	四四一	一月	四四三
二月	四四三	二月	四四三
三月	四四五	三月	四四七
四月	—	四月	四五〇
五月	—		
六月	二二九〇		二二九〇

大阪棉花

	當限	先物
寄付	六六、二〇	六六、二〇
引	六六、二〇	六六、二〇

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十二月	一二七〇	一二七〇
一月	一二六〇	一二六〇
二月	一二七〇	一二七〇
三月	一三〇〇	一二九〇
四月	—	—

印度麻袋

鐵筋直積	—
青筋直積	—
爲替相場	—

舌代

今回信濃町曲水の店を私しが引續いてさしてもらふ事になりました、何卒倍舊曲水同樣に御引立の程御願ひいたします

會席御料理、ちり、茶めし、天ぷら仕出し、特にお正月お重詰は 大勉强致します

割烹　福助

大連市信濃町九二（喜久多前）曲水の跡　電話七七六〇番

大スケート場完成

越年の最適所

閑靜清潔　靈泉滿槽
煖房完全　溫暖如春
對翠玉泉二館大小
六十室隨意御指命

湯崗子溫泉

汽車賃往復三割引

謹告

井町製肉所は今後伊勢町九〇番地（西廣場）電話四〇二三番だけになりました

長らく御引立になりました元の本店伊勢町二二の電話七二〇八番の方は井町の名義を使用せぬ事になりました何卒今後井町への御注文は電話四〇二三番の方へ御願致します

十二月一日

井町製肉所　主人　一同

各位樣

新春の運だめし

五千圓、三千圓、千五百圓當り、賣切れぬ內御買ひ下さい

◎輕便手金賣一通金七十錢
◎三越、共通商品券

年內は特別勉强賣買多額歡迎

債券

大連市但馬町十一（西廣場上ル）
電話長四五九番　振替大連三二四番
現物賣買　大一商店

ハナキゴム手袋

冬が來た　冬が來た　これからはお手の保護が一番です

專賣特許のハナキゴム手袋は貼目なき純熱製優良ゴムで內面に保溫劑を施してありますから拔差自由です繊細緻密の仕事が出來且つ驚く程丈夫です ゴムの特長として嚴寒でも凍らず

種類　家庭用・農業用・工業用

製造元　東京府下南千住地方橋際　日本ハナキゴム製造所

●最寄の藥店及雜貨店にあり

お正月休みの……お遊びに

熊岳城溫泉へ

宿料一泊二食付室料共合み四圓以上
汽車賃三割引（十四日間通用）
五人以上團體は半額
自動車驛より四分間で溫泉まで
御申込の場合は（長電話二十七番）へ

經濟部電話　八四五五番

金剛呪門（107）

山中峰太郎作　小田富彌畫

白梅一輪

「さらばこの二人をやりすごせ！それとも、見つけられたら拙者が出る。同時に、各々はあの駕籠へ！好いかな？」

と、低く呻く眞木の言葉と同時に、

「……………」

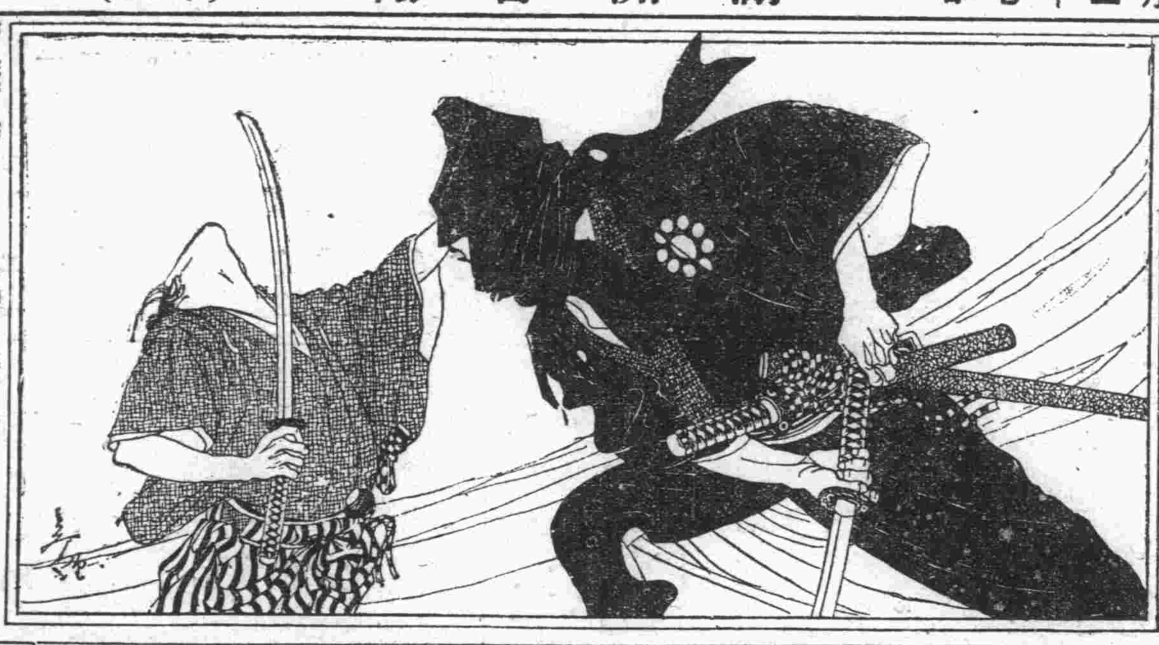
殺氣たつて沈默した十一人、一齊に頷いた。

「早まるな！射手は、この直前へ誘き寄せてきた時に射て！」

と、眞木は更に、幹の上を仰いで聲をかけた。

「心得た！」

枝に足場を構へてゐる小兵の男



茂る松葉の間をすかして、小枝を折ると投すてた。

と、そこへ……藪の前へ、ヒタ／＼と來かゝつた侍の二人、ジツと腰をかゞめると、ほの暗い奧の方を、すかして見る、

と、立ちどまつた。

……ムラ／＼と險惡な人の氣はひがする。

……殺氣だ！藪の奥に！

と、忽ち一人は左手を上げて後へ合圖する。それよりも早く、躍り出た覆面の眞木兵助、ヒラリと横へ飛ぶと見るまに、

「あゝツ！……」

沈む夕陽に閃く電擊の白刄、空に流れて、一人の武士は拔き合す暇もなく宙を攫んで斜に倒れた。

「狼藉者ツ！」

殘る一人が辛くも拔いた。身構へる刹那に、サツと眞木の黑影が魔の如く前を飛んだ。

「見事！」

藪の奥から歎聲を發したのは、腰をかゞめてゐる宮部である。

その聲と共に、相手の武士は左へ身を廻すと、そのまゝ片膝をついて前に打俯した。左肩から乳下へ一閃の白刄を浴びたのである。

二人を斬つて返り血の一滴を浴びずにゐる眞木兵助、呼吸もそのまゝ、烈しく下知した。

「それ各々ツ！」

ドツと勢ひたつて藪を走り出た十一人、向ふに止まツてゐる三挺の駕籠へ眼がけて、路の上を殺到した。

駕籠の先頭に立つてゐる菅野と供侍の二人、下緒を襷に拔きつれた。

「十人餘りでございまする」

菅野の聲は、おちつい聞えた。

「ほつ、えらく來たの。小夜、駕籠を出よ」

垂れを揭げて路へ出た松平定敬と、同じく出てきた小夜子の手を取ると、駕籠の向ふ、悠々と廻つた。

二人の侍は鐵扇を手に、六人の駕丁は息杖を構へて、定敬父子の左右を護る。

最後に立現はれた敦彦、眞近く押寄せた一群の足並を、ジツと見た。

「ほゝう、菅野、手剛いぞ！」

「……」

決死の眦を切つた菅野。

……こゝが最後の御奉公か！

と、左右の朋輩に聲をかけた。

「一歩も引くなッ！」

「……」

勵まされながらも眞劍は初めての二人、眩ふ如くに息をはずませた。

敦彦、前へ出ると、後を振返つて見た。

父の傍に凛然と立つてゐる小夜子、蕾のやうな脣をかみしめてゐる、踏いつぱいに押寄せる敵を瞬もせずに見つめてゐる面だちの氣祟さが、敦彦と瞳をあはすとさすがに父の娘、ゆとりを帶びて微笑した。

「ウム、小夜子！」

「はい……」

「敎へた小太刀を使つてみるかな」

「はい、お兄さま！」

今は眞近く迫つてきた敵の前に小夜子のすきとほる樣な顔が、敦彦への信頼に雄々しく燃えた。

「敦彦、これを何と見る？」

と、定敬も眉一つ動かさず、鞘ぐるみ抜いた脇差を。小夜子に渡した。

「足並に心得のある輩、浪士の群と存じますが……」

と、敦彦が答へた時、前面にジリ／＼と進んできた先頭の五人、ヒタ押しに白刄を拔き揃へたまゝこちらの三人を取圍んできた。」

映画と演藝

女歌舞伎 信治來演 大劇正月興行

大連劇場の初春興行は既報の如く女歌舞伎淺尾信治一座と決定し一行は來る廿八日仁川より乘込み正月元旦初日開演することゝなつた　信治一座は昨年正月來連初御目見得し二月返り打して非常な人氣を呼んだので今回も來連と決定するや前景氣頗る盛んで各方面より既に二十餘本の幟が寄贈されてゐる　一行の幹部はお馴染の座長淺尾信治以下中村芝三郎市川花若淺尾信千代尾上梅朝淺尾信若の外、尾上美登里、市川成美市川桃太郎淺尾鯉蝶の新加入あり竹本寶玉太夫外二名杵屋連等四十餘名の太一座である、尚藝題は二日替りで二の替りまで左の如く決定してゐる

▲初日狂言（元旦二日）　一、鶴龜の舞（杵屋連卅囃子）一、小野道風青柳硯一、曾我の對面一、婦女庭訓妹背山御殿の場

▲二の替狂言（三、四日）　一、義經千本櫻壽しや造一、義士外傳土屋主稅一、信州中島輝虎配膳

◇……淺尾信治

◇……尾上美登利

少女の皆様！早く御覧！早く早く!!

新年號 **少女倶樂部**

大評判です！全國少女方大喜びです

名作小説 **家なき兒**　優しい少年、家を持たぬ悲しい少年のお話、これを讀んでどうして泣かずに居られませう。

▼武勇小説 月かげの道（行友李風）
▼少女小説 七本椿（吉屋信子）
▼探偵小説 正義の楯（宮崎一雨）
▼滑稽小説 茶目子の日記
▼義士物語 堀部安兵衛
▼少女小説 牧場の子
▼孝行美談 孝心三五の春
▼少女小説 毬の行方
▼外國小説 英雄と洗濯娘

トテモスバラシイ！附録が左の通り!!

美本 **世界ことわざ物語**　美しい口繪入りで面白い物語が澤山！二百餘頁
名画カレンダー　便利で爲になる、一流畫伯の名畫入り十二枚
少女數へ歌大双六　（須藤しげる先生の名畫）とても面白い大双六
ミヨく遊園競技盤　面白い／＼何遍やつても飽きない最新案の遊び

以上はホンノ一部分です！此外名作傑作山の樣に澤山!!

賣れる／＼！全國の少女方大騷ぎ！賣切れたら大變！直ぐお求め下さい

定價はタツタ！六十錢（送料五錢）

東京本郷（振替東京三九三〇）大日本雄辯會講談社

喜樂館

◇河合映畫の實物宣傳第二回◇
十二月廿四日より卅日まで　入場料……金二十錢

新進シナリオライター三村伸太郎氏脚色　丘虹二氏監督　市川市丸 琴糸路 葉山純之助主演
平井權八

訓導美談　河合現代映畫（愛の光改題）小瀧すみ子原作、松本英一監督　里見明 浅妻妙子 富士秀子 船山たつ子共演
村雨の里

時代劇　筒見豐氏監督　市川市丸 葉山純ノ助、小室曉美力作
寂しき青春

演藝館

廿四日より　割引券一枚三人通用

時代劇　深川比沙志監督作品
長兵衛と權八（前篇 後篇）
尾上紋十郎、松枝つる子 杉村チヱ子、中村小福 久野あかね、中村獅歌平

時代喜劇　佐藤樹一郎監督作品
珍魚（全巻）
實川延松、松枝つる子、尾上紋十郎 家では女房おかんが毎日の支拂にさへ弱つてゐるのに、亭主の八五郎は藝者おもんを連れて遊びまはつた……とは！とても／＼珍妙な

現代喜劇　大森勝監督作品
獨身競爭（六巻）
藤間林太郎、小島洋々、鈴木信子

●お知らせ　從來發行の招待券入場券は本年中に御使用下さい

帝國館

二十四日より　晝夜公開
歲末特別連續短期興行四日間限り

阪東妻三郎主演　森靜子 泉春子
憂國志士 **護國の鬼**（十參巻）
阪妻獨得一人二役、森靜子、志賀靖郎、中村吉松、泉春子助演

栗島すみ子主演
青春の小徑（全巻）
清水一郎 小藤田正一 結城一郎助演
◆入場料三十錢

●豫告　二十八日とありましたが果然變更いたしました栗島すみ子主演「珠を拋つ」新井淳主演「先生と其娘」林長二郎主演

◇從來發行の入場券本年中に御使用下さい

浪速館

二十六日より　忘年封切週間

講談倶樂部・村上浪六先生の巨作　日活秘藏の名作　辻吉郎監督映畫
時代劇 俠骨　**妙法院勘八**　大會

階下金二十七錢にて開放

昭和三年度發行の招待券入場券は勝手乍ら本年中に御使用願升

マキノ大連出張所

今日入庫！目下演藝館上映中
二川文太郎監督
親子鴉
時代劇に好ましいスリルとナンセンスの映畫　根岸東一郎監督自演

骨肉
（爲戀の巷姉妹篇）

オールスターキャスト（地方配給）
白龍は躍る

毒華

マキノ映畫
時代劇……旗本五人男
現代劇……哀しき生存
時代劇……掟
現代劇……夏の夜の唄

品質本位

花王石鹼

贈答の眞味

虚禮癈止の御聲が高い當節
眞情丈を先方に届けませう
年末年始共實用的で保存に
よろしく御家庭向の本品は
誠心の翼に好適と存じます

壹打入 半打入 三個入

東京馬喰町 花王石鹼株式會社 長瀨商會
大阪市南久太郎町 長瀨商會大阪事務所

小粒 大粒
仁丹
四賢士貫任劑 消化素口香料

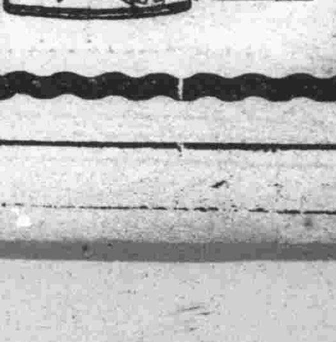
仁丹のハミガキ
仁丹の煉歯磨
仁丹歯ブラシ
仁丹の体温計

ヘルメス
ウヰスキー
有頂天外の味

H277

美しいお化粧に純無鉛の

御園ねり白粉



滿洲日報

現代の一切は啄木に出發せ!!

石川啄木全集

本日〆切

彼は現代精神の權化だ
此先驅者の全集が前例なき大部數を示せるは
彼が現代に蘇れる明證
大衆よ壓倒的に支持せ

(遠隔の地は本紙御覧次第申込有効)

第一回配本『詩歌篇』堂々七七〇頁 目下配本中

第二回配本『小説篇』六一〇頁 目下配本中

新發見創作三十餘篇 短歌五百餘首 評論四十篇 書簡百數十通 (全五卷) 一册 壹圓 内容見本進呈

刻下經濟界に處する唯一の探照臺

堀江歸一全集

本日〆切

昏迷の經濟界を救ひ實生活に處する羅針盤として各方面の申込殺到す。賢明なる人々は皆本全集に依り光明への方途へ!

(遠隔の地は本紙御覧次第申込有効)

第一回配本『財政篇』目下配本中

内容一斑
第一卷 財政
第二、三卷 貨幣及金融篇
第四、五、六卷 國際經濟論
第七卷 社會問題
第八、九卷 雜纂
第十卷 日記書簡及附錄

監修者 小泉信三 増井幸雄 高橋誠一郎

(全十卷) 一册 貳圓五拾錢 内容見本進呈

發行所 東京市芝區愛宕下町 振替東京八四〇二番 電話 芝(43)一二三四番 改造社

運命三世相

瀧澤愼作著

一大名著が一冊壹圓

千古の昔より東洋の神秘として傳はり今や全世界を風靡する人相手相八卦九星等の運勢鑑を細大洩さず誰にも判かる様に書いた本であつて、堂々六百頁に近き大册ピタリと當る不思議な運勢判斷と占の數々を知つて開運の道を拓け

三世相運勢鑑……これは運勢判斷の根元を書いたものであまりして、萬物の運命を支配する天の有樣を是れによつて知ることが出來ます。須彌山九重天の廣大無邊なことや、日月五星、二十八宿、五行、十干、生れ月の吉凶、生れ年の吉凶等がこゝに書いてあります。

男女相性の事……十二支生れ年の吉凶、生まれ月の吉凶、生れ日の吉凶、生れ時の吉凶、十二運の吉凶、九曜、生年月の吉凶、懷姙の心得、懷姙十月佛の敎、懷姙十月の計算、産に關するいろいろ等所謂男女の相性と稱せられる天來の運命が詳細圖入りで說明されて居りますので實に有益興味津々たるものがあります。

男女人相の運勢……人面十二宮の解三停三蔵六府の解男子の人相、女子の人相、手相の吉凶、手相の三紋、天文血色の吉凶、掌中八宮の吉凶等人の運勢を觀る方法を悉く說明してあるので此丈で運勢判斷の蘊奧が出來る

八卦及占ひと易……八卦の成立、八卦生れ八の順逆、當年の八卦男女別繰り方、變番文字の繰方、八卦と五行相剋、當卦の吉凶判斷法、見開繰待の吉凶六十四卦の占法略式の占法、易の吉凶判斷、九星の相生相剋その他方角吉凶、失せ物占ひ、各種まじないの法等満載

ハガキで申込めば代金引換郵便實費一圓廿七錢で即日お送りいたします。

定價一圓五十錢(送料十二錢)大日本百科全集完成記念特賣中は大特價一册一圓にて書店でも販賣・與判特製函入の美本

只今特賣中

大日本百科全集完了記念謝恩大特賣中につき右全集全卅六册の分賣定價一圓五十錢の處、どれでも一册壹圓で即賣致します實物及内容見本全國書店にて御覽下さい

誠文堂 東京市神田區錦町一丁目一九 振替東京四一五四三〇番 電話神田一七一一・三二一二・三二九六

思想善導の根本義

武部欽一序 秦俊七郎著 (新刊) 上製 價參圓五拾錢 送料金十八錢

概目
◆第一編 日本民族社會◆第二編 立國教育論◆第三編 科學と迷信◆第四編 東洋思想(儒、佛)◆第五編 創造的進化◆第六編 認識論◆第七編 道徳哲學◆第八編 美の哲學の各編を更に章に分ち節に分ちて詳論す

思想善導は今日の急務である。否な今日のみの急務でなく、永遠に生命ある問題である。著者は此の思想善導問題を、區々たる經濟的問題としてのみ見ずに、更に廣く、深く、之を科學的に、論理的に、綜合的に、統一的に、常軌的に論明して、人生の歸趨を極め、以て一般青年をして、明かに其の據る所を知らしめてゐる。此の如く大處から大觀して思想善導の根本義を闡明し、その批判と標準とを高唱したるものは、著者以外に未だこれあるを聞かぬ。國民教育の根柢を培養し、長成する資料として、一般青年は勿論、爲政者、教育家の必讀すべき刻下最緊要の良書である。

出版圖書目錄贈呈 東京市京橋區日吉町 振替東京一二三〇番 電話銀座二三〇〇番 民友社

言志小録

德富猪一郎先生新文集 蘇峰叢書 第八册(新刊) 定價五拾錢 送料金六錢

内容一覽
◆國民新聞一萬號◆大正八年◆新年の標語◆大正十四年を迎ふ◆大正十五年◆新年第一の標語◆大正十二年九月廿八日◆國民新聞の天職◆國民新聞の進飛◆國民新聞死せず◆國民新聞社新築起工式◆加賀町と日吉町◆修史遂慨◆感懐一片◆豐臣氏全盛脫稿す◆近世日本國民史掲載に就て◆歷史講座開始に就て◆國民小訓刊行祝賀會席上に於て◆恩賜賞祝賀會に就て◆三千三百三十◆恩賜賞祝賀會席上に於ける席上演說◆國民小訓の贊從に就て◆老記者の懺悔◆國民敎育獎勵會に就ての私見◆敎育功勞者表彰會に於て◆青山會館開館式に於ける演說◆青山會館開館式の所感一二◆一日如夢記◆弔德富健次郎辭

「言志小録」は前記目次の如く、國民新聞一萬號に始まり、弔德富健次郎辭に至る廿九篇を收めてゐる。これ實に最先十餘年間に於ける蘇峰先生自身の外傳である。先生の所志は文章報國に在る。或は國民新聞を通じ、或は近世日本國民史を務し、或は其他幾多の飾篇大作を以て、奉公の一端を發露してゐる。本書はその總ての精粹といはざるも、最近十餘年間に於ける先生の事業と所志との結晶の一であるとは疑を容れぬ。所謂る仁を求めて仁を得たる先生の生活と理想との記録を、後世に傳ふる文獻である。蘇峰叢書中特別出色の文字。

◆第一册 皇室と國民
◆第二册 名山遊記
◆第三册 國民と政治
◆第四册 好書品題
◆第五册 書齋感興
◆第六册 人物偶錄
◆第七册 關東探勝記
以下續刊 定價各册金五拾錢 送料各册金六錢

出版圖書目錄贈呈 東京市京橋區日吉町 振替東京一二三〇番 電話銀座二三〇〇番 民友社

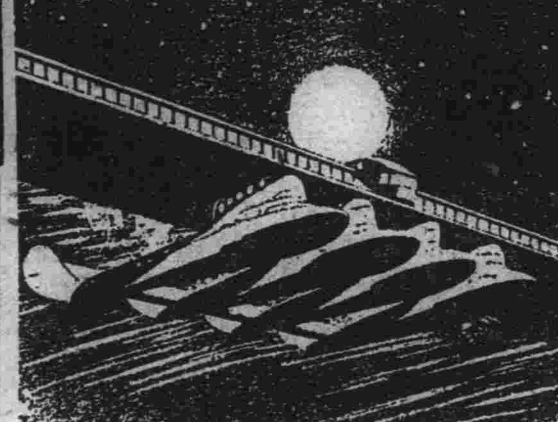
子供の科學

新年大附錄特輯号

勉强になる少年雜誌
日本中の小中學校推賞の雜誌!

特別附錄
省線電車組立材料 雜誌八倍大 多色印刷
少年諸君が飛び上る程喜ぶ
子供の科學でなければ出來ない大附錄である。少年諸君が自分で省線電車を組立てゝ拵へるやうに出來たもので一つ一つの機械の構造が實に細かく判かり易く拵へてゐる。面白い〳〵

死んだ人を活かす法……醫學士 高橋正人
現代が生んだ十不思議……鹿間直敏
電鈴と表示器の作り方 模型の國……本間清人
世界一づくし
▽世界一大きな大砲……海軍少佐 早川成治
▽世界一長い大鐵橋……復興局 成瀨技師
▽世界一大きい動物……理學士 岸杜志夫
▽世界一の大望遠鏡……天文臺 井上四郎
▽世界一の大木と老木……理學士 佐竹義輔
▽世界一のダイヤ鑛山……理學士 坪谷幸六
科學者銘名傳
▽天文學者ガレリオ……天文臺 小川清彦
▽物理學者ニュートン……理學士 堀内和夫
▽生物學者ダーヴィン……農大 戸澤教授
▽發明家エヂソン……吉濱代郎
▽化學者キューリー……理學士 泉俊夫
實體寫眞の拵へ方……入新井校 黒沼校長
新式の懸垂鐵道……鐵道省 井上技師
未來の科學戰爭……陸軍大尉 淺野一男
▽口繪とグラフ△
紐育摩天樓の林
電氣學のイロハ圖解
稀らしい鳥フラミンゴー
ダ・ヴヰンチと飛行機
發電機と電氣鐵道
四十倍にして見た猫の舌
オートバイの解剖圖解
世界一の活動寫眞館
山羊を呑み込んだ蛇
めづらしい橋のいろ〳〵
ドックと世界一の汽船
太西洋横斷中の飛行船
大昔の人の住んだ家
月世界の風景繪
素晴らしく發達した 歐米の旅客機……久松定夫



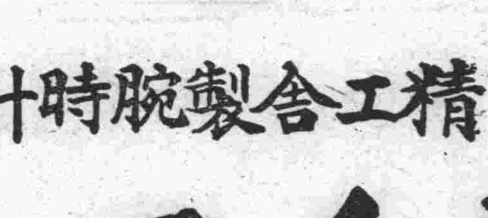
本誌六十錢 送料二錢 一ケ年五圓五十錢・半年二圓八十錢 一部五厘

東京神田錦町一誠文堂 振替東京六八六四番 電話神田四七一一・二三二七 子供の科學社

宮内省御用酒
菊正宗
發賣元 鐵谷商店 大連市監部通 電話七〇四二番

入院隨意
內科 小兒科
桐原醫院
大連市吉野町三越横 電話四二一九一番

御大禮記念 抽籤特賣 (五萬個限)

國  産

精工舎製腕時計

セイコー

◇外國品を凌駕する優良國産品◇

品目	プラチナ側	十八金側	クローム側
八形 十石入	五一、〇〇	二四、〇〇	一七、五〇
八形 十五石入	五三、〇〇	二六、〇〇	一九、五〇
九形 七石入	六〇、〇〇	二〇、〇〇	一三、〇〇
九形 十石入	六一、五〇	二一、五〇	一四、五〇
十形 十石入	／	二二、〇〇	一四、〇〇

特賣期間 自昭和三年十月一日 至同年十二月三十一日
御申込 詳細は最寄の時計店貴金屬店に御問合せ願ひます
抽籤 昭和四年一月十日新聞記者及時計業者代表立會の上廻轉抽籤器にて嚴正に致します
富籤發表 昭和四年一月二十日新聞紙上に發表致します

〆切十二月三十一日限

賞品內譯
一等 壹百圓(復興債券)五十本
二等 五拾圓(復興債券)百本
三等 拾圓(復興債券)二百本
四等 五圓(復興債券)五百本
等外賞品 置時計四九、一五〇本

賞品總額 拾壹万參千圓

各員總起立して勅語奉答文を可決

宮中の御都合を伺つて捧呈する

昨日の衆議院本會議

【東京二十六日發電】衆議院本會議は午前十一時二十分開會

元田議長 本日第五十六議會開院式を開かせられ勅語を賜はりました、なほ天皇陛下には御滞りなく御大典を擧げさせられましたるにつき私は去る十日本院を代表して賀表を捧呈致しましたこより勅語奉答文起草委員を指名します

と述べ粕谷義三、松本孫右衛門、菅原傳、田邊熊一、三輪市太郎、木本主一郎、岡田忠彦、高山長幸、成瀬信愛（以上政友）神部爲藏、吉川吉郎兵衛、關元由膩、黒金泰義、松井文太郎、海老澤爲次郎、宮原幸三郎（以上民政）矢本平之助（新黨）川崎助太郎（第一控室）を指名し奉答文起草委員會を開くため十一時三十分休憩同三十八分再開勅語奉答文議事に入り

粕谷義三君（議長の指名に依り登壇）勅語奉答文委員は互選を行つた結果私を委員長に川崎助太郎君が理事に當選しましたこより起草の奉答文原案を報告します

と奉答文を朗讀し

議長 只今委員長に報告を求めました奉答文を總員起立の上可決し度いと思ひます

と述べて各員總起立滿場一致をもつて原案を可決

議長 勅語奉答文は滿場一致可決しました、奉答文は宮中の御都合を伺つて議長が參內捧呈致します

と述べ明二十七日の議事日程を報告して四十六分散會した

候補者擁立
新黨クラブ
獨自の立場で

【東京二十六日發電】新黨倶樂部は二十六日正午院內控室に代議士會を開き

一、常任委員長の候補者は廿七日午前九時三十分院內に代議士會を開いて決定するが、この人選はあらかじめ院內世話人會において決定し置くこと

一、全滿委員長、常任委員長の選擧に關し我黨は獨自の見解の下にそれぞれ候補者を擁立して進み決して他派に交涉せざること

一、他派より交涉があつた場合にはこれに應ずるもあらかじめ交換條件等を附して協調することとはしないといふに意見の一致を見た

貴衆兩院
けふの日程

【東京二十六日發電】廿七日午前十時から開會の兩院議事日程左の如し

衆議院

一、全院委員長選擧

一、常任委員選擧および委員長互選

貴族院

一、勅語奉答文の議決

一、全院委員長選擧

一、常任委員選擧および委員長の互選

衆議院奉答文

恭シク惟ミルニ車駕親臨シテ茲ニ第五十六回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ゲ優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪エズ臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ倚託ニ報イムコトヲ期ス衆議院議長臣元田肇誠惶誠恐謹ンデ奏ス

民政黨委員長
候補決まる

【東京二十六日發電】民政黨は二十六日院內總務會を開き委員長候補者を左の如く決定した

全院　井上剛一
豫算　中村啓次郎
決算　小野重行
請願　淺川浩
懲罰　菅原英伍

無產議員團
聲明書發表

【東京二十六日發電】無產派議員團八名は二十六日左の聲明を發した

第五十六議會開會に當り我等無產議員團は田中反動內閣の施設一般に對して階級的立場より嚴正なる批判を行ふと共に反政府的態度を一貫し內閣を打倒に誘導すべく結束を固くして一路邁進せんことを聲明す　無產派議員團

なほ二十七日の全院委員長選擧には安部磯雄氏を推し常任委員長は反政府的態度を以て投票するに決した

院內に於る
禁酒を要求
無產議員團が

【東京二十六日發電】無產黨議員團は廿六日協議會で

一、院內控室並に食堂に於て絕對禁酒を爲すこと

一、傍聽者の待遇改善を爲すこと

等を決議し元田議長を通して要求書を提出した

政友、新黨に對し
協定意嚮を通達
常任委員長問題中心に
與黨側、各派との諒解に努む

【東京二十六日發電】政友會側では常任委員長問題を中心として新黨倶樂部と議會に於ける協定を爲さんとの方針の下に二十四日秦總務は衆議院內に於て新黨の榊田清兵衛氏と會見して政友會側の協定意嚮を通達せる處榊田氏は政友會の提議に應ぜず物別れとなつた、右につき政友會幹部は二十五日午後某所に秦、熊谷、松野各總務、島田幹事長等會合し對新黨關係につき種々

協議 したが新黨倶樂部で協調方針を採らない限り如何とも爲し能はざる爲め第一控室の一派、實業同志會その他の會との協議を進め若し第一控室で委員長を要求すれば、これに決算委員長を振り當てこれ等の會派と協定して與黨の推薦する豫算、懲罰、請願の各委員長を政友會で占有する方針で臨むことになつたが今一應二十六日榊田氏と會見し諒解を求むることゝなるであらうと

新黨側では
拒絕す
政友側からの提議に對し

【東京二十六日發電】政友會松浦五兵衛氏は二十六日午前院內に新黨倶樂部の岩切重雄氏と會見し常任委員長問題につき協調下交涉を爲したが之に對し岩切氏は新黨は獨自の候補者を擁立する方針であるから委員長問題で豫め協定する如きことは新黨としては其の必要がないと答へた

定例閣議

【東京二十六日發電】二十七日の定例閣議は午後二時半より首相官邸に開會、望月內相より今朝直訴犯を出した事は眞に遺憾に堪へない次第で、今後は更に一層御警衛の任につき萬全を期したい、尚犯人を出した埼玉縣の宮脇知事はこの爲め進退伺ひを提出してゐると述べ、次で勞働農民黨創立準備會解散の顚末を報告し、原法相からは共產黨事件取調に關する書類を提出して、大體我が國共產黨運動は終熄したと認められるが尚逮捕されないものが十六名有り司法當局は之が檢擧に充分の手を盡してゐると說明した、小川鐵相は鐵道會議に附議の鐵道計畫改訂案を示して詳細說明を行ひ各閣僚の諒解を得たる後對議會策を懇談したが張作霖怪死事件については陸軍省に於て調査中であるが未だその眞相は判然しない、民政黨が議場に於て此の點を質問する時は自ら對策もあるが目下の處民政黨には攻擊材料とする事實があるとは信ぜられないと云ふに意見一致し五時散會した

議會雜感

【東京二十六日發電】御大禮後最初の親臨を仰ぐ今日の開院式は何時になく榮光に輝いて各控室共大禮服の金ピカが人氣の焦點となつてゐる、新しく親任待遇となつた粕谷氏の痩軀がまばゆいばかりの新調親任服に似合つて皆がほめそやす、昨日支那から歸つたばかりの床次氏が勳一等を佩用して新黨控室に姿を出せば一族郎黨は急に活氣づく第一控室では鈴木文治氏何を感違ひしてかタキシードで登院して參列を遠慮すれば其處に燕尾服に包まつた安部先生、今年は私が引受けませうと無產黨を代表して式場に入る。

◇奉答文審議の衆議院議場で無產黨の水谷、山本の兩氏議席に頰杖をついて何やら私語いてゐるのを一新會の田崎信藏氏に一喝されておとなしく眞面目にかへつた。

◇例に依つて會計係は歲費支拂ひに輔手古舞ひ、要領のいゝのが差押へに先鞭をつけて自分で差押へたのが居ると氣の良いのが馬鹿に感心してゐる。

地租委讓問題と
新黨の立場
床次氏が政府に反對すれば
之を動機に分裂せん

【東京二十六日發電】地租委讓問題は今期議會の中心問題で之に對して新黨クラブ內に反對意見を有する者のあることは事實であるが必ずしも全體の意向ではなく贊成者も相當あつて床次氏が强て政府に反對せんとすれば之を動機として新黨內の分裂を來す虞があるので床次氏としても愼重な態度を持するであらうが、本問題に對しては貴族院內部にも相當反對ある模樣である

八條子の後任に
藪篤麿子推薦

【東京二十六日發電】研究會は二十六日常務委員會を開き八條隆正子辭任に依る補缺選擧候補につき藪篤麿子を推薦するに決定した

民政黨農政
特別委員會

【東京廿六日發電】民政黨は二十五日午後三時から本部に農政問題特別委員會を開き小山委員長等出席政府の米穀需給特別會計につき意見の交換を試みたる上五時半散會した、同黨としては農政問題については特に重視し來年一月二十日ごろまでに黨の意見を定めた上休會明の議會に於て徹底的に論難

易幟は
單なる道具
三浦外事課長談

奉天より歸旅した三浦外事課長は語る

別にこれと云ふ用件のあつたのでは無い、蜂谷領事がワシントンに轉任し、森島領事と共に近く歸朝するので事務打合せのためであつた、易幟問題はかなり奉天邊では論議されてゐるやうだが御都合主義で支那側はかゝつてゐるので迂かりすると南方と東三省のためにしてやられるだらう、易幟はさうした道具に使はれてゐるやうだ

重慶の陷落
目睫の間に迫る

【上海二十六日發電】四川の戰亂は擴大となり揚森軍は勢ひを加へて既にその先鋒隊は重慶郊外迄肉薄し、重慶の陷落は目前に迫り市內は大混亂を極め各要人連は續々避難しつゝあり、我居留民も萬一の場合は軍艦に逃れる手筈を決めてゐる

本年金融界の回顧
日銀民間預金の趨勢
公債社債市場の變動

【東京特電廿六日發】本年の金融界は前年緩漫の後を受け一層此の趨勢を助長し前年末一億三千五百萬圓であつた、日銀の民間預金は越年一月七日目に早くも一億七千五百萬圓增の三億一千餘萬圓となり其後二月から三月にかけて村井、中澤、中井、八十四等休銀の昭和銀行合併に依り預金の拂出が行はれ續いて加島、廣田、若尾三銀行の整理十五銀行の開業近江銀行の昭銀合併其の他地方銀行の整理等の爲め巨額なる特別融通が行はれて商取引其の他**經濟上**の要求以外の通貨が市場に放出されたのと一方東電內外債の成立に依り數千萬圓の新資金が供給されたので金融界の緩漫は其の極點に達し五月十二日の日銀營業週報に於ける民間預金は五億三千八百萬圓に達し未曾有の巨額を示したのである、其の結果市中銀行の預金協定の引下げが問題となると共に春來昂騰の趨勢にあつた國債市場は一層其の傾向を助長し之に伴ひて地方債又は勸業債券興業債券其の他事業會社の起債又は低利**借替へ**計畫が相ついで行はれ一流物五分五厘パーの時代を出現したのみならず株式市場に其の影響は波及せんとして一時所謂金融景氣の出現を理想せられたのである、然るに金融緩漫に伴ふ公社債類の熱狂時代は七月七日の甲號五分利公債九十八圓第三五分利公債九十六圓七十錢四分利公債八十九圓八十五錢を招來したが以來反落步調となり右の高値を標準として募集された第四十八回五分利公債の如き八月二十七日の拂込當日の**市價は**發行價格を三圓餘も割るに到り其の後商工會議所手形交換所等の金解禁促進決議の發表で金解禁の時期近づくとの見解が一般の輿論となつたので公債及社債類は高値行過ぎの反動と相俟つて更に暴落し十月下旬には甲號五分利公債八十九圓六十錢第三五分利公債八十八圓八十五錢四分利公債七十七圓四十錢となり七月上旬の高値に比し十圓近く**低落を**來し其の間に於て日本銀行の民間預金は同行の手持公債賣却の爲めに吸收せられて漸次減少して十月以降月平三億二三千萬圓月末二億圓內外となり一時の最高額に比すれば二億內外を減少した併し金融緩漫の大勢には一向變化なく、從つて一時金解禁の聲に怯えて暴落した公債社債市場も漸次引返し、殊に十一月十三日大阪の關西銀行大會に於ける三土藏相の演說が**金解禁**に關し要領を得させなかつた爲めに金解禁の聲は下火となり證券類は再び金利採算に依つて買はれ最近は甲號五分利公債九十四圓第三五分利公債九十二圓五十錢、四分利公債八十圓となり、一流社債利廻り六分前後の市價となつて居り、斯くて金融界の大勢は一般財界の平穩無事と相俟つて平凡無礙に越年せんとしつゝあるのである

なほ紛糾を免れぬけふの大連市會

貝瀨候補に對する投票十五票の有効無効を決定す

大連市の市長選擧は既報の如く高點を得た貝瀨候補の資格問題から時に混亂に陷らんとしつゝあるが右資格調查委員高橋（猪）二村、金井、小野、河內山の五名は二十六日午後一時より引續き市長應接室にて協議を續けた結果、貝瀨氏の資格なしとするもの三名、資格ありとするもの二名にて同氏に對する投票十五票は無効と決定したしかして第三十八回市會續會は二十七日午後二時より開會するが、調查委員會としては少數の**反對意見**をも市會に報告する筈で、市會は更に之が有効無効を決定することになつてゐる、此際問題として注視されてゐるのは

一、市會が政策上關東廳の意向を無視して貝瀨氏を有効とすることなきや

二、貝瀨氏に對する投票のみを無効として石本、五泉、齋藤三氏の投票をその儘有効として石本五泉の決選投票を行ふか

三、市會の多數が貝瀨氏を有資格者と誤認して投票をなしたるを理由として投票全部の無効を主張し市長選擧再行をなすか

の三點であるが、一は滿鐵側が餘程强硬な態度を以て斷行し石本、五泉氏等の當選を**拒否せん**とする者がなければ實現不可能とされ、二は理論上當然の如くに云はれてゐるが、貝瀨派及び齋藤派の反對熾烈なものありと想像される、三は事情論としては價値あるも理論上行はれ難しとされてゐるので二十七日の市會も再び紛糾を續けるものと觀測されてゐる、何れにしても此際に於ける滿鐵側議員の態度は注視の焦點となつてゐるが、滿鐵側議員は二十六日午後三時より協和會館に參集、市長問題善後處置及び市會對策に關し**鳩首協議**するところがあつたので、今回の大連市會は此の突發的紛糾を如何に處理するか一般市民は頗る注目してゐる

大連市長として最後の日　きのふ大連市長室に於ける杉野氏

滿鐵准社員の
發表は遲れる
推定人數は約二千人

滿鐵の准職員發表は幾分延引を見てゐたが遂に年內には發表出來ず明年正月早々全部を發表したいと言つてゐるがその數は現在推定の所約二千人と見られてゐる

煙筒山まで
海吉線開通
來秋迄に全通

海吉鐵路工程局では海龍、吉林間の鐵道工事を急ぎつゝあるが結氷期の昨今にあつても尚一日一キロの線路を敷設しつゝあり現在煙筒山まで完成を見た模樣である、而して盤石まで借營業を開始し盤石煙筒山までは材料運搬車の運轉を見つゝあるといふから來年十月頃までには全通の見込だといふ

南京の裁兵會議
李濟琛氏は不參加か

【南京二十五日發電】全國軍縮會議は李濟琛氏不參加のため豫定の如く二十六日から開會することは出來ぬらしいが或は兎も角開會して置いて人員の揃ふまで休會するかも知れない、昨二十四日蔣介石、馮玉祥、閻錫山、何應欽氏は總司令部にて豫備會議を開いたが聞くところに依れば馮玉祥、蔣介石、閻錫山氏が湯山にて秘密に作成した軍縮案を遂行したものといふ、而してその內容は全國財政の九割三分を占める軍事費を半分以下に減らすことを目標として裁兵し總司令の地盤を徧成司令部に移して廣西派と妥協せんとする者である

裁兵會議延期

【上海二十六日發電】裁兵會議は明年一月一日より擧行に決した、なほ同會議には中央執行委員及び監察委員數名を參加せしめることゝなり、その人選は王兆銘、戴天仇、譚延闓、蔡元培、胡漢民、張靜江、吳稚暉等であると

火藥類の
運送規定改正
滿鐵で研究中

滿鐵では目下火藥類の列車運送規定改正について研究中であるが、從來の規定によれば鐵道部營業課に火藥運送規定があり、而してまた同部運轉課の「運轉取扱心得」中にもその規定を設けられてゐて少量火藥類運送は混合列車に連結しても支障なき旨關東廳から認可されてゐる、然るにこの少量をも營業課の規定によれば五十斤以內と數字で示し、運轉課では單に極めて少量と表してある關係上統一を缺くので兩課の規定を今後運轉課に統一すべく關係者によつて研究中だが、混合列車への連結は全然禁止する方針でこれには關東廳に於ても諒解がある模樣である

麥加里銀行組合加入

資本金三百萬磅積立金四百萬磅を有する麥加里銀行は大連支店設置につき認可を得組合銀行に加入方を申請中であつたが二十六日組合の承認を得たので一月七日より開業する事となつたと

勅語傳達

村岡關東軍司令官は午前十一時半より司令部において觀兵式に際し陛下より賜つた勅語及び白川陸相の奉答文傳達式を行つた、尚在滿各隊に對しては文書を以て傳達する事になつてゐる

北平滿鐵公所長

北平滿鐵公所長事務取扱參事牛島吉郎氏はこの度改めて北平公所長となつた

本間三郎氏永眠

【前橋二十六日發電】貴院議員本間千代吉氏の嚴父三郎氏は廿六日腦溢血で死去した、享年七十歲、氏は曾て民政黨の代議士たりし事あり眞庭念流の達人として令名あつた

入學試驗は
本年度施行通り
但し筆答試驗は極く平易に
口頭試問は校長の適宜裁量
昨日開催の校長會議

中等學校長及び小學校長の聯合會議は二十六日午前十時から關東廳會議室において開催され藤田學務課長は開會に先だち

木下關東長官は本日歸廳されるも當日の開會の時間に間に合はぬので後刻來廳の際には一應挨拶を乞ふも私が代つて御挨拶申上げる、直に來年度中學校入學試驗の件に關し忌憚なき意見を述べ協議されたし

と述べ議事進行の議長席につき討議に入つたが中等學校長側では昨年は筆答試驗を課すべしと決議されたが本年は課しても課せなくてもよいと云ふ意見一致し、小學校長側は贊否兩樣に分れ昨年の如く原案を施行されたしとの意見と筆答試驗を課せないと決定されたしとの意見出で二時間に亘り討議せるも決せず十二時半晝食**午前に**引續き午後一時半から續開、中等學校入學試驗制度に關しては大體において

一、筆答口頭試驗に對しては內地同樣これを全然撤廢すると爲すもの

二、事情によつては課してもよいとするもの

三、兩試問とも採用してもしなくてもよいとするもの

四、本年度施行したと同一方法によるとするもの

に分れ討議した結果結局本年度施行したと同一の方法を採用することに決定したもの〻如く、たゞ筆答試問にありては更に平易な一般常識的なものとなし、それによつて**兒童の**常識を知り得る程度のものとすること、口頭試問はこれを一齊に課してゐたがこれは各校長の適宜裁量によつて行ふこと、更に試驗施行期日は從來通り二月末頃と決定した模樣であるが、滿鐵側では口頭筆答試問を全然撤廢すべき意嚮をもつてゐるもの〻やうであるが、大體に於て來年度は右校長會議の決定によること〻なるべく觀られてゐる、なほ同會議に於て最も困難な問題とされてゐたのは

一、尋常、高等小學校の卒業生を採用に際して如何に區分するか

一、校長の申請する尋常小學校兒童の成績は最終年の一年をもつてするかどうか

といふ點にあつたもの〻如くであるかくて同會議は午後四時十分散會、一同は學務課長の案內で長官邸を訪問挨拶を述べた

暴落の奉票
三千九十元に引く

【奉天特電二十六日發】久しく保合狀態にあつた奉天票は奧地官商筋の特產買占めの影響を受けて大暴落を始め二十六日前場寄付と共に三千百五十元に暴落、直に立會を中止し再會後幾分反轉を經て三千九十元に引けた出來高六百五十六萬元なほ現物は二千二、三十元程度を唱へてゐる

滿電私設電話
昨日許可さる

既報南滿洲電氣株式會社に於て工費約四萬圓を以て撫順、奉天、遼陽及鞍山各變電所間に施設する高周波式私設電話の出願に對しては、關東廳遞信局に於て調查の結果工事設計其の他別に支障無きものとして二十六日許可の指令書を交付したが右私設電話は遲くとも明年三月中旬までには竣功の豫定で其の成績は滿鮮最初の施設として注目されてゐると

安閑帽子

目下パリの各新聞は筆を揃へて「完全な世界の出現を望む者は裸體になれ」といふ標題で近頃パリに賣り出された雜誌を攻擊してゐる▲此の雜誌は裸體禮讃派の機關雜誌で裸體で水泳や芝生で體操をしてゐる年頃の男や娘、中學生や女學生さては父も母も息子も娘も一家揃つての寫眞を滿載してゐる▲之等の寫眞を見ると腰に布さへ着けてゐない、此の雜誌の言分によると腰巻は罪惡を犯す好奇心を呼び劣情をそゝるものだと言つてゐる▲そして裸體禮讃派の目的とするところは世の人をして再び全然罪を犯さぬ人間となし眞の黃金時代を造らんとするもので實際お互ひに眞裸體であると恐怖といふやうな觀念は全く消えて了ふ▲我々は「地上の天國」を創造せんとするものだ、人は子供のときから不健全な羞恥心は絕對に起さぬやうにせねばならぬと此の雜誌は說いてゐる。

人事

▲木下謙次郎氏（關東長官）廿六日入港ばいかる丸にて夫人同伴歸連
▲安藤明道氏（關東長官秘書課長）家族同伴同上
▲島田健吉氏（關東長官秘書官）同上
▲黑井忠一氏（關東廳衞生課長）同上
▲尾間明氏（本社取締役）同上
▲堀謙氏（鴻業公司專務）夫人同伴同上
▲市川數造氏（滿鐵營業課長）二十六日朝公主嶺より歸社
▲小林五郎氏（同上貨物係主任）同上
▲早川國興氏（同上混保係主任）同上
▲田島豐治氏（遼陽工場長）二十六日朝來連ヤマトホテルへ
▲岡部平太氏　東三省學術視察のため出張中のところ二十六日朝歸連
▲高橋俊夫氏　安東出張中のところ同上
▲津村雅量氏（本願寺支那開教總長）二十四日陸路歸哈

關東廳辭令（廿四日）

關東廳中學校教諭　新里朝明
旅順第二中學校教諭を命ず

辭令【東京二十六日發電】

補大審院部長　判事　池田寅次郎

大連市公報號外を添ふ

商品 後場（出來不申）

特產

◇定期後場（銀建）

▲大豆（保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	五九〇〇	五九一〇	五九〇〇	五九一〇
一月末	五九五〇	五九六〇	五九五〇	五九五〇
二月末	五九九〇	六〇〇〇	五九九〇	六〇〇〇
三月末	六〇四〇	六〇四〇	六〇四〇	六〇四〇
四月末	六〇八〇	六〇八〇	六〇七〇	六〇七〇

出來高　四十二車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（强調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
二月限	一九五〇	一九五〇	一九四五	一九五〇
三月限	一九六〇	一九六五	一九六〇	一九六〇
四月限	一九七〇	一九八〇	一九七〇	一九八〇

出來高　二萬八千枚

▲豆油（軟調）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一七一五	一七二五	一七一〇	一七一〇
四月限	一七二五	一七三五	一七二五	一七二五

出來高　一千五百箱

▲高粱（區々保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	三九三〇	三九四〇	三九三〇	三九三〇
一月末	三八八〇	三八九〇	三八八〇	三八九〇
二月末	三八九〇	三九〇〇	三八九〇	三九〇〇
三月末	三九〇〇	三九〇〇	三八八〇	三八八〇
四月末	三九三〇	三九四〇	三九二〇	三九三〇

出來高　三十四車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保袋込	五九三〇	五九四〇
大豆裸物	―	―
出來高	五十車	
三等大豆	出來不申	
豆粕	出來不申	
豆油	一七一〇	一七一〇
出來高	一千七百箱	
高粱	四〇五〇	四〇五〇
出來高	二車	
包米 上物	四二〇〇	四二〇〇
出來高	五車	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一〇〇二五	一〇〇二五	一〇〇〇五	一〇〇〇五
遠期	九九五五	一〇〇〇〇	九九九〇	九九九五

出來高（期近）四十一萬圓（遠期）五十五萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	一〇〇一〇	一二七五	一二七五
二時半	一〇〇一五	一二七〇	一二七〇
三時半	一〇〇一五	一二六五	一二六五

出來高（銀對金）一萬三千五百圓（銀對洋）八千圓

神戶特產物（東京廿五日發）

大豆現物	七三〇
先物	六三五
豆粕現物	二一〇
先物	四四三
滿洲小麥	六五〇
豆油現物	二四二〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
一月	二八六九	二八六八
二月	二八九一	二八八五

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	九七〇〇	九七〇〇
大新	八五三〇	八五〇〇
鐘紡	二六三二〇	二六三五〇
鐘新	一二八八〇	一二八五〇
日糖	六四九〇	不申
郵船	六七〇〇	不申
東新	一六四二〇	一六三九〇

東京株式

銘柄	後場寄	後場引
東株	一七四五〇	一七四七〇
東新	一六三三〇	一六三六〇
同短期	一六三五〇	一六二〇〇
五品	二二九〇	二二六〇
中	二三〇〇	二三七〇
先	二二九〇	二二六〇
同短期	二二九〇	二二二〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
一月	一三七五〇	一三七三〇
二月	一三七五〇	一三七四〇
三月	一三六七〇	一三六七〇
四月	一三六六〇	一三六七〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
一月	二四六六〇	二四七一〇
二月	二四二六〇	二四二九〇
三月	二三九九〇	二四〇八〇
四月	二三八三〇	二三八五〇
五月	二三七七〇	二三七五〇
六月	二三七一〇	二三七一〇

滿洲日報

昭和三年の財界を顧みて

種々の意味に於て後代まで記念せらるべき昭和三年も怱忙の裡に逝きて、最早や僅に數日を剩すのみとなつた、昭和二年の金融恐慌は大正九年の反動及び同十二年の大震災と共に、近年の經濟界に於ける三大變事であるのみならず、實に我が經濟史上永久に記錄せらるべき最大混亂の一つであつた、隨つて其の直後を引繼いだ昭和三年に於ける經濟界の推移は、凡ゆる方面から考へて注目すべき事情が尠くなかつた。戰時の好況時代に於て未曾有の膨脹を示した我財界が、大正九年の反動以來根本的整理の必要に迫まられたことは、今更槃說を要しない所であるが、幾度か至難を傳へられた其の整理緊縮も來で勃發した大正十二年の大震災と、昨年春以來の金融混亂とに依つて、倒れるべきものは既に倒れ、處分さるべきものは、既に處分され、自然的の整理が著しく行はれた、されば久しく不況沈衰裡にあつた我經濟界が各方面ともに、昨年を以てそのドン底を突き、極めて力弱いながら徐々として轉回恢復の氣運を呈した事は、疑ひもなき事實であつた。

◇

然し何事にも氣の逝いのは日本人の常で、これまで永續した不景氣にいゝ加減氣を腐らして居た丈に、この轉回氣運現はれるや早くも種々の樂觀說行はれ殊に今秋に於ける曠古の御大典を控えて居た折柄、好景氣の到來間近しと觀るもの尠らず、加ふるに上半期の貿易は昨年度に比し、可成りの好況を示したので、この續勢では大典前後から歲末にかけ、相當の景氣が出て更に昭和四年度に向け、益々人氣を加へて來るだらうと期待するに至つた。

◇

勿論達識者の間には、我財界の現狀を以つて、金融混亂の創痍未だ生々しく、隨つて專ら餘後の靜養に努むべき時期なりとして、警戒自重を力說して居たが、何れにして今年の經濟界は相當の期待を以て其の推移を眺められて居たに拘らず、各方面共未だ期待した程の人氣湧かず、大勢依然として不況を辿り不景氣の聲に塗られつゝ茲に越年せんとして居る、然し乍らこれは寧ろ當然の傾向を辿つたものと謂ふべく、仔細に今年の財界を回顧すれば、平穩の裡にも波瀾あり、不況の裡にも何んとなく希望に燃え、甦生の機運は側々として動いて來たことを否めない。

◇

而して今年の財界の經過に於て、最も注目すべき現象は、對支交涉の經過と金解禁問題の擡頭であつた、その中前者は何分外交上の懸引きとて、一喜一憂裡に經過し、經濟界に幾度か不安を傳へた、また後者は財界の恢復策を眞に講ぜんとするにはこの際斷然金の解禁を卽行し、根本的に建直しをなす必要がある、とて財界の諸團體が自ら打擊を悟し、これを力說した、これは從來多くの場合消極的の主張のみで、兎角平穩無事を祈つて來た財界の人々として、可成り思ひ切つた主張で、それだけ主張も眞劍であり、實現の可能性も多しと見られ、其爲種々の影響を各方面に與へた。

◇

だがその金解禁も結局年內には實現する所とならず、日支交涉と共に二大懸案として來年に持ち越された、この外尙注目すべき現象としては、當初期待された貿易が下半期の出超期において振はず、棉花の輸入增加と共に十一月において早くも入超に轉じ、昨年より減少すべしと見られた入超額が、却つて激增を示すと云ふ結果を來した、要するに今年の財界は何れの方面に見るも期待外れの裡に推移したことは事實だが、金解禁卽行論の擡頭の如きは、明らかに整理改善に伴ふ、底力の生ぜることを語るもので、前途に解禁と云ふ一大暗礁が、懸案として殘されて居るとは云へ、今後好轉恢復の望みは益々加はるものと觀るべきであらう、故に吾人は昭和四年以後の財界に多大の與味と期待を有つ。

通信權回收につき 露國側より抗議
エムシャノフ氏の名義を以て 張長官に對して

【哈爾賓特信】東三省交通委員會が主權を楯に北滿に於ける通信權回收の一步として回收した東支鐵道の電話約四千五百個は、一九二一年東支鐵道が百五十萬金ルーブルを投じて架設したものでこれが回收により支那側は爾今年額三十萬以上の收入を得る譯であるが、支那側は更に東三省に於ける通信機關の

統一を 圖らんとする見地から一九二七年七月二十日の露支長距離電話架設協定に基く工事費三百萬金ルーブル（露支折半負擔）を以てするウラジオ、ハルビン、滿洲里、チタ間の長距離電話の內支那領を通ずる千七百廿一キロに亙る電話延いては電信權回收の擧に出でるもの如く、特別區行政長官張景惠外交部蔡天より來哈した東北電政監督蔣斌等要人は當面の問題につき引續き協議を重ねてゐる、一方ロシヤ側は支那側の通信權回收により東支鐵道の蒙る影響甚大なるものあり且東支鐵道回收をも目論む支那側が何時如何なる

行動に 出んとも限らぬとし、メリニコフ總領事は通信權回收問題につき委細本國政府に打電し請訓する所あつたが、ロシヤ側は本國政府の電命により東支鐵道管理局長エムシャノフの名義で張景惠に對し左の意味の抗議を發した

露支合辦の純然たる營利的企業の東支鐵道の電話の回收は東支鐵道建設及び營業に關する一八九六年九月八日の露支協定並に一九二四年九月二十日の奉露協定の第一條卽ち兩締約國政府は東支鐵道の直接管理下にある營業に關する事項例へば司法、民政、軍政、警察、市政、課稅、土地（鐵道用地を除く）の如き支那共和國の中央及び地方政府の

權利に 影響を與へるものは支那共和國之を管理す、更に東支鐵道の電話管理權を確認せる一九二七年七月廿日の露支長距離電話架設協定の五、六、十一の各條項の明文に反するもので東支鐵道の電話管理は支那の主權を侵犯するものでない

尙エムシャノフ管理局長は東支鐵道理事會に對しても同樣の抗議を發し、東支鐵道電話の奪回につき最善の方法を可及的急速に講ぜられたしと要請した

双方とも 態度は强硬
結局外交問題化か

【哈爾賓特信】支那側の通信權回收は露支間に空前の波瀾を捲き起してゐるが通信權の回收の法理的根據につき支那側では國家的意義を有する交通々信機關は等しくこれを支那の管理とすとの國法に準據し時機到來と共に多年の懸案たる一九二一年に非合法的に架設された東支鐵道の電話を回收したに過ぎないと稱し對露强硬の態度を示しロシヤ側の抗議を默殺して自然的に奉露協定第六條に基き露支人各五名よりなる東支鐵道理事會に附議し平和的に本問題の解決を圖らんとしてゐるが、一方ロシヤ側は支那側の今回の措置に對し斷乎として反對するといきまいてゐるので結局本問題は奉露協定第十一條に基き露支兩國政府間の外交問題となるものとみられてゐる

左傾分子を 使嗾し局面展開
露國側の對抗手段

【哈爾賓特信】東三省交通委員會は北滿に於ける通信權回收の一步として東支鐵道經營のハルビン市內自働電話を回收するに至つたが、右は東三省に於ける通信機關の統一と利權回收による財源捻出のためとみられてゐるが、電話の回收は直接東支鐵道の收入に多大の關係あるを以てロシヤ側は相當狼狽の色を示し引續きこれが對應策につき考究中であるが、一波瀾は免れまいとみられてゐる、尙支那側の利權回收熱は今や高潮に達してゐるのでロシヤ側はこの儘放任せば自然露國の勢力は事實上對支政策遂行の根據地たる北滿より驅逐される恐れありとし、これが對策として最近國民政府の共產黨撲滅運動により北滿に潛入してゐる左傾分子を使嗾して局面の展開を圖らんとしてゐるらしい

南京政府の 制度に倣ふ
政治委員は九名乃至十三名

【長春特信】易幟問題の解決した吉林當局が適用せんとする腹案は當路人物は現在のまゝとしその制度は南京政府に倣ひ秘書、民政、財政、建設、農鑛、工商、教育の七廳、衞生、公安、社會の三局を置く但し教育廳は之を置かず東三省を一大學區としその管下に置くやも知れずと、而して政治委員は九名乃至十三名とし現在の省議員を以て之に當てると

日本人の 荷馬車抑留
納稅して放免 傅家甸で

【哈爾賓特信】當地傅家甸加藤醬油公司の荷馬車が數日前醬油を滿載して八區ゝ通行中馬車稅未納のかどで支那巡警に拉去され、荷物諸共附近の警察署に抑留されたので藤井民會理事は加藤公司からの依賴によつて去る二十一日支那警察に出頭し嚴重交涉の結果、馬車稅として本年度一ヶ年分の四分の一を納付して問題を一先解決荷物並に馬車を引取つた、元來同公司では古くから無稅のまゝで濟ましてゐたものであるが支那側で特別區同樣邦人に課稅する方針に出るものと觀られてゐる

庭球巡禮
在英 太田芳郎

【八】
ドイツの大會

◇此のドイツの大會には十八ケ國の選手が集まり、戰後最初の盛大さで、特に吾々日本人がゆきましたのも始めてのことゝて、ハンブルグ中の日本人の方が總出動、其の人氣は大したもの、ハンブルグ領事、伊藤三井支店長はじめ毎日々々オフイスを缺かしても吾々の應援はかかさずに來て下さいました。此の大會のことは先に滿日へ一寸御知らせしましたから御よみ下さつたことと存じます。カウントは獨逸語でやりますので始めは變でした

第一回戰
ハムブルグの少年選手別に問題とならず
太田 {六—〇 六—三 六—一} エベルスタイン（獨）

第二回戰
太田 {三—六 六—二 六—〇 六—一} ミシユウ（ルーマニヤ）

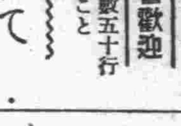
ルーマニヤのミシウは同國の有名な選手で、實に奇妙なテニス（カッテング）をする男、始めは面喰つてやられましたが二セツト目からスツカリのみこんで易々と勝ちました。

第三回戰
ケルンの代表選手でよくねばりましたが左のスコアで
太田 {七—五 六—二 四—六 六—二} ノールマイ（獨）

第四回戰
濠洲の現在の實力のナンバワン カミングスで、人を馬鹿にした態度で向つて來ましたので大いにがんばりストレートセツトで打ち負かしいよ／＼最後の四人の中に入りました。
太田 {六—三 六—四 六—三} カミングス（濠洲）

◇けれどもまだ／＼準決勝に前年の優勝者モルデンハウエルの爲に敗られ、第二のウインブルドンでもチヤンスを逃がしてうらみをのんでドイツを引上げたのです。三木君はノールウエイのデ杯選手に勝ちましたがオーストリーのデ杯選手マテイカに三回戰でやられ、安部君は第二回戰でこれまたデ杯選手たるスペインのモラレスに敗退しました最後の四人はドイツ二人、インドのねばり屋一人と小生でした先に小生に勝つた濠のムーシを始めアルゼンチのデ杯主將ボイド、チエコスロバキヤのメンツエル、スペインのモラレス其の他ノールウエイ、英國、フランスあたりからもたくさん名選手が集つてゐましたがボロトラ、ラコストコシエが來なかつたのは寂しいことで、此の意味から優勝の可能性があつたのですが、全く殘念なことをしました、但しこれからは誠に景氣のよい御報告を申し上げます。

◇此の時スイツル、スペイン、ルーマニアの各國から私に是非來るやう勸めて來たので食指大に動きましたが先づ手近の英國を征服した上、大陸に向はうとナポレオンの逆を執つて、此の方面は三木、安部の兩君に委せて私は單身ロンドンに歸り、ロンドンを中心に各地のカツプ狩り道場破りに出かけました。



諸君きいて呉れ
赤毛布生

中傷を目的とするのは採らず　投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと

俺は時々浪速町なんかへ出かける時、つもに障る事がある。それは自動車と、大連市の交通整理に對して。
人道を歩いて居る時は勿論そんな事のある可き筈もないが、四つ辻などでの出來事だ。人道から人道へと車道をクロスする時馬鹿に早いスピード（大連のスピード規定は知らぬが）で自動車が來るそれが眞直に行くかと思へば右に折れ左に曲る、右かと思へば左に折れるかと思へば眞直に飛ばす。俺なんかの赤毛布は全く慌てざるを得ない、馬鹿にマゴ付くと運轉手から馬鹿ツもの挨拶だ。四ツ辻の眞中には立派な交通整理の巡捕又は巡査殿が立つて居られる。一體大連市の交通整理はどんな事をするんですか。
大連には數多い交通機關があるが、それ等總てには困難だらうが自動車、バス、オートバイ等スピードの早いものゝ運轉者にはクロスした所、邪になつた所に差しかゝつた時、どの方向に行くかを手を車外に出して示す（右へ折れるときは右手を左へ折れるときは左手を、直に行くときは前へ、と上海天津でやつてゐる通り）樣に當局から注意して貰つたらどうだらう。そして交通整理の警察官の居る場所ではそのサインに依つて通行者の整理もやれば少しは事故も減少するかも知れぬし第一吾等赤毛布の大に助かる所だ。いづれにしても手を出して方向を示す事なんか譯のない事だらう。

日本人よ自重せよ
青年行雄

日本人諸君廿一日付夕刊の「混血兒の遺棄」と題する記事を如何に見られましたか。大日本帝國女性否國民全部の體面を汚せる彼の女を探して姓名を公表すべし。女一人のみで無い。男子に於ても此に類する事は多々ある吾々大和民族は將來かゝる事の生じ無い樣互に自重しませう

南支への旅
（十五）　旅順師範學堂研究科旅行團　平井生

寒山寺より西三町ばかりなる問題の楓橋の上に立つ。運河の上に丸く上に反つたさほど大きくもない太鼓橋なのである。江楓漁火對愁眠なんて詩趣はどこをどうつゝいて見ても出て來さうにはない。尤も昔は立派なものであつたかも知れない。

途中のやつとすれちがへる位な狹い街の兩側には、雞の丸燒きを幾つも吊つた飲食店らしいものがゴタ／＼と續いて、變な臭ひがプンと鼻をつく。美人と刺繡で有名な姑蘇城を最も直截に示してくれたのは、見すぼらしい家の中にもみめよい中年の婦人たちが、熱心に細工針を動かしてゐるのを、しばしば見かけたことだつた。

運河口に沿つた桑畑の道をしばらく驢馬の背中にゆられて着いた所は留園である。こゝは革命軍の聯隊が駐屯してゐるらしく、堂々たる門札をかかげ、着劍の兵士が衞兵に立つてゐる。

◇

そのだるさうな眼の中には、少しも威嚴といふものを見出すことが出來ない。この園は數奇をこらした廣い庭園で、一度入つたら曲り曲つてその出づる所を忘れるといふことだが、なるほど廊があちらにもこちらにも續いてゐる「又一村」といふ風流な額をかゝげた門を入ると、草花や野菜を植ゑた畑に出る。農村の氣分を表したものか。

◇

四周に方形に運河をめぐらした姑蘇城は高い城壁の門をくゞつて城內に入つてからでも、小運河が各處に通じ、入るに船、出づるに船といふ町も半分位はあらう。日本では山陰の松江、西洋ではヴエニスを思はせる水鄉である。これらの運河にかゝつてゐる橋は、揃も揃つて太鼓橋である。狹い街路はどこ迄行つても變りはない。變化のないこの狹路を、幾度か黃包車やこみ合ふ人につき當りさうになりつゝ行く。驢馬ももう大分疲れたらしい。

◇

北寺の塔につく。蘇州には外に雙鳥などいふ筆の形に擬どつた文學振興の記念塔もあるが、最も高くて又昇ることの出來るのはこの塔ばかりである。脚氣でくたびれてゐるS君を殘してみんな昇ることになる。門を入ると薄暗いしめつぽい空氣が顏を打つ。足許が分らないので氣持が惡かつたが、二階へ上つて行くと光がさして來たのでホツとする。トン／＼と梯子段を上つて行つてはグルリと半廻りすると次の梯子段がある十回ばかりこれが繰返してまだかと氣を腐らせてゐると、完ーといふ先頭の聲が聞えたので、力づいて頂上の明るみへ出る。蘇州市街の一帶が手に取る樣に見える。脚下を恐る／＼のぞいて見ると、今のつて來た驢馬と馬夫とが小さくうごめいてゐる。手すりが木製の弱々しいものなので怖ろしくて、餘り前に出られない。そのせいもあつてかとても高く感ぜられた。旅順の表忠塔以上にも。

◇

又街へ出る。街の中で驢馬がへたばつて、支那人に笑ひの材料を提供したものもあつた。走らせてゐる驢馬の鼻面を叩かれ、憤慨して馬夫に喰つてかかつたT君は、旅行中の傑作だつた。

孔子廟に到る。宋の名臣范仲淹が創めた江南第一の文廟だといふが今の荒れ方はまた甚だしい。明治七年に再建されたさうだが、爾後五十年間にこれだけの荒廢をするとは亂國なるかなの歎を久しうせしめる。遊客にとつては懷古の詩興も生ずるわけではあるが、支那の文教の上から見れば悲しむべき現象ではあるまいか。草は茫々と廣い庭一ぱいを埋てゐる。石だゝみの兩側にある昔の文官試驗場だつたといふ廊下樣の建物の前には、太い銀杏が何本も立つてゐる。廟の正殿たる大成殿は、さすがに規模が大きい。中をのぞくとガランとしてゐる。何か異樣な臭ひが强く鼻をつく。案內者に聞けば蝙蝠の糞の臭ひださうだ。なるほど土間を見れば、小さい、黑い粒が一ぱい落ちてゐる。孔子樣もかくなつてはたまるまい。人一人見付けることの出來ないこの廟にもとうしたわけか牛が放してものうげに口を動かしてゐた。

毛皮 鞣、染色、手入裁縫
大連北崗子三 合資會社 豐田洋行 電話五五八二

滿日案內
◎三行一回 金八拾五錢 ◎被雇度 金六拾錢 ◎五行一回 金壹圓五拾錢 ◎十行一回 金參圓 ◎姓名在社は一回金貳拾錢增

募集
寫眞 技師至急入用 大山通正隆銀行前 ライト寫眞館 電三六八八
寫眞 技師至急採用委細面談 電話二五九番 旅順市松村町 成松寫眞館
女給 入用年齡十七才より二十五才迄本人來談 旅順敦賀町 木村カフエー
男女 ボーイ數名至急入用 山縣通第二市場橫 大連亭支店 建協會食堂
事務 員急採用要履歷書携帶 本人來談 大連市三業組合
女給 入用廿歲より廿五歲まで 東公園町 旭そば 電三四五三
女中 入用社宅向の方月給二十圓以上相談 電話四五〇〇番 本人來談
仲居 さん入用 浪速町四丁目二一番地 電話八三一四番 みやた
採用 有給小供の保險婦人の職業にも適當來談 西通一ノ一 五宮國徽兵相互會社
自動 車運轉手募集速成養成合格保證就職紹介 大連自動車講習所 電二一三四五

貸家
貸家 風呂附 聖德街二丁目上六、八、六二 貸三八圓 電話四七一九番
貸事 務所七坪山縣通第一ビルデング山縣ビル 滿洲共榮社 電七六三七
下宿 宿料御相談大勉强 食間も致します 信濃町二二日本橋前 泉館
宿料 食事夜具共月三十圓の部屋合永滯在向勉强 大連美濃町九五 貯炭場前
壹圓 あき室數種あります 吉野町六 名古屋館 電話六三一一
宿 永滯在の御方には御相談に應じます 美濃町七九 奈良屋館 電話三九一四

賣買
住宅 向絕好の土地星ケ浦 百坪御望の方 眺望絕佳 電二一三四七
マゲ 形製造卸小賣御好み次第如何樣とも調製 若狹町一八五 派出所裏通 昭和號
提燈 傘 御小賣 勝賑堂 前川商店 大連代町五番地 小木誠一 電七七一四番
商品 券交換賣買 西通 電七八五一 大連案內社
不用 品特別高價買受 四ツ辻 香川商店 日藤町通り 電六七五一
安賣 製玉 世帶道具 御用達 敷島町 廣田屋金物店 電三七〇四
フヨ ウ品 買 高價買受 イワキ町 新古商 電七四三五
古本 古道具親切高價買入 日藤町平山 芳文堂 電四三五四
不用 品一等高價に買受御 日藤町 さかひや 電五四三七
公債 株券 保管 通帳 金融 鑑定 買 西通 電七八五一 大連案內社
古本 不用品特別高價買受 新古月おくれ雜誌 日藤町 芳文堂 電話四三五四番
塵紙 發賣元 懷中に家庭向德用の三山島紙 拓茂洋行紙店
不用 品高價買入御報次第參上 電話三九一四 美濃町七九 大谷商店
五百 圓以上電話で金融 低利秘密無手數料 西通三五 電話七八五一番
不用 品親切本位買受 常陸町 渡邊商店 電六八四一
賣買 商品切手 公債 株券 大連市大山通 小林又七支店

金融
信用 小口貸金極秘密に低利で融通します 電話五〇一三番
信用 大口貸金及月賦貸金 美濃町喜屋ビル前 十年社
金融 骨董、公債、商券、恩給、年金、書畫 大連三河町二五 電八八四四番
恩給 電話 金融低利極秘 西通 電七八五一 大連案內社
信用 貸金低利極秘 三河町二 電話三〇六九 亨昌社
金融 御報參上 沙河口 仲町八〇 丸加商會
恩給 電話料低利無手數 極秘融通 電話七二六九 大連春日町 向陽社
電話 の金融は 春日町 電五五五七 正直洋行
五百 圓以上低利極秘密にて金融す片がわり差金をも便宜上立替す 正直洋行
電話 を資本化し大いに儲けて下さい 電五五五七 春日町みどり溫泉隣
電話 の事なら親切薄利で信用第一主義の正直洋行を御利用乞ふ 電五五五七

食料
豆乳 一合でも毎日配達滋養の親玉至急申込を乞ふ 電話八六六九六番 新帳屋
ニク マンヂユー 電六六〇 七六八五 浪速町二丁目裏通 日露洋行
牛乳 バタークリーム 大連牛乳株式會社 電四五三七番
牛乳 バタークリーム 滿洲牧場 電六一三四
ニチ ロパン 電話六六〇 七六八五 浪速町二丁目裏通 日露洋行
澤庵 おいしい／＼新たくあん賣出しました 山縣通 岩崎 電四六四八番

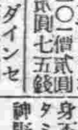
藥及治療
齒科 鶴見醫院 西公園町六九 電八二〇三
ぜい ろ丸 食後の一二粒能く傳染病、食中の豫防となるは伊勢町藥局の
クサ 及膽痛の特効藥有ます 大連劇場隣 根本藥局
せめ んあんに効果ありと信用せらる 伊勢町藥局の
大小 兒風藥 大人及小兒 定評ある 伊勢町藥局の
整腸 下痢、腹痛下痢、食中下痢に特効の 伊勢町藥局の
小兒 胃腸藥小兒の消化不良下痢、食中過食等小兒消化器障害に伊勢町藥局の
蒸餾 水 多少に不拘御用命願上候 電話六八二 大連伊勢町二二 伊勢町藥局
婦人 病 ハリキユー 大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
淋毒 鍼灸 鈴木丈太郎 電四六九二
チヂ モミ 大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
制痒 南京虫に刺された處に塗れば忽ち痒みの止まる 伊勢町藥局
胃の 胃病で御困の方は第一第二種の內何れにても御試用を 伊勢町藥局
胃腸 病 ハリキユー 大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
モミ 療治御好みの方は 電話六六八八へ

衣服
貸衣 裳 婚禮用 葬儀用 電三七四七 日藤町 まつや
貸衣 裳 婚禮用 葬儀用 日藤町 さかひや
古着 古道具高價 御買入報參上 日藤町 たじまや 電六六〇一番
古着 古道具買入れ 日藤町 まつ屋 電三七四七番

印刷
印刷 は六八四三の 有恭堂を
昭和 四年度廣告用カレンダー美人畫看板寫眞製版商印刷 大連市大山通 小林又七支店
美術 コロタイプ 寫眞製版 鑛業書印刷 大連市大山通 小林又七支店
實印 の御用は 吉野町 雄篤堂 電七八五九
品質 優良タイプライター 活字 販賣 大連市大山通 小林又七支店
活字 鮮麗な印刷は無疵堅實なる當店活字から 大連市大山通 小林又七支店
帳簿 堅牢で安價な 南海堂へ 電六八四二番
名刺 スグ出來ます 電話八五九八番 大山通（日本橋近） 吉野號
海關 輸出入申告書 販賣 大連市大山通 小林又七支店
印刷 の御用は何時も當店の小林又七支店を御利用下さい
印書 邦文タイプライター印書應需 電八四七一 山縣通 日本タイプライター會社
印書 邦文タイプライター印書應需 小林又七支店
急ぎ の名刺、葉書、招待狀は廉價迅速の弊店 小林又七支店

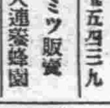
雜件
パテ ーベビー映寫機六十圓 撮影機五十圓 最新 奉天浪速通 門永ラヂオ店
ちん 餅一升十錢 勞働保護會 電五二九七番
タイ ピスト生英文及邦文短期養成並應印書 鑿部通九六北側裏 英學會
英語 初等中等高等實用受驗會話翻譯文案起草 時間隨意午前午後夜間 英學會
ミシ ンと蓄音器レコード シンガーミシン附屬品一式 常盤橋河島ミシン店 電六六八四
寫眞 機交換賣買出物有現像燒付引伸並材料販賣 山縣通三井裏 相田商會
寫眞 晝夜撮影 男女支那服の準備有 大連寫眞館 日本橋際 電話三五八四番
引越 と掃除諸人夫は 大連人夫配給所 運搬部へ 電四二五九
婦人 小供洋服裁縫並教授 大連若狹町二ノ四二 中村
門札 瀨戶物へ彫り込み 伊勢町野田看板店 電四五六四
易斷 一件五十錢 白雲堂 移轉先 信濃町六七（鎭西旅館裏通）
鼈甲 大連市但馬町二二 矢野鼈甲專門店 電話八四二一
門札 瀨戶物へ彫り込み 三河町二 池內 電八六七五
シン ガーミシンは 電話三五三三番へ 常盤橋
刀劍 研磨鑑定並委託品販賣 特別製錆止打粉有 大連磐城町通五八 南海堂
小鳥 小動物飼料販賣 網鳥具類一式 浪速町戶田洋行 電三九〇三番
習字 速成教授晝夜 三河町二 池內 電八六七五
蓄電 池充電ラヂオ改造修理技術本位 藤原町二三 谷喜 電六六六二
ラヂオ は何でも トヤマ商會 電八七二二番

五球 ニユートロダインセツト五五圓より八五圓 眞空管サイモトロン 一九二〇一A 貳圓七五錢

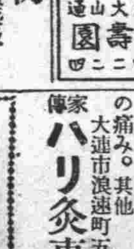


部分品は格安實用品高級優秀品揃修理 附屬品付百五十圓迄
ラヂオ は何でも 伊勢町吉野町角 ヤマト商會 電話八七二二番
ゴム 臨の御用命は 吉野町二六 一萬堂 電話七八五九

金庫 間宮式手提金庫 日支英米專賣特許 浪速町山形洋行 電三〇一一五番
看板 大連伊勢町 野田看板店 電四五六四番
算盤 の御用命は 拓茂洋行 電五四三九

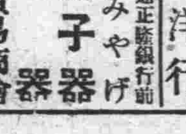


純ハチミツ販賣 羽衣町 大連養蜂園
古本 買入 大山通 藤原文華堂 電七四一四
浪速町二丁目大連商品館內 前田印房 電六三一八
肺病 全治保證の世界的靈藥フエビン現はる 電話九三六八 代理部大連大正通 日野恒次郎
犬 の神經入院實費 午前宅診午後往診 聖德街一丁目一九三 電話九〇四〇番
東京音樂學校本科卒業研究科修了 ヴァイオリン ピアノ 自宅及出教授に應ず 大連若狹町二二七 渡邊靜
家政婦 病人附添 產婦 炊事 家事一切（身元確實）一日貳圓參拾錢 卽刻派遣 西公園町五七 共濟寮 電話三三六三番
人相家相方鑒 洗心堂 西公園町 トキワ小學校前
藥 小寺藥局 大連伯爵町西廣場上ル 電話六六〇六番
毛糸商 大連市伊勢町 佐井田洋行 電話六二〇八番
犬猫 入院隨意 大連近江町二〇七 黑髮家畜病院 電話六七五五番

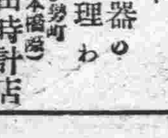


熊岳城 特產 大連大山通 豐壽園 電四二一二
引越荷物 荷造運搬其他一切手續取扱 運送業 赤松運送店 大連寺內通四七 電話四二四四番
早川齒科醫院 常盤橋 診察朝九時ヨリ夜八時迄 電話三九七一番
大連埠頭待合所の支那料理 味は一番…名は日新 電話三五七一番
貨物運搬 御轉宅には馬車より安い大タクの貨物自動車を御利用下さい 大連タクシー 電話五七四七・三八六八番
質 洋服類 大連正隆銀行裏通 筑後屋質店
神經痛。リユマチス。脚氣。胃腸病。寢小便。小兒麻痺。婦人病。痔一サイ。肺病。喘息。中風。半身不隨。腎臟炎。糖尿病。スジイタミ。如何に難病でも御出下さい 神明一色電氣治療機販賣所 美濃町交番所前 小笠原金虎堂
汽車汽船で御旅行の事は何でも御利用下さい ジヤパンツーリストビユーロー 大連案內所 伊勢町浪速町角 電五四五一番

札入 卷葉入 蟇口 手提袋 其他小間物 イワキ町の 松井本店
更に奧地貨物製作も始めました 呂科袋物に限らず一般貨物御用命願ひます
毛皮ナメシ 毛皮染色。學生スケート帽子。カラクーリ帽子。襟。製造販賣 本間洋行 平安街 普蘭店



陶 硝子器 支那みやげ 大連大山通正隆銀行前 共和貿易商會 電三八八八番



時計や蓄音器の修理わ 大連市伊勢町（日本橋際） 柴田時計店 電三四七五

趣味と實用 支那各省土產好適 珍品工藝品 大連イセ町 ミヤケヤ
いんきん專門新藥 アンスデシン 無痒、無刺戟、苦痛卽除する 責任製劑 大連信濃町（遼東ホテル前） 日本橋藥局 電話八三六二番
家傳 お灸 藥劑師 稻原勤雄
家傳 ハリ灸專門療院 淋病。睪丸。關節炎。痔疾。婦人病。內膜。卵巢。喇叭管。神經痛の痛み。胃。腸。脚氣。僂麻質。足腰 其他 大連市浪速町五丁目二百一番 大連檢番前
免許 ホネツギ專門 骨折、脫臼、クジキ、ウチミ 夜間柔道教授（新入門隨意） 館長 柔道五段 前田久郎 尙德館 電話八五七五番
淋病 梅毒 皮膚病 特ニ慢性症 大連、三河町二 濟生醫院 電話七八六七
專門 泌尿器科 皮膚梅毒 重富醫院 電話七五二八番

滿洲日報 地方版

奉天

同じ求めるなら成可く良い品を
歳末賣出に現はれた一般の新らしい傾向

歳末の押し詰ると共に奉天における年末氣分も濃厚となつて來たが奉天の中心地にある森洋行主森愼三郎氏は左の如く語つた 御大典賣出しの影響を受けて店の裝飾から一般客まで昨年よりも多少物足らぬ點がないでもない支那側の顧客は御大典ほどないのは事實であるがそれは支那側では舊正月を主とするので少いのは寧ろ當然のことだと思ふ自分の店では貴金屬が恰も飾餅の如く必要品とまで行かないでも正月用品として考へられ殊に近來新しい傾向があるのはそれ等の品物は「同じ求めることならなるべく良い品を」といふ主義で相當高價なものを求めるやうになつて來た事である、高いものを買ひ入れるなんと如何にも贅澤のやうに見えるが結局はその方が利益となるから實際上には贅澤でもなんでもない、土曜や日曜などは一日に四五百名の入客があるがお正月用として蓄音器やレコードなどが最も賣行き良く、又クリスマスプレゼントとして銀器や金屬器が西洋人から可成多く買上げられる

孝養を盡す二少年
感ずべき美談

丁年になるかならぬの若年でありながら、その日勤めに得た金で只管孝養を盡してゐる二つの美談がある

去る廿日青年訓練所の第二回修了式の際民會長、在郷軍人分會長並に青年團長から銀側懐中時計と賞状を授與された田邊東志男君(二二)は大正十四年九月來滿し當地富士町松岡米治妻せんの實弟田邊松太郎の養子となり現在に及んだが東志男君の養父が郷里島根縣で生活に苦しみ且つ最近は病床に臥してゐる事を聞き日頃血と汗で貯へた僅かな金を送り一方毎夜補習學校に通つて努力勉勵し効あつて優秀なる成績を以て修了した、東志男君は本年が適齢なので濱田第廿一聯隊に入營すべく廿五日奉天を出發したが入營後も他に拔きん出た成績を擧げるであらうと近隣の人の噂の種となつてゐる ◇

市内住吉町四番地住吉館に居住してゐる高橋壽君は本年僅かに十六歳で兩親(父孝太郎、母ふく)とも元來が病弱で殊に杖とも柱とも頼むべき父孝太郎は一家を支へるだけ働くに堪へる體でなくそれに本年十一歳になる妹を抱え殆ど一家は巷に迷ひ門に乞ふといふ人生のドン底の境遇に陷らんとした時、壽君は父母妹を養ひ一家を支へるべく健げな決心をなし本年滿信局練習生の試驗を受けた處美事パスし現に同練習生として勉勵してゐるが同君の日給僅かに九十錢で一箇月三十圓にも足らない收入で自分の身邊から父母妹を養ふに足る由もないその内父孝太郎は十一月廿四日遂に病死したため家には病弱の母と妹あるのみの寂しさであるが自分の收入の内から十五圓を食費として差引いた殘りは全部母許に送り僅かながらその日を送り妹は小學校に通つてゐる、壽君の孝養はそれとなく世間に傳へられ心あるものから同情の惠みを受けてゐる

日支人の結婚に破綻

黒龍江省某地の税捐局員の妻として暮してゐた長崎縣生れ坂田さの(三)は夫の兩親の苛酷に堪へかね廿四日働き溜へた奉票五千元を持ち夫を捨てゝ廿四日郷里長崎へ歸つた さのは大正八年ごろ黒龍江省の某地で酌婦稼業中同地の支那軍人として勤めてゐた現在の夫に落籍され夫婦關係まで結んだ處夫の兩親扶養旁々旅人宿營業のため本年七月來奉し奉天城内大東關旅人宿吉順店に居住してゐたもので先に夫が黒龍江税捐局に赴任後は兩親の苛酷な扱ひに堪へかね遂に意を決して歸國したものである

學生卓球大會

既報の如く來る一月五日午前九時半から敎育附屬小學校講堂に於て開催される滿鮮學生卓球大會の規定その他は左の如く決定した

一、規定 奉天協育協會規定による、使用球は奉天體育協會公認球

二、會費 一チームに付(五人)金二圓(辨當は各自持參のこと)

三、主將會議 一月五日午前九時

おまさ殺し事件遂に迷宮入りか
連日徹宵捜査に努めてるが何等の手がゝりなし

撫順天野まさ(四三)殺しの有力なる容疑者同家使用ボーイ王仁興(二〇)については其の後奉天城内に入り込んだ形勢があるので撫順署からは伊藤刑事總指揮となり奉天署の應援を得て大捜査をなしたがそれらしい確證を得ず引揚げた 廿四日午後五時頃偶奉天を西に距る七邦里の地點にある公太堡附近に犯人に酷似せる一支那人を認めたる旨情報あり撫順署からは直に伊藤、香川、原田三刑事數名の巡捕を隨へて廿四日夜來奉し捜査本部を奉天署において各々騎馬を利用して八方に手配し夜を徹し公太堡を中心に大捜査をなしたが犯人らしきものを認め得なかつたので一先づ奉天に引揚げ更に捜査方法を變へて大活動を續けてゐるが爺快報を得るに至らず事件は益々迷宮に入らんとしてゐる

◇

廿五日はクリスマスに相當するので各教會を始め學校幼稚園に至るまで子供のため盛大なるクリスマスの式を擧行した

◇

今年末の贈答品に自家用になくてはならぬ蜜柑の賣行きは昨年素晴らしい景氣で支那側の需要增加と共に今年は千二百卅噸に上る見込であると

人事

▲吉川康氏 廿四日夜赴連 ▲西岡敎事敎授 同日内地へ ▲遠藤眞一氏 同上 ▲山本謙幹氏 同上 ▲荒木福間夫人 同上

町の便り

名古屋市生駒山飲食店桑原某方雇人市原傳二(二〇)は廿四日夜主人の金卅圓を窃取し奉天に逃走したる旨駿山署よりの手配方依頼により奉天署で捜査中の處同日午後七時頃奉天驛前某支那旅館に投宿しゐることを驛前派出所員のため發見され直に本署に登致、れ廿五日夜駿山署より來たる係員に身柄を引渡した ◇

廿四日午後七時頃奉天驛前にて安全タクシー運轉手金龍興(二〇)の操縦する自動車を城内大西關馬車夫范成國(二〇)の馬車とが正面衝突をなし自動車の前部を破壞し范は右足部に輕傷を受けた自動車の損害約七十圓原因取調中 ◇

スケートにスキーにウイタースポーツのファンは廿五日の絶好天氣を幸ひスキーの準備をなしスケートにて終日氷滑を試みてゐるが一方ノグ運動具店でも今回世界的に有名なカナダスケートを澤山取寄せ且つスキーの道具も一切揃へてゐるので希望者は同運動具店に申込めば一切の事を心配して呉れる由

旅順

貯金業務開始
會屯金融組合で

旅順會屯金融組合にては貯金業務の開始をしたが六ケ月以上定期預金年六分、一ケ年以上六分五厘である、但し本月中は六分七厘で公衆の利用を勸誘した

市井片々

藤原民政署長は廿三日午後六時から新舊市會議員及新市長在旅の新聞通信記者を招待し一夕の懇親會を催したが席上氏は「今回市長は過半數を以て推薦されたがこの現狀では市政運用上に多少危惧の念あるも市議員諸氏は市長推薦前の激烈なる競爭は全部一擲して協力同心旅順市のため且市長に對して充分の補佐を希望する」旨の挨拶あり永山市長は「私は其器に非ずとは思つてゐるがヒョンなことから市長に推薦され再三固辭したが官邊側からの色々の御忠告あり現に角就任はしたが後任人物に立派な人があれば何時にても位置を譲る」旨を述べ誠意を披瀝した謝辭跡に東畑市議長の簡單な謝辭あり市長推薦前の感情は一掃され兩派の市議員は總てを水に流して歡談し和氣靄々裡に九時散會した

◇

ヤマトホテル支配人は廿五日午後六時から内外人其他新聞記者を招待してクリスマスの晩餐會を開催

◇

内田佐助氏は忘年御禮の意味から廿五、六の兩日午後六時開幕左の活動寫眞を昭和園にて開演することになつたが入場料は下足代として金十錢である、映畫は 稚兒の劍法五卷、珠を拋つ八卷 先生と其娘七卷

◇

廿三日午後五時半から千歳俱樂部で神田内務局長の廳員に對する忘年宴を開催し盛況であつた

◇

廿四日午後五時半から藤岡局長の課員一同に對する忘年宴を同上千歳で開催

◇

永山嘉一氏の關東廳囑託辭任で廳員有志から記念品を贈呈する由

◇

旅順在郷軍人分會にては新年宮中に奏上するため位階勳等の明記方を在郷軍人に問合せ調査中

オグラペラスラ

藤原民政署長の肝入りで永山新任市長を補佐される韓旅宴が彌生で開催▲新舊兩派の市議員がこれでスッカリ異る意見をサラリ水に流しての和氣靄々▲これが市會の一進歩だと宮田議員が細川參事會議員を顧みた▲細川議員朗かにワハヽヽと哄笑して一座は春風たいとうの態▲署長赤襟よろしく餅米ザルを抱へて出雲踊▲出雲の神の結ぶの仲介との意味?▲が其格好たるや小笠原流の彿さばきに白足袋でスツスツとの足鳥▲顏と足振りを對照すると大學時代のニックネームが浮んで來る▲顏をすくふよりは御自身がどうも怪しいとの話▲最後の敬禮の態度が一種獨特とはニックネームでネとある▲乘合自動車の待合室で中國紳士がブンブンと憤慨してゐる▲樣子を聞けば大連迄の料金に二圓で小錢の釣錢からのこと▲二圓がニーヤと聞えた紳士「僕は苦力でない、ニーヤとは人を馬鹿にする」とのかん異ひ▲全くニーエンきらぬ憤慨ではあるが日支感情の疎隔はこうした言葉の行違ひから往々に起るもの

鐵嶺

免職されて酌婦と心中
元鐵嶺署勤務の巡査 女だけは助かる?

年末も慌たゞしく押迫つた二十四日午後六時頃鐵嶺十數年來絶えて聞かなかつた情死事件があつた、而も男は最近まで鐵嶺警察署に在勤せし巡査であり女は年まだ若き酌婦である、原籍福岡縣門司市榮町二丁目中村軍次(二八)は大正十五年八月關東廳巡査を拜命して公主嶺警察署勤務となり 越えて 昭和二年九月二十八日鐵嶺に轉任し來れるが、兎角素行修まらず殊に本年一月妻を内地に歸して後は足繁く遊里に通ひ本年四月頃より當地東鄕町金水樓方抱酌婦福助事月下ヨシ子(二〇)と馴染を重ねたるが上長は屢同人に意見を加へたるも改悛の狀なく遂に去る二十日附を以て免官となつたが、巡査をやめた中村は愈誰憚る事もなく數日前よりは殆ど福助のところに入浸りとなり樓主も警戒し居りしも免官となるや死を決したるものゝ如く、二十四日は 晝から 松月の馴染女と暗に別離の盃を交し午後五時頃福助の部屋にて數通の遺書を認め、部屋には堅く施錠し兩人は女の腰紐を以て緊縛し死しても離れじと互ひに抱きしめストリキニーネを嚥下したるが、女は飲酒後の事とて劇藥が充分に廻らず男は苦悶し盛んに痙攣するより女も死しおくれじと枕もとにあつた小刀を揮つて左右胸部頸部等七ケ所に突き立て苦悶中を朋輩の若龍が發見して大騷ぎとなり、應急手當の結果滿鐵醫院に擔ぎ込みたるも約二十分にして男は絶命し女は餘病併發せざる限り生命には別條なき模樣である

因みに 中村の死骸は二十五日午後四時同僚の手によつて火葬に附した、原因は勿論免職に自暴自棄となつた結果であらう

拷問で免職

鐵嶺縣警察第二區(駒家端子)駐在區官趙泰芳は過般被疑者取調に際し拷問の手段を用ひたる爲め被疑者より告發され陳警察所長の手で取調中であつたが、事實明白なるより今回免職となり後任は游擊隊長瀧錫候氏が任命された

馬賊來襲說

二十三日新臺子附近に約二十名の馬賊襲來說傳はり居住民は少からず不安に襲はれ、警察官守備隊は協力警戒大いに努め一方情況を偵察せしめたる結果全く風說のみで襲來の模樣なく何れも安堵した

岡夫人逝く

當地居留民會議員岡藤造氏夫人は十月上旬内地に轉地療養の爲め歸國の途中容態よろしからざるため大連病院に入院加療中であつたが、遂に二十三日朝死去し遺骨となつて二十五日朝歸宅二十六日本願寺に於て本葬を執行した、享年三十

石燈獻納式
二聯隊駐剳記念

步兵第二聯隊の鐵嶺駐剳記念石燈籠一對は既報の如く神社前に獻納すべく作製を急いでゐたが、二十四日愈竣工せるを以て二十五日午後三時より軍隊首腦部市民有志等列席の上嚴かな獻納式を擧行した

新年撞球大會

鐵嶺俱樂部では忘年撞球會を中止して新年大會を盛大に開催せんと目下其準備中であるが、新年大會は一月四日より三日間に亘つて催ふし一等は金時計以下十數點あり會費は金一圓改元三十錢開催の際は多數の參加を望むと

開原

歳末年始の諸行事
開原神社で

開原神社にては左記により歳末歳始の諸神事を嚴かに執行すると

大祓式 三十一日午後三時

除夜祭 同日午後十一時五十五分

元旦祭 一月一日午前四時

元始祭 一月三日午前十時

因に神職は三十一日より元旦に亘り徹宵神前に奉仕の由なれば隨時參拜されたしと

官公衙御用納

開原警察署及び開原郵便局庶務課にては來る二十八日を以て御用納めとなし一月四日御用始めをなすと但し郵便局の郵便爲替等一般事務は通常通り取扱ひをなすと 開原地方事務所にては來る二十九日を以て御用納めとなし一月四日御用始めをなすと

取引所納會

開原取引所にては年末年始に當り左の如く立會を休場すると

二十九日前場大納會

二十九日後場より一月三日迄休會

一月四日前場初立會

四日後場及び五日休會六日日曜

七日より通常通り前後場共立會をなすと

小學校の休校

開原各小學校にては左記の通り年末年始及び多季休校をなすと

開原尋常高等小學校來る三十一日より一月十五日まで

開原普、學校來る三十一日より一月十八日まで

開原公學堂來る三十一日より一月五日まで

縣公署見習生
各所を見學

同澤新民儲才館畢業生張海儒、田鱗兩氏は見習として今回開原縣公署に來任したが二十四日當開原附屬地に來り地方事務所(通譯の案内にて地方事務所、警察署、郵便局、取引所、病院、公學堂等の各行政機關の見學をなした、右は屢報道されつゝある如く東三省行政組織が政治委員會組織に近く改編さるゝ前提と見られて居る

不逞鮮人
掏鹿に潜入

過般掏鹿に於て鮮人不逞團正義府幹部李萬華が射殺され朴在秀は逮捕されて目下豫審中なるが、正義府では之を遺恨とし復讐の爲めに掏鹿附近の鮮農を慶殺すべしと宣傳し密かに保安隊を派遣せる如く傳へられてゐたが、去る二十一日突如として十名の不逞鮮人が開原縣下邱家屯に現れ掏鹿方面に潜入したりとの報あり、或は右復讐の爲めの正義府保安隊にあらずやと鮮人間に恐怖せられ日本官憲も極力嚴戒中である

撫順

おたづね者の殺人强盜捕はる
伊藤刑事の大手柄

奉天省生れ現住所撫旅楊柏堡粟家堡李秀峰(三〇)は放火殺人、强盜、强姦、六人組の巨魁として撫順近邊を隈なく荒してゐたが、本年九月頃撫順署原田刑事が東岡附近で誰何せし際ブローニング銃を發砲行先を晦まし爾來搜查中の處、去る二十二日粟家溝に於て伊藤刑事の爲め逮捕され目下取調べ中

健兒團
團旗樹立式と收支決算

撫順少年健兒團々旗は既報の如く二十日に到着せるを以て去る二十三日午後一時より地方事務所樓上に於て團旗樹立式を擧行し創立以來の收支決算報告をしたが、報告の收支決算の如し

收入の部	
一般寄附金	四〇五、一四〇
團員雜收入	七九、二八〇
收入合計	四八四、四二〇
支出の部	
圖書費	一六、一四〇
團員服裝及携帶品補助	二六〇、二四〇
飯盒炊事費	一六、九一〇
印刷費	三、六〇〇
備品費	八、四〇〇
通信費	一、三五〇
雜費	二〇、七一〇
支出總額	三二七、三五〇
差引手許有高	一五七、〇七〇

窮民に寄附

押迫つた正月に餅もつけぬ窮民は撫順警察署管内にも相當あり、目下同保安係にては一定の條件に當はまる貧困者を調査中であるが、廿五日迄に同保安課に集まつた喜捨金は次の如くである ▲三十圓無名氏▲二十錢無名氏▲一圓二十錢無名氏▲十圓柴田定吉氏▲衣類外八點岩尾一郎氏▲白米一斗千葉留八氏▲二十一圓及白米一叺貧民救濟會代表者飛鳥井氏

理髮業者紛擾

撫順理髮業組合と同組合外營業者愛友軒碓井床との紛擾は依然として解決の曙光に接し得ず、警察は其中間にあり頗る苦慮してゐる模樣である、本問題は約六十日前からの營業の許可がないので、碓井床は當局からの事であるが碓井床は過日關東長官宛訴願書を提出した、本問題は撫順地方問題の一として一般からその成行は注目されてゐる

好況の大賣出

撫順西五條通り年末景品付大賣出しは去る十日から三十一日迄であるが、開始以來同町内は大賑はひを呈してゐる、二十五日迄の賣上高は三萬圓に達してゐるが、年末迄には五萬圓を突破するものと見られ昨年より遙かに好景氣である 景品一等五本中高砂町小橋家(永安大街增田商會金百圓)が當選し、すべて景品は樂隊入りの自動車で運搬して盛況を見せてゐる

不逞漢
五名を逮捕

五人組强盜として撫順署が目星をつけてゐた原籍山東省元奉天軍兵士仇廣恩(二四)同馬堂山(二)原籍直隷省劉子仁(二)は二十三日午後五時撫樂園内福合社に於て逮捕されたが、彼等は奉軍中にありし際奉天驛附近に埋藏してあつたモーゼル拳銃數挺外彈丸約八十發を所持してゐた、押迫る年の暮と共に大々的の强盜を働く豫定であつたと白狀してゐた

寒村夜話

外國の雜誌にこんなことが書いてあつた「ある男に妻君の何處が氣に入つたかと聞いたらその男は答へて足の親指だ」と▲活辯に戀する多くの女性は顏を知らないそうな▲之とよく似た話▲鈴木とか云ふモダンボーイが何時も同じ時刻に聽く交換手の聲音がすつかり氣に入つたとあつて毎日用もないのに交換手を呼び出しては淡い戀をさゝやいてゐた▲以心電心は苦いシャレだが二人は大いに共鳴してしまつた▲それから後は筋書き通り、西公園のどこかで待合せるまで漕ぎつけたとか▲若き男女は幾日かの間逢ふ瀨を重ねてゐた▲然し辭は表現されるものが人間の凡てゞはない▲彈はずみに永遠を誓つたが二人は到底それ以上接近の出來ない性格の持ち主だつた▲男は諦めて女から遠ざかつた▲然し無智は女の特有性だと云ふ譯でもあるまいが男に對する期待が大きかつた丈けに失望も大きかつたと見える▲男に愛憎をつかされたと云ふ因襲的の觀念が彼女を自暴自棄に陷いれてしまつた▲そして彼女は半年足らずの交換手生活をやめて今は○乃家とか云ふカフエーにデカダンな其日を送つてゐる▲だが何時かは彼女にも眞當の戀が芽生へる時があるだらう

長春

三道尹歸任

易幟問題協議の爲め吉林に集まつた三道尹中濱吉長道尹は廿三日、參濱江道尹及び王依蘭道尹は廿四日何れも歸任した

遼陽

氷上運動場近く竣成
襄平寮前に

遼陽在勤滿鐵社員並に一般在住者の氷上運動場に就いては社會係に於ても相當考慮した結果襄平寮前のトラックを使用する事に決定既に工事中なれば近日中に竣工使用し得る見込である警察署構内にも署員の士氣振興と運動のためリンク築造中である

營口

不眠不休で歳末警戒

營口警察署では去る廿日から年末警戒を施行して居るが署員は殆ど不眠不休の勤務であつて涙ぐましい程である、其お蔭で何等の事故も起らず枕を高うして眠ることが出來る職務とは云ひながら何れも其勤務を感謝して居る

除夜會を開く

當地居留の外人連は來る三十一日午後七時から牛莊俱樂部に於て除夜會を催し假裝ダンス會を催すが同夜は徹宵踊り過ごすと

英國領事更迭

牛莊駐剳英國領事イースト氏は一月中旬頃賜暇歸英の途に就くが後任はブラツト氏であつて二月中旬頃着任の豫定である

熊岳城

新年互禮會

當地に於ける新年互禮會の件につきては先頃各代表者地方事務所に集合協議の結果一月一日午前十一時より滿鐵俱樂部に於て開催する事に決定既に會員名簿の作製にかゝつてゐると

向陽會劍道納會

熊岳城農事實習所向陽會劍道部に於ては來る二十八日午後一時より滿鐵俱樂部に於て會員一同の劍道納會を催す由多數來觀を希望すると

湯街漫語

世の中が不景氣になると上は大官より下は滿鐵あたりの一部係り主任に至る迄賄賂沙汰で押し通すと云ふ學問も實力も表面のみの標準で内輪を探れば新採用に月給の二ケ月乃至三ケ月分の瓏なまをくゞらせなければ僱人にすら採用されぬといふせち辛い時代相が出現した▲殊には年末歳暮の贈答品に事よせ昇給の御催促とか御詭願とかでも世の中は五月蠅とりどり▲漫子も年末多忙で目をまはしてゐる際某巡捕の料亭目がけての金錢强要事件とやらで日支間にはそれよりそれへと噂の種を蒔いてゐる時言論機關は何れも眠つてゐるのかと各方面での御叱り

安東

鷄冠山に電燈
來年の四五月ごろ

鷄冠山附屬地は電燈設備なく爲めに日軍警の夜間警備にも不備勝ならず、さきの馬賊襲擊事件以來同地在留民は等しく電燈設備を望んで居たが、愈南滿電氣安東支店が同地に發電所を設けて送電に決し來年匆々工事に着手し四、五月頃迄には送電が出來るらしい

五龍背驛に電燈設備

安奉線五龍背驛は今迄洋燈を使用して不便勝からざりしが、今回五龍背溫泉の自家用電力を供給することになつたが、年末か遲くとも來年一月匆々點燈が出來るであらうと

黄煙成績良好

鳳凰城黄煙組合、耕作組合の本年度の煙草耕作は非常に成績良好で既にソノ大半は商取引も出來年内に幾分かの現金も手に入る模樣で組合はよい正月が迎へられると喜んで居る

徽毒女を燻べ殺す
無茶な治療法

安東驛一番通六ノ四李相夫(三)は新義州ヲ竹町十三番地安炳斗の妻玄確賓(三)が數年前から夫の徽毒に感染して苦んで居るのを治療し…(following columns:) てやると稱して、玄確賓の一室を密閉し水銀に蕎麥粉を混じて之に點火しその煙を一時間半に亘りて竹管から吸入せしめた爲め、同女は遂に死亡し李相夫は新義州署員に逮捕せられた

各校冬期休暇

安東各學校の多期休暇は中學校廿四日より一月七日まで女學校廿五日より一月七日まで第一、二小學校及び普通學校廿九日より一月十二日迄

稅關の休業

安東支那稅關及び新義州稅關安東派出所では左記の通り年末、年始休業すると

安東支那稅關 十二月二十五日二十六日、卅一日、一月一日、二日、三日、五日

朝鮮稅關 十二月二十五日、三十一日、二日、三日、五日

鷄冠山から

鷄冠山滿鐵附屬地は滿鐵社員に一部の地方人が混じつて居るが狹い土地である丈け總てが圓滿に行はれて大家族の感じがある ◇

お隣りの人が屁を放つても隣りに迄聞えると云ふ位メツタに夫婦喧嘩も出來ないと夫婦仲が圓滿でやらで日本間にはそれより噂の種を蒔いてゐる時……ある、木口さんと、近藤さん、久井さん、栃久保さんが鷄冠山土俵の四本柱といふ格で石川驛長さんと山中郵便局長さん、占部ドクトルさんが行司、呼出を兼ねたかたち滿鐵が勸進元 ◇

鷄冠山料理屋……吉野屋、筑紫館……前者三名後者に二名の婆屬が居る忘年會、新年宴會に中間鐵道迄御出張となりコノ婆屬ならば毎晩出てもよいと獨身者連が柔かい甲冑姿で好敵推參と……

電話番號 大タクの

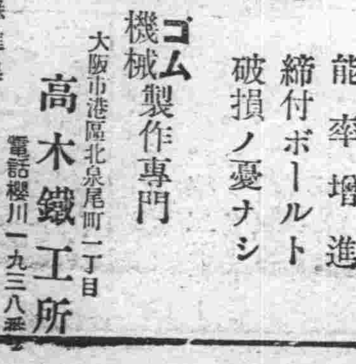
當番營業所 3868 5774 8514

若松町支店 4515

西部支店 9324 9601

鐵嶺驛前營業所 523

高木式特許ムシ釜 (縮付ボールトナシ)



型錄進呈

能率增進 締付ボールト破損ノ憂ナシ

ゴム機械製作專門 高木鐵工所 大阪市港區北泉尾町二丁目 電話櫻川一九三八番

獨逸ユンケル・ストーブ

獨逸ユンケル會社製 品質の優秀 世界第一

本機は獨逸に於て創業以來六十有余年の歴史と五千有余人の職工とを有するユンケル會社が幾多苦心の結果創製したるものにして鑄質の合成法に特殊の研究を有し品質全く强靱、燃料の節減等到底他機に見られざる多くの特長を有す。

全日本の愛用家數萬を越へ、全世界に百萬の愛用家を有す、

最近の御買上(一部)

久邇侯爵家 三條公爵家 陸軍兵器廠殿 商工省燃料研究所殿 金澤醫科大學殿 傳染病研究所殿 山口病院殿 大阪貯蓄銀行殿 大日本セルロイド會社殿 山下汽船株式會社殿 森永キヤンデーストアー殿

諸官衙、學校 銀行、會社 商店、病院 工場等に大歡迎

カタログ進呈

代理店募集

JUNKER & RUH

ラヂオに 朝日乾電池

最良の聽取は優良品から

新版 全国綜合放送時間表 (御申越次第送呈)

製造元 松本乾電池製造所

大連市信濃町 大連市三河町 大連市龍田町 横濱電機工務所 川崎電氣合資會社 和登商行

胃と腸に ベンラック

最新學理應用新胃腸製劑

ベンラックハ最新内外ノ醫師ガ胃腸病ニ根本的最適治療法トシテ賞用シテヰル吸着療法ノ原理チ巧ニ發揮スルベゾルゲンチ應用シテアルノデ今マデノ胃腸藥トハ異ツタ最合理的ノ新劑デ誰デモ飲ミ易イ

定價 五十錢 一圓

發賣元 大阪市東區道修町三 福井七商店

本欄特別廣告一手扱 大阪高麗橋五 昭廣社

福助足袋

お正月迫る！

素晴らしい人氣の福助のお求めは今

お正月の御用意は何よりも御足許から！恰好も穿心地も何から何まで一等品の福助足袋、御用意は今です！

信用ある二大姉妹品

お徳用な　**家庭足袋**

萬人むきの　**萬歳足袋**

文藝

短篇小説　あの頃

戸上恭二

祭りも過ぎた。

土藏の裏の柿の木に鳥が飛んで來る頃は、大方の葉は散つて少しばかり枝先に熟柿がなつてるきりで、小川の水面に薄い氷が張る頃は白い息を吐きながら生徒が各口喧しく話し合ひ乍ら學校へ急いだ。お婆さんは緣側に糸車を出して來て、孫達によく糸を繰ないで貰つては、目を細くして何かしきりと聞いてる樣子をした。

子供達の遊んだ場所は、矢ツ張り莫蓙が敷かれて子供達の遊ぶかわりに大根が干されて居た。親鷄の後から雛鷄が、五月蠅く附きまとひ乍ら忙しさうに餌を探した。

そんな日には、よく敏夫は裏山から栗を拾つて來ては獨りで土間で遊んだ。

日蔭は殊の外冷々した。

その時分には大概きまつて、美江ちやんが遊びに來て居た。美江ちやんはその頃は、風邪に罹つてると言ふてはよく白い布を首に卷いて居た。

遊びに飽いた兩人は、よくこつそり土藏の裏側へ行つた。そして登り切れない柿の木の下に立つては、落ちさうにもない枝先の熟柿を何時迄も待つた。

鳥が啼いて居た。

雲がぽつゝり浮いて居た。

日暮になる頃、茗荷の葉を踏みながら美江ちやんは小川の向ふを田圃から歸る兩親と連立つて歸つて行つた。そんな時にはきまつて美江ちやんのお母さんは、溝を跳び越して來る美江ちやんをかばひながらこんな事を言つて笑つた。

「熟柿は落ちて來るかなア」

× × ×

こんな事も有つた。

それは霜柱の立つた冷たい朝だつた。堀は朝靄にかすんで、岸邊の蘆もはつきり見えなかつた。

その日は早朝から、敏夫は珍しく目を覺ました。

前の日美江ちやんのお父さんに、ろうげ掬ひ(竹籠にて魚をとる具)に連れて貰へる約束がして有つた。まだ附近は薄暗かつた。南瓜のしほれた花もかすかに靄の中に消えて、葱が行儀よく並んで居た。皆んな霜で眞白だつた。近くにぽんやり竹藪も浮んで見えた。

ざわざわ蘆の間から、ろうげが引き上げられて波紋が次から次へ堀の眞中の方へ靄の中を圓ひ擴がつて行つた。

美江ちやんのお父さんの足がどぶの中にずぶ／＼滲く這入つて行く音ばかりが、耳に事新しく聞えた。再び附近は以前の靜けさにかへつて、柳の葉が一つ二つさびしさうに小枝に枯れしぼれて居た。何處かでしきりと百舌鳥が啼いて居た。

敏夫のお家の垣根に近づいた時美江ちやんのお父さんは、小聲でこんな事を言つた。

「敏ちやん所の姉さんは、お嫁さんになるつて眞實かい」

實際はよく聞えた筈だつたけれど共、敏夫は何だか聞えぬ振りして輕く怪訝さうに、おぢさんの顏を見返したばかりだつた。

「敏夫は姉さんが外のお家へ行つても良いのかい」

敏夫は元氣さうにそれでも逡巡して、こんな事を言つた。

「いゝんだよ」

それから美江ちやんのお父さんは少しも話をして呉れなかつた。小石を蹴りながら、ゆつくり歩いて行くおぢさんはひどく愁しさうだつた。

何故だか敏夫の手を握つてる美江ちやんのお父さんの手は、すつかり冷て細かくふるえて居た。

敏夫の家の門口に近づいた時、おぢさんは鮒を掬ませながら敏ちやんは美江ちやんを好きかいと云つた。

まだ敏夫が返事もしないのに美江ちやんのお父さんは、今度は小石も蹴らずにさつさと共同風呂の方へ大急ぎで行つてしまつた。

風は冷たかつた。

門口を這入つた敏夫は、よく實を取つて呉れと言つてはお爺さんを困らした栴檀の下を通る時には馬鹿に・・・はしやいで居た。

そして玄關の方へひどく草履の音をさせながら走つて行つた。鮒をしつかと握つたまゝ……。

指輪を賣る

宮崎都留治

「これなんだ」彼は呟き乍ら友のKの前に投げ出した。それは一本の婚約指輪だつた。

Kはそれを器用な手付で指から指へ嵌めては拔いた。その度に鈍い光の先端が彼の感傷を、いまわしく誘惑した。

× × ×

「ふん――這んな指輪、お返しますわ、返せばもう文句なしよ」

女は呆ツ氣にとられてゐる彼の膝に、まるで石ころのやうに、ほり出すと、あたふたと席を蹴てた。

彼はその夜、指輪と共にまんじりともしなかつた。

あれだけ、ねだつたこの指輪を斯うも心無く投げ出した女の心理が彼には解せなかつた。

――ちえつ、勝手にしやあがれ――。

そういつた反動が彼の心に暴風のやうに起つた。もう女には微塵も愛着がなかつた。強くなればどこまでも強くなれる彼だつた。

「あの時、ぢ、確に怎うかしてゐましたわ……」其後女がいつものもう技巧で好意を示しても、彼の心は女から遠く離れてゐた。

兎に角、彼の手に購はれた婚約指輪は、不自然な存在を彼の机の底につゞけてゐた。

× × ×

「で君は賣らうといふんだね」

「……」彼は輕く頷いた。

「餘り有難い役じやあない、けれど」勿體ぶつた、でも心當りがあるらしいKの口吻だつた。

で彼等は連れ立つて日暮れの街へ出た。高い洋館の窓硝子に秋の陽が深紅に照り映えてゐた。

彼等はとある○細工店の扉を押した。

「この指輪を買つて欲しいのだが……」Kは指輪を差出すと主人らしい男にそう云つた。

「婚約指輪ですな……」内儀を注意深くみてゐた、その男は青白い顏を擡げて無造作に言つた。Kの後に恐縮してゐた彼は見透されたやうな氣がして、はつとした。

「一匁一分しかありませんよ、まあ五圓だけ……手前共では潰しますので……」主人らしい男は揉み手をしながらKの顏色を窺つた。

「何うだい」Kは彼を見返つた。

「いゝよ」彼は低く答へた。彼には――潰しますので、さう言つた男の言葉に救はれたやうな思ひが……した。全く金など問題の外だつたし、打延られたら、俺の心からもあの鏤刻された年號も名前も、跡形もなく消えてゆくのだ、彼の心臟は小氣味よい金屬性の槌音を感觸した。やがて彼等は夜の街に出た。生れ變つたやうな新鮮な想念が、彼の歩みを、こよなく輕くした。

「五圓の戀だな」Kは晴やかに笑つて彼を見た。

「じやあ、その安價な戀でも飲もうか……」とある辻で彼はKを促し乍ら道を曲がつて歩き出した。

「冬」　大野斯文氏作

望み

丘露子

隣りの機械場は硝子戸を透してよく見えた、幾臺もの機械が間斷なく廻轉を續けた、誰か無作法に入口の戸を開け放しやうものなら耳が裂ける程機械の響きが堰を切つた水音の樣に此の製本工場に働く人々の耳を打聾ぬくのだつた。

彼女はその製本工場に働く女工の一人であつた。

「あんた、もうお孃さんはきまつたかの」何處の言葉かは判らないけれどそんなお國訛をまるだしで一番年嵩な女工が誰れ彼れの相手もなく喋り續ける中に彼女も又さうした言葉を彼女自身に向つて與へられる事に何ぜかしら大きい危惧と、不安を感じ乍ら手際よく揃へた印刷物を斷裁機に掛けてはハンドルを廻した。

彼女は毎日、午後が來るのを怖れた。それは晝の休憩時間から續けた年嵩の女工の饒舌が、多勢の若い女工の一人々々に遠慮も何もなく、酷評を與へて行くからであつた、そしてともすれば此の老女工の酷評は彼女一人に特に甚だしいものがあつたからである「せんべいにあんこを詰めた樣な顏をして」と彼女はいつも浴びせられた其の事と、午後になると天井の明り窓から流れ込んだ光線が帶の樣に幅廣く伸びて、その中に無數の塵芥がまるで生あるものゝ樣に絶えず躍動を續けて居るのが彼女の眼に、見まいと努力すればする程ちらついてならないからであつた。彼女はそれを見た時、いつも何かの本にあつた、黴菌の圖を思ひ出して胸を押へた。

「こんな所、止めてしまつたら…」それはいつも弱い心が騒ぐことだつた。然し終業の鈴が振られても電燈の色さへ明るい夕闇の寒さが薄着の肌に悪感を與へる街を、暗い路に折れて六疊一間切りの彼女の家へ歸り着いた時結局さうした雲間の獨りごちも、及びもつかないぐちに終らさねばならなかつた「疲れたらうなあ」脚氣で臥てゐる父のその一言が一日中の彼女の心勞を綺麗に拭ひしてくれるからでもあつた。

月末になると、定期の飛行物を幾種類も引受けてゐる工場は毎日徹夜しても及ばない程多忙になつた老女工の饒舌もその時には聞かれなかつた。働く誰れもが皆夢中だつた、彼女はさうした中に、いつかは現實となつてくるだらうと恐れ乍らも抱いてゐた豫感が遂にやつて來てひどい咯血と共に廢れてしまつた。

「美代ちやん、何か望みはないか」女中に行つて居た娘が歸つて來るなり彼女の枕許に座り込んで額に滲んだ汗を拭つてやり乍ら細く言つた時「あたし、お嫁に行きたい」とそれだけ言つた儘苦い咳を續けた。

滿日俳壇

島田青峰選

牡蠣

○大連　名越　湖江
牡蠣舟に波明りあるしばしほど
牡蠣舟の時雨障子よ灯したり
牡蠣舟に雪募り來て暮れにけり
牡蠣舟や小舟もやひし厨口
牡蠣むくや親しみ顏に軒雀
牡蠣割女日に居並びて店庇
行人に寒き瞳くれつ牡蠣割女
牡蠣の荷に門前寒き日當りぬ
牡蠣舟を出るや險しき宵の空
牡蠣舟や河岸の往來に眞面なる
牡蠣舟に櫓くろ／＼と更けにけり

○煙臺　天江　雨江
牡蠣舟や吹雪の中に灯りたる
牡蠣舟に月上りたるところかな
牡蠣舟の塗り替へられし師走かな
牡蠣舟に汐の寄せたる芥かな
牡蠣舟の窓にさす日や黃水仙
牡蠣舟の軒行燈や宵の波
牡蠣舟の早や灯りたり廓河岸
牡蠣舟に廓のはやし聞えけり
沖荒れて酢牡蠣に酌める漁師かな
牡蠣舟の障子明くれば月の波

○撫順　楊　柳影
牡蠣舟の灯に昏し水の面
此濱の小牡蠣ばかりや宿の膳
牡蠣粗朶に漕ぎよる舟の小波かな
牡蠣料理櫓の袂の小暗がり
煙臺の小桶の牡蠣を賣りにけり
牡蠣割女風の岩間にうづくまり
牡蠣汁のざら／＼として鍋の底

○撫順　大野　霽雨
舌の上にありて重たき酢がきかな
牡蠣取女夕日となりし岩隱れ
牡蠣舟に來てしばらくや灯りけり
牡蠣舟や雪面白き町景色
牡蠣舟や瀨戸內海の夕景色

○大連　阿部　天潮
牡蠣採りの岩の蔭より現はれし
牡蠣舟のゆれ心地なる座敷かな
牡蠣飯の立看板や濱通り

○大連　佐藤　月鈴子
牡蠣舟に灯の入る頃を佇みぬ
牡蠣賣の桶を据えけり雪の中
牡蠣舟や櫓によせたる角行燈

○撫順　中島　葩山
牡蠣舟や波も起らず濁り川
牡蠣舟のとざされて月の更け渡る
雪となる夜を牡蠣舟に酌みにけり

○大連　伊東　晃水
牡蠣舟の雪の障子を開きけり
牡蠣採の又廻り來し出岩かな

○大連　高木　春蔭
牡蠣舟のやゝ傾ける干潮かな
滿潮に牡蠣舟の灯の流れけり

○煙臺　六華
牡蠣舟にちら／＼雪のかゝりけり
牡蠣舟の障子明るく灯りけり

○撫順　武田　逐天
牡蠣舟へ石垣暗く下りけり
牡蠣舟を離れて暗く漕ぎ移る

○哈爾賓　山崎　星螢
牡蠣舟や汐に浮かせて牡蠣の槽

○大連　和田　烏峰
牡蠣舟にだぶつく波や膝冷ゆる

滿日歌壇

氷見曉美選

大連　山本　久夫
やうやくに薄みはれるこの沼の葦叢にして鳴く鳥のあり

【評】五首みな感動稀薄です。言葉の興味だけで歌つて居るといふ風があります。

大連　原　清治
あしびきの山の居がけてうす明る秋深き光の中に立ち迷ふ紫の煙
福州の秋も深みて來にけらしあした眼ざめてはなひりにけり
吐きてさびしむ
むか山の黒き尾の上にさ夜ふけと更けて赤けれ片割れの月
眞夜中に目覺むるくせのつきそめて夜ごと細れる月をいとしむ
虫の醉ベランダにしてさえて居り夜毎に空の冷まさりつゝ

選者
このころ
皆既月蝕の夜に
湯屋を出て仰げば月蝕はやゝなかば薄くなりて光放てり
月光の廣き空地を人ゆけりこゝろにし泌む夜々のさへかも

新春の七十行小説　選定を了る

新春文藝募集の中、七十行小説の應募數は別項の如くであるが此の中豫選に於て二百五十篇を摘出した後、選者六名が選評の結果左の如く決定した

等級	題名	得點
一等	女	四四五
二等	拾圓	四〇五
三等	朝風呂	三七八
同	故鄕	三七五
同	賣出し	三七〇
選外佳作	街頭の妻	三五五
同	ひげ	三五〇
同	阿片	三三五
同	眞山氏の氣持	三三〇
同	蜜柑	三二〇

尚以上の作者氏名及び選擧等は追つて發表することにする

文壇の噂

本社の懸賞小説に當選した瀨野皓太事芦澤吉雄君のために當選祝ひの會を兼て、滿洲の文藝の人々が寄り集まらうとの議がある、孰れ一月になつて實現するであらう▲同じく本社の懸賞小説に選外佳作となつた「天明」は福昌華工の某氏の作であるが折角の力作を發表せずに葬るのは遺憾とあつて題名を變更して新春から大連新聞に掲載されることになつたとのこと▲新春紙上に掲載の文藝作品其他の應募數は七十行小説三百八十七、短歌俳句、川柳等合計八百四十三、笑話二百卅といふ數に上り整理だけでも一仕事であつた。

毛織物・毛皮・人絹類
純ドライクリーニング
アカシヤ洗布所
電3807・5751
KOダイオーク
電7936

大評判！凄い賣行！

大革新！大値下げ!!
婦人倶樂部 新年號
トテモ〱大變な評判！
待ちに待つた理想の婦人雜誌
上品で然も非常に面白い！爲になる！
日本婦人向上の師範！愛と感激に滿ちた雜誌
◎萬人に敬愛される立派な婦人たらんとする方は御覽下さい
◎時勢に遲れず、社交、禮法、婦人としての常識萬般を知らんとする方
◎美しい婦人、床しい婦人たらんとする方は御覽下さい
◎面白い小説を讀みたい方、上品な娯しみを求められる方は御覽下さい
◎手藝、料理、裁縫等の新知識を得ようとする方は御覽下さい
◎家庭を明るくし、樂しくしたい方は御覽下さい
◎戀愛、貞操、結婚等に就て正しい道を求められる方は御覽下さい
◎立派なお子樣を持ち、丈夫に賢く育てたいと望む方は御覽下さい
凡て身の幸福、家の繁榮を望む方は御覽下さい
大評判の新年號大附錄！

和食 洋食 支那食 家庭料理
五百頁の美本 普通なら少くとも一圓以上の値打
スグ今日から美味しい料理が樂しく召上れます
どこの家庭でも出來る
お惣菜から汁物、燒物、漬け物まであります
誰にも判る樣圖解入りで親切に記述
婦人倶樂部新年號は此の附錄で大好評！

婦人倶樂部新年號 この立派な書籍と 二册で80錢
早くお求めにならぬとお手に入りません
今スグ書店へお出掛け下さい！

御下賜金の一部で 極貧者と慈善團員を救助
有難き聖旨の程を傳達すべく きのふ關東廳手續き

關東廳の恩賜財團慈惠資金は今度四十萬圓を突破してゐるうへ今秋の御大典に際し畏きあたりより更に賑恤金として一萬八千七百圓御下賜になつたので之れを〻慈惠資金の中に加へる事になつたが、關東廳では之れを記念する爲めこの年末に際し約一千圓を支出して滿洲に在住する日本内地人にして極貧獨身者並に家族疾病、不具又は失跡、逃亡、在監等にして給養を受くる事の出來ない

薄倖者 にしてその情狀憫察すべき者に對し、餅代として金一封救助金を支出し更に旅順鎌倉保育園、大連慈惠病院、同宏濟善堂、同爲人會、勞働保護會、同婦人育兒ホーム、同大慈園、滿洲託兒所等各種慈善團體に收容されてゐる者にも金一封宛交附して有難き陛下の聖旨を傳達する事になり二十六日それ〲交附の手續きを終つたが救濟のため

救助金 を交附する極貧者は大連十一戸、金州一戸、營口一戸、撫順二戸、本溪湖三戸、開原二戸、長春一戸、安東二戸、沙河口二戸、今の處計二十五戸で（但し奉天のみ未だ不明）また前記各種慈善團體に收容されてゐる窮民は三百人であると

水利問題の 直訴狀を懷中

【東京廿六日發電】茂木政喜は懷中に直訴狀を持つてゐたが、右によれば郷里の水利問題につき再三内務當局に請願したるに拘らずその目的を達せられないため直訴に懇へて目的を達せんとした事判明した

直訴者の 身許判明

【東京二十六日發電】天皇陛下の帝國議會行幸鹵簿が午前十時四十三分頃も貴族院正門前に差しかゝらせられた際一般奉拜者中に居た埼玉縣大里郡大寄村内ケ崎農茂木政喜(さ)が直訴せんと鹵簿に向つて驅け出さんとして捕へられ警視廳に護送された鹵簿は何等故障なく豫定通り貴族院に御着となつた

宮脇埼玉知事 進退伺提出

【東京二十六日發電】宮脇埼玉知事は二十六日午後三時半首相官邸に望月内相、鳩山翰長を訪ひ直訴犯人を管下より出した事につき進退伺ひを提出した、倘直訴人は居村附近が曩に内務省の許可した放水路開鑿のため全部水浸しとなりその後内務、農林兩省に許可取消を陳情して容れられざる爲め附近村民は生活に苦むに至つたから聖旨直訴に及んだものである

豐明殿にて 年末賜餐

【東京二十六日發電】天皇陛下は恒例により二十七日正午宮中豐明殿に大勳位、各大臣、樞府顧問官、前官禮遇、元帥等五十名を召され年末の御陪食を仰付られると

銀製花瓶下賜 徳川家達公へ

【東京二十六日發電】畏き邊では徳川家達公が貴族院議長二十五年勤續の功を思召されて二十六日御紋章入り銀製花瓶一對御下賜あらせられた

井上中佐告別式

【東京二十六日發電】大西洋上英國汽船ウエストリス號遭難の犧牲となつた故中佐井上義雄氏の告別式は二十六日午後二時から靑山齋場で擧行された

採用方針から 充分に考慮
不穩事件と人事關係 滿鐵の對策

滿鐵内部に在つて階級意識を以て勞働組合化を計り傭員級を糾合して不穩な結合及行動をなす者が續出するに鑑み人事課を初め各部人事關係は寄々協議を重ねてこの對策を急いでゐるがこれに對し今後の方針とし木村人事課長は語る

人事課をはじめ各部の人事關係者と協力し從來よりも一層これ等に對して充分な注意を拂ひたいと思ふ、之に就ては採用方針から出發して行かねばならぬとも思つてゐる、しかし一つの纏つたスパイ政策的なことはしたくないと思ふが出來得る限りの注意を拂ひこうしたことも未前に防ぐだけのことはしたいと感じてゐます

年賀郵便 廿五日までに 七十五萬通

押し迫つた年の暮の二十五日までに引受けた年賀郵便物は、大連郵便局六十八萬六千六百二十通沙河口郵便局六萬一千九百四十四通、合計七十四萬八千五百六十四通にて前年に比し二十二割七分の増加を示してゐる、此の狀況より見れば、今年は相當數量に達するものと認められるから年賀郵便物の差出は餘り押し迫らぬ内に差出を要すると

鴨綠江上の リンク 東西に五百米
氷上大會の準備

昭和四年二月三日より國境鴨綠江上に於て擧行される日本氷上聯盟主催の全日本氷上選手權大會の準備のため安東に出張中の滿鐵運動會高橋俊夫氏は廿六日午前八時十分着列車で歸連したが、語る

鴨綠江は全く氷結してしまつて今では薄い處で一尺と云ふ狀態ですが、毎年鴨綠江橋の下流が上流に比較して氷の質がよいのに今年はどうしたものか上流の方がよい、それで大會のリンクは鐵橋開展橋のすぐ上、東西に長く五百米のものを作りましたその内にアイスホッケーのコートとフイギアーのリンクとを作り周圍は風よけに觀覽席を作る豫定になつて居る、大連、奉天等よりの見物も多數あることゝ思ふので列車の方は割引を交渉中です何分滿洲で全日本選手權の大會を開催するのは最初であり然かも内地から有名な選手が澤山集ることですから非常な盛況となるだらうと思ひます

宮崎の大火 八十戸燒失
通信機關杜絶 詳細は不明

【宮崎二十六日發電】小林の火災は八十戸を燒失八時半漸く鎭火した郵便局燒失のため電信、電話杜絶し詳細不明なるも燒失せる主なる建物は魚市場、繭倉庫等で損害は相當多額に上る見込みである

損害四十萬圓

【宮崎二十六日發電】小林町大火燒失區域は實に十五町歩に亘り罹災者五百名は師走の寒空にふるへて悲慘其のものゝ姿を見せて居る原因は製糸工場の竈の火の不始末からしく損害約四十萬圓で最近四度目の大火であると

今夜青年會で Xマスのお祝

廿七日午後五時より敷島町キリスト敎靑年會に於て小學校を中心に一般兒童の爲盛大なクリスマス祝賀會が催される筈で一般兒童の來會を歡迎してゐる、餘興としては少年及び少女劇並にヴアイオリン、ハーモニカ、ピアノ等の音樂其他童話劇等種々の催し物で聖主キリストの降誕を祝福しつゝ歡喜の夜をふかす趣好である、なほ明二十八日午後六時から靑年會員の盛んなクリスマスが開かれると

西大連互禮會

西部大連では例年の如く同地居住の有志發起人となつて五日午後六時より京町「滿少」において新年互禮會を開催すると會費四圓沙河口大正通り桂城氏（電話九五二〇）へ申込まれたいと

北支定期航路

既報の如く第二埠頭十一番バース、十二番バースは廿七日入港輝丸廿八日入港長平丸より繫留區を使用する事になつたから乘客及び出迎へ見送り客は注意されたいと

事務員の持逃げ

市内大山通り七十七北川電氣公務所事務員渡邊武夫（二七）は廿四日午前十一時頃滿洲銀行振出しの小切手四百圓一枚二百圓一枚を拐帶逃走したので各署で目下搜査中

拐帶店員

撫順中央大街三六原田靴店外交員濱田才二郎（四七）は集金を橫領着服して大連方面に逃走したのを沙河口署では撫順署の手配により搜査中であつたところ廿五日沙河口京町三三古賀友市方に潜伏して居るのを同署刑事が逮捕した

沙河口武道納會

沙河口警察署では廿七日午後一時より同署演武場において本年度の武道納會として柔劍道の高點試合も行ふと

新道路通行許可

大連營關店間幹線道路工事の第三第四兩工區は漸くこの程完成したので二十七日から一般の通行を許すことゝなつたが、該區は沙河口驛より南關嶺の三十里堡まで〻ある

商品のやま お客さんの山
素晴らしく繁昌の 市内各公設市場

めじろ押しに迫つた年の瀨は泣いても笑つてもあと四日になつた、慌しい暮氣分は全市をこめて街上を行く人々の歩み、露店商人の呼賣、賑々しく飾りたてた各商店の大賣出門松、七五三繩の飾りたて、餅つく杵の響き等々

新玉の 春を迎へる準備は大バンドのジヤズの如く氣ぜはしさうに流れてゐる、中でもお正月の用意に數日前より市内各公設市場の繁昌は又格別、何處の店でも商品の山とお客様の山信濃町公設市場（百七店舗）では師走迫つたこゝ數日一日の賣上高平均八、九千圓に達するとのこと、それもその筈十二月は一年間の

書入時 で賣上げは普通の月の三倍から四倍に及ぶと云ふ昨年の十二月の賣上げ總額は三十三萬二千五百七十圓今年は景氣も少し好いと云ふ豫想から今月の總賣上高も三十五六萬圓位になるだらうとの見當である

シーザー劇

あす降誕祭のお祝をする基督敎青年會ではゆふべ會員が集つて懸命に練習をしました

將來、上海大連兩線を 歐洲航空路に連絡
遞信省で着々と諸般の準備中 第一期線完成の上

【東京特電廿六日發】遞信省は年來航空路の擴張と完成に意を注いで居るが、植民地並に海外諸國との航空路に就て見るに

釜山 大連間の航空路は朝鮮關東廳兩植民地豫算でこれを遂行し又上海附近の分は日支間に航空條約なきためこれは日本航空輸送會社が上海地方行政機關と單獨の協約を結び其協約に基いて設置する事となる段取である、斯くて遞信省の第一期線たる東京大連大阪上海兩航空路は茲三年中には完成を告げる豫定であるが、行々は

勞農 露國より歐洲列强又は印度より土耳其を經遠く伊太利方面の航空路と聯絡することを豫定したもので從つて我東京大連線を哈爾賓附近にまで延長し之を倫敦基點巴里、モスクワから西伯利を通過する大陸線及び大阪上海線を香港廣東あたり迄延長し之をカイロを基點としてバグダツド

印度 の各地等を經て新嘉坡方面に到る航空路線と聯絡する事は此處數年の内に具體化すべく目下遞信當局では怠らず諸般の調査中である

許判になつた 『雄辯の』別冊附錄

今回「雄辯」が新年號の別冊附錄としてつけた『世界大雄辯物語集』は永井柳太郎氏を始め大家數十名の筆になり三百頁の大冊、古今東西の大雄辯目のあたり聽くが如く且つ本誌と併せて八十錢といふ安價で目下非常な賣行の由

本年度の水泳 公認新記錄

【東京特電廿六日發】廿五日夜水上聯盟理事會から次の如く發表

男子之部（日本新記錄）

▲百米背泳　一分十五秒二入江稔夫六月三日於多摩川▲一分十四秒同十月七日於京都▲一分十三秒二同十月十三日於多摩川

▲二百米背泳　二分四四秒六入江稔夫五月廿七日於大阪茨木中學二分卅七秒（世界新記錄）同十月十四日於多摩川

▲四百米背泳　五分四二秒（世界新記錄）入江稔夫九月三十日於和歌山中學

▲二百米リレー　一分四九秒八佐田・松浦・村松・高石十月十四日於多摩川

▲百米胸泳　一分十七秒四鶴田義行十月十三日於多摩川

▲二百米胸泳　二分五六秒六鶴田義行六月二日於多摩川二分五四秒二同六月三日於多摩川二分五二秒六同十月十四日同

▲四百米胸泳　六分二四秒四鶴田義行十月十三日於多摩川（日本國際新記錄）

▲百米自由型　五八秒八ワイズミユラー（米）十月十三日於多摩川

▲千五百米自由型　二一分一一秒八アルネボルグ（スウエーデン）十月十三日於多摩川

▲四百米胸泳　六分二二秒二ラデマツヘル（獨）十月十三日於多摩川

▲百米背泳　一分一二秒二ラウフアー（米）十月十三日於多摩川

▲二百米リレー　一分四七秒四ラツフアー・ワイヤツト・ボルグワイズミユラー）十月十四日於多摩川

▲八百米リレー　九分三四秒六ワイヤツト・ラウフアー・ワイズミユラー・ボルグ十月十三日於多摩川

女子競技日本新記錄

▲四百米自由型　六分五七秒四江島歌子九月三十日於多摩川▲六分五三秒四同孃十月七日於京都

▲百米胸泳　一分三八秒飯村昌子九月三十日於多摩川

▲四百米リレー　五分五二秒四東京女子水泳倶樂部江島・市ロ・小澤・片山九月三十日於多摩川

關東州水產會

廿七日午後二時から關東廳會議室で評議員會を開催し左の件を協議すると

一、來年度豫算の件　二、昭和二年度の決算報告の件　三、總代會招集の件

教員檢定試驗

關東廳學務課では去る三月施行した普通學堂及び公學堂教員檢定規則により、該規則中の第一種と第四種のみの第一回檢定試驗を來る昭和四年一月十三日から十八日の六日間旅順師範學堂に於て施行すると

貧困者へ

沙河口警察署へ廿六日左の貧困者に對しての寄贈があつた

▲白米四叺萬歳街三四六異儀田勇▲一圓五十錢大正通り五四阿部コト▲五圓京町通り十六重光政男

滿日同情デー 義捐金（追加）

金十圓　滿電外線係有志
金七圓　無名氏
金二圓　桃源臺　山下太郎
金一圓　本溪湖　關地賴子
金五十錢　旅順重砲兵一兵卒
合計金二十圓五十錢也
累計金一千三十九圓五十七錢也

幼女轢る ゆふべ西廣場で

廿六日午後八時ごろ市内伊勢町一一〇番洋服店金子又次郎長女テルコ（三）は母親に連れられ浪速町より歸途同町一一九番地先の車道を横切らんとして市内吉野町プラチナタクシー自動車大三六二號運轉手江原市治に引倒され前額部及び右顳部に全治十日間を要する擦過傷を負ひ直に最寄田邊病院にて手當てを受けた、目下大連署司法係で右運轉手を取調中

鄕軍旅順分會 役員會

在鄕軍人旅順分會では二十八日午後四時より偕行社に於て役員會を開催し

一、御親閱並に全國大會狀況報告の件
一、御大典記念鳥居建設並に植樹に關する件
一、海軍班設置に關する件
一、軍人會館建設に關する件
一、新年祝賀式に關する件

を協議並に聯絡し終了後は慰勞宴

けふのラヂオ

昭和三年十二月廿七日（木曜日）
自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、支那語講座（簡易支那語會話）滿鐵學務課秩父固太郎
三、謠曲（和布刈）梅若流高櫻富十郎
四、長唄（吉原雀）唄山住大三郎、三味線中村愛子
五、喜劇（風車）「第一場神と海岸通」「第二場福松の宅」「第三場船員酒井信一の宅」曾我之家五郎一座
六、料理獻立
七、天氣豫報

第貳拾參回決算公告
（昭和參年拾壹月參拾日現在）

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
前期繰越金	一、六八一・四五
法定積立金	一八、〇〇〇・〇〇
別途積立金	五五、〇〇〇・〇〇
社員退職手當基金	一三、〇〇〇・〇〇
仕入先	六二、八〇〇・〇〇
爲替引受未拂	一六、八五〇・〇〇
假受金	五、二一五・〇〇
未拂金	八〇、五〇六・〇六
借入金	二〇七、〇〇〇・〇〇
未拂配當金	四三六・一七
當期利益金	二六、二五五・二三
合計	一、四八五、七三三・九一

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	六五〇、〇〇〇・〇〇
銀行勘定	一〇、〇〇三・八九
建物機械器具什器	五五五、七三七・〇二
擔保金	一九、九〇〇・〇〇
未經過保險料	一、四四四・一三
製品、原料、仕掛品	一九七、四一九・〇九
用品	二〇、三三〇・三九
得意先	三〇、二三〇・三九
假拂金	三九一・二三
現金	二六〇・四三
合計	一、四八五、七三三・九一

右之通ニ候也
昭和參年拾貳月
滿洲製麻株式會社

第拾七期決算公告
（自昭和三年六月一日　至昭和三年十一月卅日）

貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	四、五〇〇、〇〇〇・〇〇
土地	二〇九、六二一・三三
建物及敷地	三二四、〇五〇・四四
什器	四、二六九・六八
建築材料	三、二〇四・四五
賣約土地	五四、六八〇・三七
賣約家屋	一九、二九一・二四
建築資金貸付	一四九、一八八・三三
貸付金	七六、九二一・〇四
賣掛代金	一、二五四・三六
受取手形	二、四六一・一三
假出金	五三、三二一・八九
土木	四一、四〇〇・〇〇
農林	一三、三三一・〇七
靜浦興業費	二九三、七二九・九六
未收入	二、〇三八・五九
預ケ金	三六、五〇六・五四
銀行預金	一五七、六五三・四七
金銀	一〇、七六一・六八
合計	六、三九三、六七六・三二

負債之部

科目	金額
資本金	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
保證金	二、三二一・六六
借入金	二三、〇〇〇・〇〇
支拂手形	一三九、三〇〇・〇〇
假受金	九〇四・二九
未拂金	一三、三七二・六〇
年賦賣約差金	一七四、七三五・九五
前期繰越益金	七、二二四・二五
法定積立金	二、二〇〇・〇〇
別途積立金	五、〇〇〇・〇〇
未拂配當金	一、一九一・二〇
當期利益金	三六、四四六・七四
合計	六、三九三、六七六・三二

利益金處分

科目	金額
當期總益金	六四、九九一・一六
當期總損金	二八、五四四・四二
差引　當期純利益金	三六、四四六・七四
前期繰越金	七、二二四・二五
合計	四三、六七〇・九九

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

科目	金額
法定積立金	二、二〇〇・〇〇
別途積立金	二、〇〇〇・〇〇
役員賞與金	三、五〇〇・〇〇
株主配當金（一株ニ付貳拾參錢ノ割）	二七、六〇〇・〇〇
後期繰越金	八、三七〇・九九

右之通リニ候也
昭和三年十二月二十六日
大連郊外土地株式會社

第拾四期決算公告
（自昭和三年六月一日　至同年十一月三十日）

貸借對照表

借方（資產）

科目	金額
拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇・〇〇
銀行預金	七一、九七九・六六
手形貸付金	一、〇三三、〇〇〇・一七
所有動產不動產	六、〇〇〇・〇〇
營業用什器	九、四〇〇・〇〇
代用證券	二〇三、六九〇・〇〇
假拂金	一、八九四・八〇
未收入金	二、八〇五・九〇
未經過支拂利息	二、八七三・六五
現金勘定	二三八・〇二
合計	二、〇八〇、九七二・二〇

貸方（負債）

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	四、九四〇・七三
支拂未濟配當金	一、七一九・一六
前期繰越金	七二三・九八
借入金	七〇七、〇五五・〇〇
信認金	二六、〇〇〇・〇〇
證據金	二七九、七一五・〇〇
組合雜勘定	二四、五二八・四〇
假受金	一九、〇二五・二〇
未拂金	一、七六一・三六
未經過收入利息	四、九三一・四四
當期純益金	一〇、五五三・三四
合計	二、〇八〇、九七二・二〇

右ノ通ニ候也
昭和三年十二月
大連商品信託株式會社
追而取締役張景陽氏任期滿了ニ付改選ノ結果重任ス

破產公告

破產者　エフ・ゼー・バーデンス

右ノ者ニ對スル昭和二年（破）第一號破產事件ニ付昭和三年十二月廿四日當法院ノ爲シタル破產宣告ニ付公告スルコト左ノ如シ

一、債務者エフ・ゼー・バーデンスヲ破產者トス
二、破產管財人　大連市但馬町七十四番地辯護士　岡野勇
三、債權屆出期間　昭和四年二月十八日迄
第一回債權者集會ノ期日ハ昭和四年一月廿一日午前十時
債權調査ノ期日ハ昭和四年一月廿一日午前十時
四、破產者ノ債務者及破產財團ニ屬スル財產ノ所持者ハ破產者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其ノ財產ヲ交附スヘカラス破產者ニ對シ債務ヲ負擔スル者ハ其旨破產者ノ財產ヲ所持スルモノハ其旨カ別除權ヲ有スルトキハ其債權ヲ有スルコトヲ昭和四年二月十八日迄ニ破產管財人ニ屆出ツヘシ

昭和三年十二月廿四日
關東廳地方法院
判官　行山義光

移轉
耳鼻咽喉科
澤田醫院
西通三十五番地
西廣場演藝館西側
電話五四一〇番

淸酒澤亀
日本各地名產・珍物
世界各國酒類・食料品
新發賣
特別醸造 榮籠酒 若翠
三州島崎 このわた小桶入
長崎本場 からすみ
銚子名物 こはだの粟漬
東京風菓子謹製
宅の店
大連大山通
電話代表 五一九九

南滿洲鐵道株式會社設立
南滿洲工業專門學校 生徒募集
詳細は十二月八日官報參照

お早いが勝
二十五日より三十日まで
大見切投賣（懷中腕時計類）
蓄音器月賦販賣開始
徒弟入用
浪速町二商品館（電六三一八番）
美賞堂時計店

開店御披露
本場 土佐珊瑚 卸小賣
紫檀細工各種
御禮日延べ年末迄 破格貳割引
信濃町市場正門前
國光公司
電話四五六〇番

歲末御贈答用に 御家庭御召上り用に
例年の通り
本場紀州蜜柑特賣
●多少に不拘御値段にて迅速配達仕候
大連市播磨町
果實卸小賣 大河屋商店
電話八九〇七番

例年の通り
重詰 鉢盛 仕候
勉强申上候間御用命の程御願申上候
並に切手調進仕候
吉野町（三越の横町）
江戸勝
電話五三八三番

温味のある歲の暮贈物
石炭券 發賣
御電話次第御屆申上候
電話 五九〇〇番 六〇〇〇番
鶴田號

紀州產蜜柑
卸賣
宏來洋行
大連市浪速町一丁目三番地
電話七六七八番

虚しき湖 (116)

山崎斌
浅枝次朗畫

青木心中(7)

今日も、青く、深く静かに青木湖を眼下に、――南面した、この部落の墓地の一隅の、白樺の樹の下の雪は……いま、しきりに村人の手によつて、多には、いよいよあたゝかいらしい、大地の懐の中に――墓穴は掘り深められて居た。……

――それが、いまは、長島の家を追はれて、却て愛人の伯父とその御友の手に――厚く葬られて行く久子の、運命の墓であつた。

「では、一切は、済んだ様ですから、私は歸京させて頂きます」

「や、どうも御苦勞さまでした」

長島の代理人は――そして、匆惶として歸つて行つた。

「あ、ははは、……」

二人は、そして、そこにさびしげな笑顔に笑つた。

――川口屋には、傍が掛けられ「忌中」の紙が張出されてゐた。

そして、そこには、……この村の葬儀らしいいろいろの白木のものが運ばれて來た。

「高山さん。――河合ーでしたな。……久子さんの本姓は？」

「えゝ、――河合でした。……變なことを、あいつら、考へてやがるんですね？」

「さうですね――然し、姓名なんてもの、考へて見るとおかしなものですね。……さあ、河合久子か。――」田村は標木の前に墨を磨りながら言つた「だが、人間の生命なんてものも不思議ですね。墓なんかもう二度ですよ！それでも、助かつてゐる。――私も、さつき、あれの枕元に行つた時は、あの震災の時にYさんの邸で、あれの倒れ込んでゐるのを見た時と同じ心持がしました！」

彼は、そこに、袂のハンケチを取出して涙の滲んだその眼を拭ふと……鉦を執つた。

河合久子之墓

墓は本のごとくに土に歸り、霊魂はこれを賦けし神に歸るべし(傳道の書十二章)

大正××年十二月十六日長崇齢第三十一年

――夕ぐれの鳥が、湖水の上に鳴いた。

高山は、その後に笑ひ出した。

――そして田村も、その笑ひを見ると、静かに苦笑した。

「まあ、済んだ。……俺も、あの分なら、その内起きられるでせう――墓のことも、お話下さいましたか？」

「えゝ、――「ありがたう、それがいゝ！」つと言ひました。だんだんはつきりした意識が恢復して來るらしい。そして、それには満足らしい、表情をもして見せましたよ」

「――では、もう、すべては、それでいゝ。……で、宗教には自由派の皆さんのことだから、まあ、何でもいいが、それでも、近所の方に、済まないから、堂の尼さんでもいゝ、一人來て貰ひますか。そして、私はクリスチャンとして、そこで聖書を讀ませて貰ひ、讃美歌の第三百六十八番でも歌ひませう――あなたは……」

「――あ、わたし、三百六十八なら知つてゐます。わたしも、歌ひます。」

茶毘へ――

鐘が鳴つた。――人々は集つて來て異れた。白い旗は風に吹かれた。そして、湖畔の道を、……その哀しい死の旅は、その白布に被はれ、山の赤い實に飾られて搖れて行つた。

夕日は、しばらく、湖水の上にきらめいた。……墓地は雪の中に静かだつた。

「あゝ、……」

そこに、……聖書は讀まれた。讃美歌は唄はれた。堂守の僧の讃經が終つた。そして、遂に、その死の棺は、……深く掘られた墓穴に下りて行つた。

――讀經の聲は止んだ。そして田村と、高山とは村の人々の前に深く深く、その頭を下げた。」

……
父なる御神の
まねきたまへば
みもとへゆく身を
ひまなどゝめて。……

一月川柳課題

一月五日〆切「福」長谷川百久選
一月十日〆切「薬」引野のぼる選
一月十五日〆切「針」編輯局選
▽官製はがき一人五句▽住所明記▽佳句薄賞▽満日文藝係宛

新刊紹介

▲祖國(新年號海外進出號) 東京麹町學苑社
▲新演劇(新年號) 東京下谷上野櫻木町新國劇事務所
▲兒童生活(創刊號) 總べての兒童によき遊び場と正しき指導とを與へて兒童の身心共に健かなる發達を期する目的で發刊されたものである(金卅五錢東京麹町東洋ビル日本兒童遊園協會)
▲神道の友(一月正月事物號) 東京牛込天神町双人社
▲女性と満洲(新年號) 大連常盤町女性と満洲社

満洲日報社 新聞工場専用 電話二一三一四番

男女防毒ゴム
本邦唯一の精良品
サック
○上等 一打卅八錢三打一圓大打一圓七十五錢十二打卸値三圓卅錢
○特製 一打五十五錢三打一圓四十錢六打二圓六十錢十二打卸五圓
○特上 一打七十五錢三打二圓十錢六打四圓十二打卸値七圓五十錢
○別誂 一打一圓 三打二圓六十錢六打五圓十二打卸値九圓五十錢
○絹來別誂 一打一圓卅錢三打三圓五十錢六打六圓十二打十二圓半
○羽二重 一打九十錢三打二圓四十錢六打四圓卅錢十二打卸値八圓
○輪綱 半打一圓十錢 一打二圓
○女用 一個七十錢二個一圓卅錢
目立ぬ様個人名儀で密送す他品と比較乞ふ○密送料十二錢郵券五分増
東京銀座新肴町八 振替東京七貳貳壹
大阪支店 西區新町通一丁目二番 振替大阪百六番
丁子堂

満洲唯一の金網専門店へ
金
大連市近江町 西村商會 電話七六四八番
網
金網其他針金細工ラナ是非

日英米佛特許
治淋最新藥
ウラルゴールに就て

淋疾は淋菌即ちナイセル氏發見のゴノコッケンの爲に起きて來る。之が粘膜就中泌尿生殖器や直腸、眼等の結膜にとつつくと、其恐るべき淋疾性の色々の故障を起して來る。一度之に罹れば中々根治が六つかしく、始終再發を起してやつかい至極のものであるから第一之に罹らぬやうに豫防の方法を講ずることが肝要である。もし又不幸にして之に罹つたならば徹底的に之を根治しなければならない。さもないと當人の悩みばかりでなく家庭を悩し延いて社會に害毒を流す基となるのである。之が爲國民の氣力を消耗させ國家を衰頽に導く事は全く想像以上であります。從つて國家的の見地から致しましても人道上から申しましても、淋疾の治療は決して忽にすることの出來ない極めて重要の問題であります。花柳病豫防法等の法律が制定せられて既に實施せられてゐるのも當然すぎる程當然と言はねばなりません。

然し斯いふ次第で世間では随分澤山の治淋藥が發賣せられて専門の醫師でさへその撰擇に苦しむ程であります。然もその根本的の療法は殆どなく内服藥にしろ、洗滌藥にしろ、通り一ぺんの療法たるを免れません、又ワクチン注射療法も尿道淋疾には直接効果を認められません又最も多く使用せらるゝ尿道注入劑にしろあまりに時日が長くかゝるので遂に患者は飽いてしまつて治らない内に其の療法をやめて遂に數年間これに悩されるといふ事になり、とうとう癒らぬものと絶望する人が澤山あります。

ところが醫界に於て多大の期待を以て發賣せられたウラルゴールは治療上全く劃期的の好成績で全治不可能であるといふ杞憂はすつかりなくなりました。

このウラルゴールは、二週間で淋疾は全治すべしと聲明して醫界を驚かしました獨逸醫科大學教授ブルック博士の創案せられたカピブレン療法を、更に日本人に適する樣改良し、日英米佛四ケ國の特許を得た、最新の化學的療法の眞髄たる尿道挿入藥であります。

本劑は極めて強力なる殺菌作用あるに拘らず尿道粘膜には少しの痛みもない理想的なものであります。元來淋疾、殊に慢性のものは病菌は單に尿道に止らず治療法がよくないとか攝生を守らないといふ場合は進んで、副睾丸炎、精嚢炎或は攝護腺炎など起し易いのでありますから、治療にあたつては病菌が尿道の深部を侵すことといふのを防ぐこと、尚ほ粘膜の内部に潜む、病菌を滅ぼすといふのが第一の秘訣であります、ウラルゴールは此の目的にすつかり適つたもので到底他の療法の及びもつかぬ徹底した治療劑であります。殊に頑固に經過してゐる慢性症並に再感性には最も好適のものであります。從つて現在淋疾の療法が行き詰つてゐる折柄、此のウラルゴールが旱天の慈雨とばかり歡迎せられ幾多の専門醫師によつて實驗推賞せらるゝも決して偶然ではないのであります。

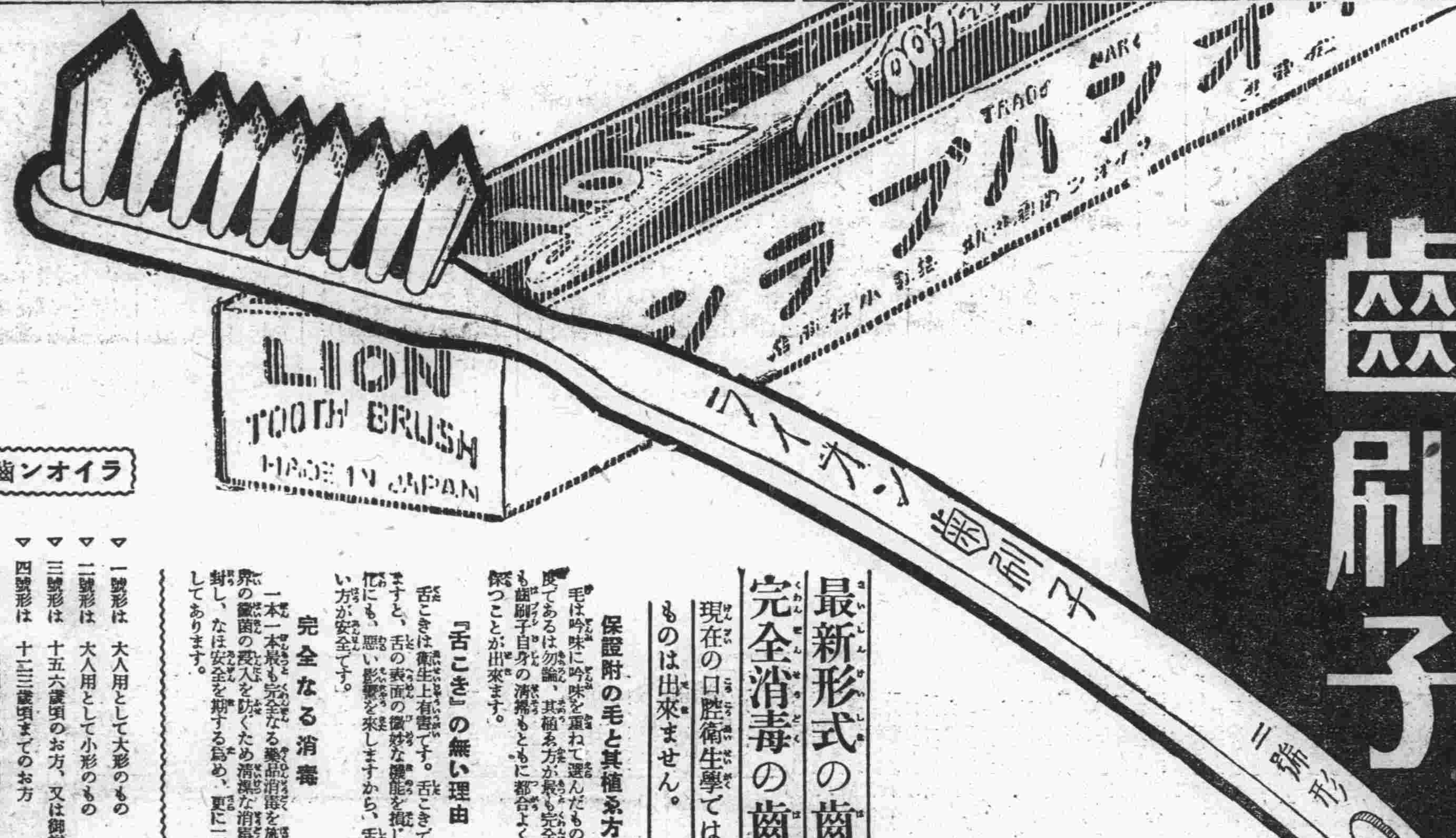
その實驗成績發表は澤山ありますが之は實驗報告集(御申越により無代進呈)に讓る事として豫防法としての二節をかゝげますと次の通りであります。(從來發表せられたる淋疾豫防劑は其の種類甚だ多し。吾等も曾て「プロタルゴールグリセリン」坐藥を創製し之が應用に就て日本花柳病豫防會に於て講演せることあるが實際的適用の効果に到りては其殺菌力の優秀なる點比較的永久の保存に適せる點及び其の藥物として、殆ど無刺戟たる點に於て本劑の勝れることを認むるに吝ならず曾て吾輩は毎回某々娼婦に接する毎に必發的に淋疾に感染する某々知友に本劑第四號短管を分與し事後直に尿道へ挿入せしむる手段を取らしめたるに爾來一回だも感染の苦痛を見たる事なしとの報告を得たり云々)。以上の如く豫防劑として亦最良好であります。

このウラルゴールは長管中管短管の三種類がありますが男子尿道淋には中管を用ひて後長管を用ゐます、婦人尿道淋には中管を用ゐ、子宮頸管淋並に男子淋疾豫防には短管を使用します。

各地著明藥店に販賣してゐますが若しなきときは直接御注文にも應じます、長管十本入金貳圓。中管十本入金壹圓八十錢。短管貳拾本入金壹圓五十錢送料は何れも五錢沿内地拾貳錢海外四拾五錢。實驗報告集は御申越次第發賣元より進呈致します。

發賣元 東京市日本橋區本町 友田合資會社 振替東京一九三八番 電話日本橋(24)〇二八〇・〇〇七〇・七四四・八九

完全消毒
ライオン歯刷子



最新形式の歯刷子
完全消毒の歯刷子
現在の口腔衛生學では此以上のものは出來ません。

保證附の毛と其植え方
毛は吟味に吟味を重ねて選んだもので、硬さが適度であるは勿論、其植え方が最も完全で、歯の清掃も歯刷子自身の清潔もともに都合よく、常に清潔に保つことが出來ます。

『舌こき』の無い理由
舌こきは衛生上有害です。舌こきで舌面をこすりますと、舌の表面の微妙な機能を損じ、味覺にも消化にも、悪い影響を來しますから、舌こきは使はない方が安全です。

完全なる消毒
一本一本最も完全なる藥品消毒を施した上に、外界の黴菌の侵入を防ぐため清潔な消毒紙で厳重に密封し、なほ安全を期する爲め、更に二重の外包装をしてあります。

ライオン歯刷子の種類
▽一號形は 大人用として大形のもの
▽二號形は 大人用として小形のもの
▽三號形は 十五六歳頃のお方、又は御婦人方向
▽四號形は 十二三歳頃までのお方
▽五號形は 七歳頃のお子さん向
▽六號形は 三四歳頃までの坊ちつちやん孃ちやん向
▽生徒用は 特に小學生方の爲めに作つた實用品
◎右の外、義歯を入れてゐる方の爲めに、「ライオン義歯刷子」があります。

ライオン歯磨本舗 株式會社 小林商店 東京市本所區外手町

4-4.1

野中醫院
大連市吉野町二四 電話六四四一番 (入院隨意)
性病 梅毒淋疾軟性下疳
皮膚病
性病ノ診療ト健康ノ相談
野中醫院夜間診療所 大連市文化台百十二
診療午後七時ヨリ九時迄

歳暮御贈答品景品附大賣出し
大連市浪速町 夏川小間物店 電話五二二〇番

大連汽船大連出帆
●青島、上海行 榊丸 十二月廿九日前十一時 大連丸 一月二日前十一時 奉天丸 一月五日前十一時
●天津行 天津丸 十二月廿八日後四時 長平丸 十二月卅日後四時 天潮丸 一月三日前八時
●登州府、龍口行 龍平丸 十二月廿八日後六時
●香港、廣東行 興順丸 一月四日
●伏木、新潟行 福浦丸 一月八日
●阪神行 長順丸 一月七日
●門司、若松行 老虎丸 十二月三十日
●青島行(一、二、三等船客搭載セズ) 濟通丸 十二月廿八日前十時
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五、七八六八番

政記輪船出帆
豐利號 十二月卅日上海行
順利號 十二月卅日廣東行
宏利號 十二月廿八日芝罘行
有利號 十二月廿八日龍口行
元利號 十二月廿八日芝罘行
茂利號 十二月廿七日青香廣行
廣利號 十二月廿七日青島行
永利號 十二月廿七日芝罘行
成利號 十二月廿七日秦皇島行
純利號 十二月
政記輪船股份有限公司 電話四一一四番

阿波共同汽船
●芝罘、威海衛、青島行 第十六共同丸 一月二日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行 第廿六共同丸 十二月廿九日前七時 第廿一共同丸 十二月廿八日後七時
●秦皇島行 長山丸 十二月廿七日
●鎮南浦行
◎滿洲とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地 阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇一番

社船大連出帆
●鹿兒島長崎門司行 關東丸 來月初頃
●提沽行 若ケ浦丸 十二月定期 南都丸 十二月定期
●神戸大阪行 千壽丸 十二月二十五日
●秦皇島行 八幡丸 十二月
大連市山縣通二二九 栃木商事株式會社大連出張所 電話四一八七番

大阪商船出帆
●門司神戸(大阪)行午前十時出帆 ばいかる丸 十二月廿八日金曜 亞米利加丸 十二月卅一日月曜 はるびん丸 一月五日 香港丸 一月八日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆 福建丸 一月四日 盛京丸 一月十二日 長沙丸 一月廿四日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行 關東丸 一月二日
●北米シャトル、タコマ行(上海神戸四日市横濱經由) ばりい丸 一月十六日
●紐育行(神戸四日市横濱經由)船客お斷り はばな丸 一月十五日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り あるたい丸 十二月廿九日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三一七番

國際運輸株式會社大連支店
專屬船客案内所滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル内電七五七四番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジャパンツーリストビューロー大連案内所電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通)
大山通り切符發賣所電七〇三四番 電話二一五一番
沙河口切符發賣所 東華洋行内 電話九〇六番 電話四八〇二番
二ホーム荷扱所

日清汽船大連出帆
●青島、上海行午前九時出帆 唐山丸 一月九日 華山丸 十二月卅一日
代理店 大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

鹿玉軒記輪船出帆
松浦丸 十二月卅日宇品行
海壽丸 十二月廿八日芝罘行
利通號 一月二日之威仁行
御月丸 一月十五日宇品行
鹿玉軒記 電話三八五一・六一一七番

島谷汽船大連出帆
●南鮮裏日本各港函館小樽行 長成丸 一月廿日 大成丸 二月二日
●寄港地鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、蔚、境、宮津、舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●各寄客室設備あり
●舞鶴敦賀伏木行 十二月卅日
●仁川、群山、釜山行 春明丸 一月六日 鮮海丸 一月五日
●青島 廣運丸 一月三日
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電話四七一一・三四八二・六二二三

日本郵船出帆
●歐洲行 敦賀丸 十二月廿八日 だあばん丸 一月十二日
●米國行 高岡丸 一月七日

近海郵船大連出帆
●神戸大阪横濱行 相模丸 十二月廿八日 勝浦丸 一月四日 玄武丸 一月十一日
●天津行 宮浦丸 一月十四日 勝浦丸 十二月廿九日 玄武丸 一月四日

朝鮮郵船大連出帆
●青島仁川行 會寧丸 十二月廿九日
●仁川長崎鹿兒島行 羅南丸 一月卅一日
●鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島行 羅南丸 一月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各營業所貨物受託發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
朝鮮郵船株式會社大連代理店 近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬荷客取扱店 監部通(吾妻橋) 丸二商會 電話四二六四・八八八五番